

2019年度 年 報
—自己点検・評価報告書—

天使大学 看護栄養学部
天使大学大学院看護栄養学研究科
天使大学大学院助産研究科

自己点検・評価報告書

目 次

1. 教育課程	1
1) 教務委員会	1
2) カリキュラム検討委員会	2
3) 看護学科	3
4) 栄養学科	6
5) 教養教育科	13
6) 看護栄養学研究科	15
7) 助産研究科	18
2. 学生の受け入れ	20
3. 教員組織	28
4. 研究活動・研究環境	29
5. FD活動等	32
6. 社会貢献	34
7. 国際交流	40
8. 学生生活	42
9. 就職支援	48
10. 図書館	51
11. 情報処理システム	52
12. 施設・設備	54
13. 管理運営	55
14. 財務	56
15. 事務組織	57
16. 自己点検・評価活動	58

1. 教育課程

1) 教育課程の運営

担 当： 教務委員会

<p>本年度の活動目標</p>	<p>《活動目標》 看護栄養学部の教育を円滑に遂行するため関係部署間の調整をはかる。</p> <p>〈2019年度の重点〉 各種の規程などを見直し整備する。</p> <hr/> <p>(大学基準協会の点検・評価項目の基準番号等記入欄) 基準4 ②⑤⑥⑦</p>
<p>活動内容の評価</p>	<p>1. 各学科・科における自己点検評価の一環として、授業内容を定期的に見直すこととした(2年目)。 来年度から始まる新しい教育課程の中で様々な科目について、各学科・科において、授業内容・実施方法・単位数等、様々な観点から検討した。(基準4 ⑦) その検討を踏まえ、カリキュラム検討委員会の議論により、新しい3ポリシーを策定した。なお、カリキュラム検討委員会は年度末で解散した。(基準4 ②)</p> <p>2. 2019年度当初から、GPA制度を導入することとした。 今年度は、履修登録単位数の上限設定についてのみGPAを活用した。問題点などは報告されていない。次年度に向け、卒業・進級判定にGPAを活用するために、新年度に向けて履修規定・履修要項を整備した。 (基準4 ④⑤⑥)</p> <p>3. カリキュラム検討委員会での議論を受け、新しい教育課程の下で、科目ナンバリングを導入し、シラバスには具体的な準備学修の量と内容を記載することとし、また、科目とDPとの対応をカリキュラム・マップとして示した。 (基準4 ④)</p> <p>4. 今年度から臨時試験の扱いを変更したことに伴い、新しい授業概要・履修要項に基づき試験等を実施した。この件について大きなトラブルはない。全体として円滑に実施できた。 (対応する基準番号なし)</p>
<p>次年度への課題</p>	<p>1. 年度末にかけて、非常勤教員等の就業規則が改正されようとしている。非常勤講師の委嘱手続きは従来から複雑で取り扱いに苦勞する部分があった。これが、今回の改正により、単純で取り扱い易いものとなるよう期待する。 また、新しい就業規則の下、非常勤講師の委嘱手続きを遺漏なく進めることが課題である。</p> <p>2. 新しい教育課程と新しく導入されたGPA制度による卒業・進級判定が学科・科により運用される。大学の教務が円滑に進むよう全体の調整をはかるのが、本委員会の課題である。</p>

1. 教育課程

2) 教育課程の運営

担 当： カリキュラム検討委員会

<p>本年度の活動目標</p>	<p>《活動目標》</p> <p>前年度、ディプロマポリシーについて、カリキュラム・ルーブリックとして取りまとめた。引き続き、カリキュラム・ポリシー及びカリキュラム・マップ、カリキュラム・ツリーを作成する。</p> <p>〈2019年度の重点〉</p> <p>教務委員会と連携し、カリキュラム・ポリシー及びカリキュラム・マップ、カリキュラム・ツリーを作成する。さらに、アドミッション・ポリシー及びアセスメント・ポリシーの検討を行い、年度内の作成を目指す。</p> <hr/> <p>(大学基準協会の点検・評価項目)</p> <p>3、カリキュラムマネジメント体制</p> <p>⑧全授業科目に係る体系性・有機的連携を確保するために履修系統図の作成またはナンバリングの実施。</p> <p>⑩シラバスの作成要領等により、シラバスに明記することを全教員に求め、その内容がシラバスに明記されている。</p>
<p>活動内容の評価</p>	<p>1. 新教育課程の中で様々な科目について、各学科・科において、授業内容・実施方法・単位数等、様々な観点から教務委員会で検討された。</p> <p>その検討を踏まえ、カリキュラム検討委員会の議論により、新しい3ポリシーを策定した。</p> <p>2. 新教育課程の下で、科目ナンバリングを導入し、シラバスには具体的な準備学修の量と内容を記載することとし、また、科目とDPとの対応をカリキュラム・マップとして示した。</p> <p>(大学基準協会 ⑧⑩)</p> <p>3. アセスメント・ポリシーについて、教育の内部質保証の概要に則して検討した。学生の学修成果を評価、成績・DPの到達度による学生の傾向を分析することで、指導の在り方に反映させる。教育活動および教育成果を評価し、カリキュラムの有効性と改善点を分析することで、カリキュラムおよび教育内容の改善と向上を図る。大学学部の運営および成果を評価し、継続的な改善と向上を図る。今後は、自己点検評価委員会と連携して進める方向性が示された。</p>
<p>次年度への課題</p>	<p>カリキュラム検討委員会は2019年度をもって解散した。</p>

1. 教育課程
3) 看護学科

担 当： 看護学科

<p>本年度の活動目標</p>	<p>1. 建学の精神に基づくカリキュラム実施</p> <p>1) 建学の精神に基づき将来を見据え、時代に応じた本学の特徴ある教育課程を申請する。</p> <p>2) 理念教育を浸透するために行事、修養会等の意義の浸透、関連科目の工夫をする。</p> <p>3) 学生の学修成果の測定と可視化による教育の質保証のPDCA サイクル構築を検討する。</p> <p>2. 主体性を育てる学生支援の充実：低学年から主体的学修習慣の獲得に向けた学習と生活の支援</p> <p>3. 教員の教育能力・研究能力の強化と研究推進の体制づくり：教育能力の向上、研究推進体制</p> <p>4. 教育指導体制の充実：PDCAによる推進、協働・連携、学部大学院教員体制、教育研究環境整備</p> <p>1) 教員の過重労働、高ストレス状態を改善し、教育と研究に取り組める環境を整備する。</p> <p>2) 学部・大学院の教員体制の構築と質保証体制の構築に向けた計画を立案する。</p> <p>(大学基準協会の点検・評価項目の基準番号等記入欄)</p> <p>基準4：教育課程・学修成果①～⑦</p> <p>基準6：教員・教員組織①～⑤</p> <p>基準7：学生支援①～③</p>
<p>活動内容の評価</p>	<p>1. 建学の精神に基づくカリキュラム実施（基準4 ①～⑦）</p> <p>1) 建学の精神に基づき時代に応じた本学の特徴ある教育課程の申請：5月に申請8月に承認を得た。カリキュラムマップを作成し、アドミッションポリシーとの関連、看護学教育モデルコアカリキュラム等を視野に入れ科目内容を検討した。栄養学科と合同の新科目は担当チームで準備している。</p> <p>2) 理念教育による豊かな人間性を育む教育の充実：修養会はマニュアルに則り、各学年の特徴を踏まえたテーマを設定し、シスターや教員の講話、グループワークをとおして学びを得ていた。</p> <p>2年3年は「人間形成とキャリアデザイン」の科目の一部としているが、4年は、講義の位置づけはないため出席率が低い(37/91、40.7%)。本学の教育の集大成としての意識づけが必要である。</p> <p>3) 学習成果の測定と可視化による教育の質保証のPDCA サイクル構築</p> <p>学年別のレベル目標、看護学教育モデルコアカリ等を意識した科目展開、アクティブラーニング等の導入により、学生が主体性をもち予習復習時間が増え学修習慣が獲得できる内容であったか、学生が自らの学力を客観的に評価し、可視化することにより主体的に学修に臨むことができる内容であったか、各科目で評価し、年度末に報告書を作成し、次年度の改善に役立てた。</p> <p>2. 主体性を育てる学生支援の充実（基準7①～③）</p> <p>1) 低学年から学修習慣を身につけ、自己に向き合い学修に取り組めるよう学生支援を強化する。</p> <p>2019年度卒業生は91名。就職80名、進学10名（助産師6名、保健師4名）、未定1名である。</p> <p>在籍数に対する休学、退学、留年の3月末の状況は、1年97名（休学1）、2年</p>

102名（休学2）、3年92名（休学2、退学1）、4年95名（休学3）である。昨年よりも退学が少なかった。休学を継続している状況はあるが一定期間後に復学する学生もいた。休学・退学者の背景には成績不振・進路再考がある。成績不振者には学習支援と合わせ、進路の迷いに対しては、自身に向き合う機会を持たせるように、支援教員等が意識的にかかわりを持って支援している。

2) 看護師国家試験に向け、学習支援プロジェクト、学生支援教員が中心となり支援を行った。

4年の支援教員は、模擬試験の結果を受けて面談し必要に応じ個別支援を行った。外部セミナーを受ける学生もいた。模試の状況等から取り組みが遅く、自主的計画的に学修を進められていない状況が伺われ、低学年から学生を刺激し支援する必要がある。国家試験合格率 98.9%、90/91

3) 学習や生活上の支援が必要な学生への対応を強化するために、教員間で連携し学生を支援する。

1年次より人間形成とキャリアデザインの科目で、自分の将来に向けてプロジェクトする学習を行っている。カリキュラムアンケートでは、予復習に積極的に取り組んだ学生は、1～2年約8割、3年48.5%、4年62.8%であったが、科目毎の授業評価では平均2時間未満の回答が多い。時間割の過密を避け予復習の時間を確保することが重要である。また3～4年は、自己学習意欲を高める授業の工夫や主体的学修を促す課題の提示等、学修習慣獲得に向けた取り組みは全体の課題である。

3. 教員の教育能力・研究能力の強化と研究推進の体制づくり（基準6①～⑤）

1) 教育能力の向上

FD委員会による授業参観の活用、アクティブラーニングの取り組み等、授業改善を行っている。

臨地実習指導者研修会は「今、改めて臨地実習指導とは：変わらずに伝え続けたいこと」のテーマで、菅原教授より話題提供があり、その後、グループワークを実施した。話題提供の参加者は66名、グループワーク参加者は60名（施設37、実習指導教員2、教員21）であった。看護基礎教育における実習指導を確認し、実習において看護をどう伝えるか等、今後の指導に活かせる学びが得られた。

実習や講義等で指導困難な学生の状況が教員から報告され、また学生や保護者より教員の指導についての意見が聞こえてくる。個々の学生の特徴に配慮しながらも、自ら考え判断ができる学生を育てるための教育について考える機会をもち、事例をとおして検討することを行っていききたい。

2) 研究の推進体制の強化、教員の研究能力の向上、

学科自己点検委員によるアンケート調査結果（19/31、回収率61%）。論文8件（英文1含む）、学会発表25件（英語3含む）。2019年度科学研究費助成事業の申請は11件で、新規採択4件、継続5件。その他外部資金の助成を受けたのは2件、特別研究費は7件であった。昨年より科研費の採択、特別研究費の獲得が増加した。さらなる応募と研究を遂行できる時間の確保が課題である。

教育研究費の見直し案が検討され次年度は暫定的な経過となったが、継続して議論が必要である研究を活性化できるような研究費の見直し、特別研究費、外部資金の獲得策等を検討する。

博士課程は3名が在籍（2名修了、継続1名）。進学の人数枠を撤廃した。次年度、数名が希望。

専門性を高めるために各々学会、研修会に出席し、また、学科会議後に伝達講

	<p>習を6回実施した。研究時間が確保できるよう会議時間の短縮に努めた。稟議書の作成は事務に依頼可能となった。</p> <p>4. 教育指導体制の充実（基準6①～⑤）</p> <p>1) 裁量労働制による時間の調整や有休や代休の取得が可能になっている面と、有給や代休がとれない状況、高ストレス状況(看護28.6%、全学15.5%、看護は仕事のストレス112高い)がある。育児や介護を担う教員も含め働きやすい環境整備のために業務改善や協力体制が必要である。</p> <p>2) 2019年度教員体制は、33名中32名で始動したが、9月に助教の退職があり、また5月から教授の休職、その後退職があった。助教1名は補充できたが、教授1名は募集をしたが欠員のままである。4月より募集していた1名は次年度採用となった。看護学科の定数33名、教員構成は、教授8→7名、准教授6名、講師8名、助教10名、欠員2名で、欠員の充足はできなかった。</p> <p>職位や年齢構成等、将来を見据え博士後期課程も視野に入れた、計画的な教員配置が必要である。</p> <p>3) 教員間の協働・連携の充実：目的・目標に向かって協働できる関係の構築学部組織と領域責任者会議、学科会議、学科係等の連携を強化し、PDCAサイクルによる改善に向けた意思決定の効率化を図る。教員、実習指導教員、臨床指導者との連携による効果的な実習支援。</p>
次年度への課題	<p>1. 2020年新カリキュラム3Pに基づく体系的な教育課程の内容を精選し、科目間の連携を図る。</p> <p>2. カリキュラムルーブリックの評価指標を明確にし、学修成果を可視化する方法を明確にする。</p> <p>3. 2022年施行の指定規則改正を受けた教育課程申請に向けて、カリキュラムの検討を行う。</p> <p>4. 理念教育を浸透させるために行事や修養会などの正課外活動の重要性を広めて参加を促す</p> <p>5. 低学年からの主体的学修習慣の獲得に向け、講義展開の工夫および学習と生活の支援を行う。</p> <p>6. 教育の質保証のために教員の教育・研究能力の強化にむけて、教育研究推進体制を整備する。</p> <p>7. 教員の勤務実態を把握、分析し、業務の見直し、効果的な学科運営の改善策を検討する。</p>

1. 教育課程

4) 栄養学科

担 当：栄養学科

<p>本年度の活動目標</p>	<p>1. 正課教育、正課外教育（修養会等行事を通じたカトリック大学としての理念教育）の充実</p> <p>2. 就職支援対策の充実</p> <p>3. 研究活動及び地域連携の推進</p> <hr/> <p>（大学基準協会の点検・評価項目の基準番号等記入欄）</p> <p>基準 1－① 基準 7－② 基準 8－④</p>
<p>活動内容の評価</p>	<p>1. ①学部カリキュラム検討委員会での検討事項である3つのポリシーを作成した。2018年度の大学基準協会から改善課題がだされた学習成果の測定を行い学科で評価を3月に実施する。今後も継続して評価を行い学習成果の向上を図る。</p> <p>②臨地実習については実習担当教員による実習指導を行い、巡回は学科全体が協力して進めることができた。実習施設との連絡連携については特に問題はなかったが、実習先の確保は養成大学の増加に伴い益々困難な状況であり、対策が必要である。</p> <p>③国家試験の支援については国試ワーキングが中心で模擬試験実施、支援教員による学生指導、学科教員による試験対策講義を実施した。模擬試験結果で、得点が伸びない学生については、支援教員の指導を通してこれまで同様に今後も支援を継続していく。</p> <p>2. 就職支援対策では、学科の就職委員及び学生支援教員を中心として、個人面接を行い、学生の希望に沿った就職支援を実施した。学生の就職希望先が多様化しており、就職相談室職員との連携をさらに深めながら、就職につながるようにサポートした結果80.2%の内定率である（2/25現在）。この内栄養教諭合格者8名であったが、札幌市学校栄養職員の合格者がなかったことについては分析、対策が必要である。</p> <p>3. ①研究活動の推進の一環として2017年度から学会発表前に学科で発表する機会を設けたが、2019年度は希望がなかった。学科教員の2019年度の論文は英文6件、和文0件、学会発表は国際学会5件、国内学会19件であった。今後も研究活動の推進を図っていきたい。</p> <p>②地域住民への貢献として天使健康栄養クリニック、東区との連携による事業等の他、新聞等への取材協力を行った。</p>
<p>次年度への課題</p>	<p>1. 臨地実習先の確保のために施設との連携をさらに強化する。</p> <p>2. 成績下位者への支援を行うと共に、学生相談室との連携が必要な学生の場合は、カウンセリングの専門職からの支援を受ける。</p> <p>3. 管理栄養士国家試験について効果的な対策を検討し、合格率100%を目指す。</p> <p>4. 個々の学生に適した就職支援を行い、栄養教諭の受験指導や札幌市栄養職員、食品衛生監視員等の公務員についても支援を行う。</p> <p>5. 教員の研究活動の推進、学会発表の学科内事前発表会の充実を図る。また内部質保証に関連する学習成果の評価を継続して実施する。</p> <p>6. 天使健康栄養クリニックをはじめ、社会・地域貢献の一環として地域連携を積極的に推進する。</p> <p>7. 天使大学栄養学科への受験者増の対策について学科での検討を進める</p>

1. 教育課程

4) 栄養学科－教職課程

担 当： 教職課程委員会

<p>本年度の活動目標</p>	<p>1. 栄養教諭養成のための教育を実施する。 2. 科目等履修生の栄養教諭免許状取得を支援する。 3. 栄養教諭免許状更新講習を実施する。 4. 教職課程の自己点検・評価等を検討する。</p> <p>(大学基準協会の点検・評価項目の基準番号等記入欄)</p> <p>基準3 教育研究組織－②、 基準4 教育課程・学習成果－②～⑦ 基準5 学生の受け入れ－①、 基準6 教員・教員組織－②、④ 基準7 学生支援－①～③、 基準9 社会連携・社会貢献－②</p>
<p>活動内容の評価</p>	<p>1. 栄養教諭養成のための教育を実施 <基準4－②～⑦> <基準7－①～③></p> <p>1) 現場の栄養教諭による授業（講演）の実施（4年次生対象） * 4年次生対象に3回の特別講師による授業を実施し教員としての自覚を高めた。</p> <p>2) 外部との連携による教育の充実 <別紙1参照></p> <p>①北海道大学での農場体験 ・農作物の収穫、田植え、稲刈り、官能評価など（1年次生対象） * 教職概論の授業で22名、希望参加による実習5回で延べ63名が参加し、農業を取り巻く課題や食材の生産・味覚・調理等への理解を高めた。</p> <p>②小学校での夏休みインターンシップ体験 ・連携学校：札幌市立の美香保・新琴似・北光小学校（2年次生対象・正課外） * 8月末から9月初旬に28名が3校に分かれ5日間の体験を行い、学校や児童の状況を学ぶとともに教職課程で学ぶ意欲を高めた。</p> <p>③学外での栄養教育体験・ボランティア活動 ・教職総合演習、教職実践演習（3・4年次生対象）等 * 新米フェア（サッポロさとらんど、10月19日・20日）において、教職総合演習の3年次生23名、教職実践演習の4年次生16名がそれぞれ栄養教育を行い、企画・運営・実施の体験を通して課題を発見するとともに自信を深めた。 ・小学校授業参観（1年次「教職概論」、札幌市立北光小学校1校で実施） ・中学校授業参観（3年次「教職総合演習」、札幌市立北辰中学校1校で実施） ・石狩市学校給食センター参観（3年次「教職総合演習」） * 以上については、事後のレポート、アンケート、感想から、学生にとって感動的・有意義な体験であり、その学習効果が高かったことが確認できた。</p> <p>3) 履修カルテ活用の充実 ・履修カルテ活用の点検・充実 * 7月に1年次生に履修カルテの記入・活用のガイダンスを実施、1月に全学生の記入状況を点検した。また、12月に3年次生対象に履修カルテを活用した面接を行い、4年次生の教職実践演習では履修カルテを活用した授業を行った。</p> <p>4) 教員採用試験対策ゼミの実施 <別紙1参照></p> <p>・春期ゼミ（2月、3年次生対象、4日間、11名参加（2018年度）） ・1次直前ゼミ（6月、4年次生対象、3日間、11名参加） ・2次直前ゼミ（7～8月、4年次生対象、5日間、9名参加） * 令和2年度北海道・札幌市教員採用試験の受験支援を、外部講師を含めて予定通り実施した。</p>

* 1次合格者9名中8名が採用登録、過年度卒も2名が登録。本学現役受験者の合格率は67%、合格者全体の現役学生の占有率は42%（過年度を含めると53%）と好成績であった（前年度は現役5名が登録、合格率56%、占有率23%）。

2. 科目等履修生の栄養教諭免許状取得を支援 <基準5-①>

・教職課程科目の履修を希望する科目等履修生の受入れと支援

* 教職課程履修規程を見直し改定するとともに、本学の卒業生である3名を受け入れ、実習先を確保するとともに、3科目（計5単位）を認定した。

3. 栄養教諭免許状更新講習を実施 <基準9-②>

・栄養教諭を対象とした講習を実施

・小、中、高等学校教員を対象とした講習を実施

* 文部科学省からの要請を受けて、2018年度と同様に3科目を3日間で計画し円滑に運営した。計画作成を早め、周知開始時期および申込方法を見直したことにより、受講者総数は74名と昨年度の15名から大幅に増加した。

* 多くの受講者からは、講習内容が概ね良好との評価が寄せられた。

講習名	講習日	参加者数
学校で役立つ食物アレルギーの知識とアレルギー対応	8月5日	51名
「みること」をいかして引き出すアクティブ・ラーニング	8月6日	14名
北海道の食文化について	8月7日	7名

4. 教職課程の自己点検・評価等を検討 <基準3-②> <基準6-②、④>

1) 教職課程委員会規程の改正による教職課程の自己点検・評価等の明確化

* 2019年11月の教職課程委員会で規程の改正案等を作成・決定。11月の教務委員会に報告、12月10日の教授会で審議・決定し、2020年1月1日より施行された。

2) FD研修会の実施

・実施日時：2020年1月24日14:50～16:20

・出席者：22名（教職課程に関わる専任教員・非常勤講師・職員8名、学生10名、その他の本学教員4名）

・講師：北海道教育庁教職員局教職員課主幹 工藤雅人氏

・演題：「北海道における栄養教諭の教員育成指標と教員育成機関への期待」

* 栄養教諭の教員育成指標の解説とともに、北海道が期待する教員像の説明もあり、教員のみならず学生にとっても大変有益な研修会となった。

3) 自己点検・評価の実施と評価結果の公開 <別紙2参照>

・1月中旬～下旬に教職課程の2～4年次学生と教職員を対象とした自己点検・評価を実施した（回答数：2年次17名、3年次15名、4年次14名、教職員8名）。学生による評価では、学年進行とともに自己評価が高くなるのが分かった。教職員による評価では、第三者評価の実施が課題であることが分かった。

・評価結果を委員会で分析し学長に報告するとともに、4月中旬に本学ホームページで公開を予定している。

* 自己点検・評価を初めて実施できた。データを蓄積し改善・充実に努めたい。

次年度への課題	<ol style="list-style-type: none">1. 栄養教諭養成のための教育を円滑に実施する。<ul style="list-style-type: none">・ 4年次生の人数増加に対応した授業内容等の改善を行う。・ 教職課程委員会業務の円滑な実施と分担の均一化を図る。2. 科目等履修生の栄養教諭免許状取得を支援する。<ul style="list-style-type: none">・ 科目等履修生への指導・支援を強化する。3. 栄養教諭免許状更新講習を円滑に実施する。<ul style="list-style-type: none">・ 栄養教諭が3日間参加できるように講習内容の改善を行う。4. 教職課程の自己点検・評価、FD研修会等を確実に実施する。<ul style="list-style-type: none">・ 自己点検・評価の結果を教職課程の質保証・向上に役立てる。・ 教職課程の第三者評価について調査・検討する。
---------	--

2019年度 教職課程委員会の行事等一覧 (2019.4.1現在)

<2019.3.18調整済み>

区分名	期日	時間	行事名	対象者など	担当者1	担当者2	備考
北大関係	5月25日(土)	9:30~11:30	田植え	1年次生	新井	松下	土曜開講日
	7月11日(木)	13:10~14:10	収穫体験1	1年次生	新井		教職概論受講者
	8月28日(水)	9:30~11:30	収穫体験2	1年次生	新井		
	〃	11:40~14:00	調理実習	1年次生	松下・高桑	山部	学内の実習室
	9月4日(水)	15:10~17:10	搾乳体験	1年次生	新井	松下	
	9月21日(土)	9:30~11:30	稲刈り	1年次生	松下	新井	
	11月初~中旬	12:15~13:00	お米の味くらべ	1年次生	山部	松下・高桑	
	11月9日(土)	10:30~13:30	北大生のお米料理教室	北大1~4年次生	山部	松下・高桑	学内の実習室、4年次生補助 北大への連絡:新井 土曜開講日
インターンシップ	8月26日(月)~9月6日(金)のうちの1週間	8:30~15:30	学校インターンシップ	2年次生	新井	高山	・4月下旬学校訪問 ・5月初旬:2次調査 ・5月中旬:学校決定 ・6月初旬:依頼文書発送 ・実習中:学校訪問
免許更新講習	8月5日(月)	9:00~17:00	免許更新講習	教諭全般	武蔵・志賀	受付等: 委員	事務業務:高山
	8月6日(火)	9:00~17:00	免許更新講習	小中高教諭	鹿内		
	8月7日(水)	9:00~17:00	免許更新講習	栄養教諭	山部		
教員採用対策	4月19日(金)	17:00~18:00	教員採用1次ガイダンス	4年次生	高山	新井	・願書配布・説明 ・東京アカデミーの講話など ・依頼:学務課西村
	5月21日(火)	13:30~15:30	1次直前ゼミ	4年次生	新井		
	5月22日(水)	10:00~12:00	1次直前ゼミ	4年次生	新井		
	5月23日(木)	10:00~12:00	1次直前ゼミ	4年次生	新井	松下	
	6月24日(月)	16:30~17:30	自己採点・教員採用2次ガイダンス	4年次生	新井	松下	・自己採点シート手配・送付:学務課西村
	7月24日(水)	10:00~16:00	2次直前ゼミ	4年次生	教職課程委員全体 +教養教育科教員		計画の確定は、7月23日の1次合格者発表後
	7月25日(木)	9:00~17:00	2次直前ゼミ	4年次生			
	7月29日(月)	9:00~17:00	2次直前ゼミ	4年次生			
	7月30日(火)	9:00~17:00	2次直前ゼミ	4年次生			
	7月31日(水)	9:00~17:00	2次直前ゼミ	4年次生			
	12月中旬	未定	教員採用試験ガイダンス	3年次生	新井		・東京アカデミーの講話など ・依頼:学務課西村
	2月初旬~2月中旬の4日間	10:00~12:00	春期ゼミ	3年次生	新井	松下	

※1: 北大関係は、北大に打診して確定済みである。

※2: 教職実践演習・教職総合演習の行事は省略しているが、新米フェアは、10月19日(土)・20日(日)の予定である。

※3: 教員採用対策は、2018年度に準じた日程である。

天使大学教職課程 自己点検・評価票(教職員用)集計結果

※ 評価規準・・・ 5:十分達成、 4:ほぼ達成、 3:どちらとも言えない、 2:少し不十分 1:大変不十分

No.	大項目	評価の根拠資料	評価項目	評価平均値 (n=8)
1	理念・目標	○天使大学の建学の精神・理念・目標・ディプロマポリシー	教職課程の目標は、大学の建学の精神・理念・目標・ディプロマポリシーを踏まえて設定されているか。	4.63
2		○天使大学のホームページ:教職課程等 ○教職課程履修の手引:各年度 ○中央教育審議会答申(2015.12)等で示された教員に必要な資質能力	教職課程の目標は、文部科学省(中央教育審議会答申)などで示された教員像を踏まえて設定されているか。	5.00
3	教職課程の組織・運営	○教職課程委員会規程 ○教職課程委員会の行事等一覧(教職課程委員会)	本学の教職課程の組織(以下、教職課程委員会)は、規程に基づき適切に運営・実施されているか。	4.50
4		○各年度の自己点検・評価報告書(教職課程委員会)	教職課程委員会の委員は規程通り選任され、委員会としての業務・機能を円滑に推進しているか。	4.50
5		○各年度の教職課程委員会議事録	教職課程委員会の業務内容・課題などは毎年、確認され、見直し・改善が行われているか。	4.25
6	教育課程の編成・実施と学修成果	○各科目のシラバス ○教職課程コアカリキュラム(文部科学省) ○教職課程科目におけるシラバス作成上の留意点について(教職課程委員会2019.12)	教職課程の各科目は、該当する教職課程コアカリキュラムに基づいたシラバス・内容となっているか。	4.75
7			各授業の実施に当たっては、教員としての基礎的な知識・技能の理解が身に付くような授業内容となっているか。	4.25
8			各授業の実施に当たっては、アクティブ・ラーニングを実施するなど、主体的・対話的で深い学びの方法を学生に体験させるとともに、教員としての実践的指導力が身に付くよう工夫されているか。	4.38
9		○中央教育審議会答申(2015.12) ○小・中学校学習指導要領(2017.3) ○学生による授業評価アンケート(FD委員会)	各授業の実施に当たっては、最新の教育事情が分かる教科書や資料を活用するとともに、科目の目標が確実に達成できるよう内容の見直し・改善など、PDC Aサイクルを意識した実践となっているか。	4.13
10		○教職課程コアカリキュラム(文部科学省) ○各年度の栄養教育実習報告書	教育実習は、実施献立や模擬授業など事前の指導が適切に行われるとともに、事後は報告書の作成や報告会を行うなど今後の課題を理解させる内容となっているか。	4.13
11		○教職実践演習の実施に当たっての留意事項(課程認定委員会2008.12)	教職実践演習は、教職に関する科目の担当者と教科(専門)に関する科目の担当者が協力して行うとともに、4年間の学びの集大成となる科目内容で実施されているか。	4.00
12		○教職課程履修の手引:各年度	教育課程編成・実施の方針(カリキュラム・ポリシー)は作成・公表され、教育課程は、それに基づき円滑に実施されるとともに、必要に応じて見直し・改善が行われているか。	4.25
13		○各科目のシラバスの評価方法 ○履修要項:各年度 ○履修判定資料(学務課)	成績評価、単位認定及び栄養教育実習履修判定が適切に実施されているか。	4.13
14		○教職課程履修者の年度毎の人数 ○教員免許状取得者の年度毎の人数 ○教員採用試験合格者の人数と教員免許状取得者に対する割合	教職課程履修者の人数や教員採用試験合格者の人数などが、教職課程委員会として把握・分析され、学生の指導に活用されているか。	4.13
15		○入学時の履修指導(学務課)と履修相談(教職課程委員会) ○入学時の栄養教諭教職ガイダンス(教職課程委員会) ○4年次の教員免許状申請ガイダンス(学務課)	教職課程履修者への事前ガイダンスやオリエンテーション、教員免許状申請に係るガイダンスは適切に実施されているか。	4.13
16	○7月の教職概論における履修カルテの意義・作成・記入等の説明・指導 ○各年度末の履修カルテ提出指導と点検	教職課程履修者への履修カルテの意義・作成・記入等の説明は適切に実施されているか。また、作成・記入の状況を確認・把握しているか。	3.75	
17	○3年次の履修確認・面接指導(教職課程委員会) ○教員が適宜行う学生相談	学生に対する面接指導や相談などは適切に実施されているか。	4.00	
18	○教員による教員採用試験対策のゼミの実施(3・4年次、計3回、延べ12日間) ○外部講師による教員採用試験対策のガイダンスの実施(3・4年次、計2回)	教員採用試験対策の指導は適切に実施されているか。	3.63	
19	○教育職員免許法施行規則(第26条の6) ○天使大学のホームページ:教職課程等 ○教職課程履修の手引:各年度	教育職員免許法施行規則(第26条の6)で示された教職課程に係る情報の公表は、適切に行なわれ、説明責任が十分果たされているか。	4.13	
20	○各年度の教育実習説明会資料(札幌市教育委員会・札幌市小学校長会)	教育実習は、教育委員会や校長会との連携・協働の下に実施するとともに、実施後の反省アンケートで指摘される課題について、次年度の実習で改善できるよう適切な対応が行われているか。	4.00	
21	○北大農場実習・北大生料理教室の実施 ○学校インターンシップ(近隣小学校)の実施 ○新米フェア(サッポロさとらんど)への参加 ○学生による自主的なボランティア活動参加	北大農場実習・学校インターンシップへの参加や新米フェアでの栄養指導、自主的なボランティア活動参加など、学生が地域社会と連携・協力しながら教員としての資質を高める仕組みが整えられているか。	4.00	
22	○教職課程履修規程	社会人を対象とした一部科目等履修生を受け入れる体制が整備され、当該履修生に対する指導・援助は適切に行われているか。	4.25	
23	○免許状更新講習の認定申請等要領(文部科学省) ○2019年度天使大学教員免許状更新講習受講要領	栄養教諭などの受講が期待できる教員免許状更新講習は、本学の特色を十分生かした内容であるとともに、円滑な実施・運営がされているか。	3.88	
24	○教職課程委員会規程	教員相互の情報交換、教職課程委員会主催のFD研修会への参加、外部の研修会・研究会への参加など、教職課程担当教員としての資質向上を図る取組が行われているか。	4.25	
25	○教育の内部質保証に関するガイドライン(2017.3 大学改革支援・学位授与機構)	教職課程の担当教員は、専門性や資質能力を開発・向上させ、教育研究の充実を図るために、研究活動、学会活動に主体的・積極的に取り組んでいるか。	3.88	
26	○教職課程委員会規程 ○FD研修会など研修の実施要領 ○自己点検・評価の結果分析	教職課程の自己点検・評価が実施されるとともに、PDCAサイクルを実現するための具体的な対応が行われているか。	4.25	
27	○教職課程委員会規程 ○自己点検・評価の結果分析	内部質保証の充実を図るため、内部質保証に係る取組が規程に明記されるとともに、外部の第三者による教職課程の評価が行われているか。	3.38	
全体の平均値				4.17

2019年度 天使大学教職課程 自己点検・評価票(学生用)集計結果

※ 評価規準・・・ 5:十分達成、 4:ほぼ達成、 3:どちらとも言えない、 2:少し不十分 1:大変不十分

No.	大項目	評価項目	評価平均値			
			2年 n=17	3年 n=15	4年 n=14	全体 n=46
1	教職課程の 目標の達成	教職課程の目標は、本学のディプロマポリシーや文部科学省(中央教育審議会)が示した教員像を基に作成し、教職課程履修の手引やホームページにも記載されています。あなたは、この目標を意識して教職課程の授業・実習等に取り組んでいましたか。	3.29	3.53	3.79	3.54
		【目標1】「人間愛、思考力・判断力、社会変化への対応力などの基礎となる幅広い教養を身に付けることができる。」は達成できましたか。	3.65	3.80	4.07	3.84
		【目標2】「使命感、責任感、教育的愛情など教員としての基本的資質と高い倫理観を身に付けることができる。」は達成できましたか。	3.94	4.20	4.36	4.17
		【目標3】「子ども理解や指導法など学校教育の理論・実践の基礎となる知識・技能を身に付けることができる。」は達成できましたか。	3.82	3.93	4.21	3.99
		【目標4】「食の指導についての高度な専門性と高い実践的指導力を身に付けることができる。」は達成できましたか。	3.41	3.93	4.14	3.83
		【目標5】「栄養管理・衛生管理を徹底し、安全でおいしい給食を提供する能力を身に付けることができる。」は達成できましたか。	3.59	3.93	4.14	3.89
		【目標6】「高いコミュニケーション能力を身に付け、同僚や地域・家庭・関係機関と組織的に連携・協働して課題解決を図ることができる。」は達成できましたか。	3.65	3.60	4.07	3.77
		【目標7】「ボランティア活動や体験活動に積極的に参加するなど、社会貢献の意欲と行動力を身に付けることができる。」は達成できましたか。	3.47	3.80	4.00	3.76
		【目標8】「向上心を持って専門性を高め指導方法を改善するなど、自律的に学び続ける意欲を身に付けることができる。」は達成できましたか。	3.71	4.00	4.43	4.05
10	教育課程の 編成・実施 と学修成果	教職課程科目は、文部科学省が定めた教職課程コアカリキュラムを基準として一定水準の内容で実施されています。あなたの教職課程科目全般に対する取組状況はどうでしたか。	3.94	3.73	4.36	4.01
		栄養教諭としての実践的指導力を高めるため、教職課程の各科目では、模擬授業やグループ活動などアクティブ・ラーニングを多く取り入れた授業を実施しています。あなたの取組状況はどうでしたか。	4.35	4.27	4.50	4.37
		履修カルテの作成・記入・評価は、教職課程を学ぶ上で必須の条件となっています。あなたは、教員としての意識や資質能力の向上に、履修カルテを十分活用していましたか。	3.29	3.73	3.50	3.51
		教職課程の授業や実習を通して、あなたは、教員・社会人としての基礎的な資質能力を高めることができましたか。	4.00	4.00	4.36	4.12
		教職課程委員会では、課程外の農場実習、学校インターンシップを設定するとともに、自主的なボランティア活動などを推奨してきました。このことを通して、あなたは、教員・社会人としての資質能力を高めることができましたか。	4.24	3.87	4.43	4.18
		教職課程科目や栄養学科の専門科目の学びを通して、あなたは、栄養教諭の責務である「栄養の指導および管理をつかさどる」ための資質能力を高めることができましたか。	3.53	3.93	4.36	3.94
		社会人基礎力の一つとして前に踏み出す力(主体性・他人に働きかけ巻き込む力・実行力)を身に付けることが求められています。あなたは、教職課程や栄養学科などの学びを通して、前に踏み出す力を身に付けることができましたか。	3.71	3.80	4.36	3.96
		社会人基礎力の一つとして考え抜く力(課題発見力・計画力・創造力)を身に付けることが求められています。あなたは、教職課程や栄養学科などでの学びを通して、考え抜く力を身に付けることができましたか。	3.82	4.20	4.36	4.13
		社会人基礎力の一つとしてチームで働く力(発信力・傾聴力・柔軟性・状況把握力・規律性・ストレスコントロール力)を身に付けることが求められています。あなたは、教職課程や栄養学科などの学びを通して、チームで働く力を身に付けることができましたか。	3.82	4.13	4.50	4.15
20	学生への指 導・支援	教職課程の履修を通して、あなたは、思考力・判断力・表現力などの学力や人間力の向上など、将来生きていく上で必要な資質能力を高めることができましたか。	3.76	4.00	4.21	3.99
		教職課程の履修開始に当たっては、入学時の履修希望者への栄養教諭教職ガイダンス、履修相談の職論におけるオリエンテーション、履修カルテの記入等の説明を行っています。これらのガイダンスにおける説明や指導内容は理解できましたか。	4.00	4.20	4.07	4.09
		履修等に関する学生からの相談は、学科の支援教員以外にも、教職課程科目担当教員や学務課の職員(含む就職相談室・学生相談室)が適宜対応しています。また、3年次には、教職課程委員会が行う面接指導も実施しています。これらの相談・面接活動について、あなたの活用状況はどうでしたか。	2.29	3.27	3.93	3.16
22		教員採用試験対策として、1年次生からの採用試験問題の配布や、各科目における啓発等の指導を行っています。また、3・4年次生では外部講師を活用する2回の試験対策ガイダンス、教職課程委員会による3回、計12日間の試験対策ゼミを実施しています。あなたの活用状況はどうでしたか。	2.41	3.93	4.50	3.61
		全体の平均値	3.62	3.90	4.21	3.91

1. 教育課程

5) 教養教育科

担当： 教養教育科

<p>本年度の活動目標</p>	<p>I. 初年次教育関連</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 英語 習熟度別授業を実施し、各学生の英語力にあった指導を行うことで学生一人一人の英語力の増強を図る。 2. 共通基礎教育科目 高等学校の教育課程を踏まえ、入学前教育・導入教育をおこなう。 3. 専門基礎科目との連携 新しい教育課程の下、効果的な連携を目指す。 <p>II. 学外研修関連 教養教育に関連する学外研修に参加し情報収集に努める。</p> <p>III. その他 その他、昨年度の状況を踏まえ、教養教育科の活動を充実させる。</p> <p>(大学基準協会の点検・評価項目の基準番号等記入欄)</p> <p>基準3 教育研究組織 ①②</p> <p>基準4 教育課程・学修成果 ③～⑧</p>
<p>活動内容の評価</p>	<p>I. 初年次教育関連 (基準4 ③～⑧)</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 英語教育 G-T E L Pを用いた習熟度別クラス分け、および到達度評価をおこなった(教授会報告済)。補修授業「英語寺子屋」を実施し、学生の英語力増強の助けとした。 2. 共通基礎科目 生物学および化学について、入学試験の合格者に対して、問題集を配布・回収・採点などの入学前教育・導入教育をおこなった。また、入学後に診断テストをおこない、高等学校の教育課程下における理科科目の定着状況の確認をおこなうとともに、習熟度別クラス分けなど履修指導に活用した(教授会報告済)。 3. 専門基礎科目との連携 カリキュラム検討委員会における議論の中で、ディプロマー・ポリシーやカリキュラム・ポリシーに基づき、専門基礎科目と教養教育科目の連携が整理されつつある。 <p>II. 学外研修関連 (基準3 ①②)</p> <p>初年次教育や教養教育に関連する学外研修に参加し情報収集した。本年度は下記の研究会等に参加した。科内で情報を共有し自己点検評価活動の参考とした。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 東北・北海道地区大学等・高等共通教育研究会(弘前大学, 8月) 2. 大学教育研究フォーラム(京都大学, 3月) <p>III. その他(基準3 ①②)</p> <p>科の自己点検評価活動として意見交換会をおこない、教育・研究・その他に関して情報の共有をはかった。</p>

次年度への課題	<ol style="list-style-type: none">1. 教養教育科で従来からおこなってきた教育・研究を、これからもとどこおりなく継続する。2. 本学の中期計画のなかで「教養教育科の在り方について」という項目が示され、検討されることとなった。新年度から実施される新しい教育課程のその先を見据え、学内で幅広い議論が行われると期待する。その中で、従来からある問題点・課題を提示し、よりよい教養教育科を構築してゆく必要がある。
---------	---

1. 教育課程

6) 看護栄養学研究科

担 当： 看護栄養学研究科

<p>本年度の活動目標</p>	<p>1. 将来構想</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学部卒業生の進学機会の拡大に向けた大学院体制の検討（教員体制、分野コース拡大） ・看護栄養学研究科としての特色の明確化と教育課程のPDCAサイクルの確立 <p>2. 教育課程</p> <ul style="list-style-type: none"> ・カリキュラムの効果的運用（共通科目の内容・展開、大学院の時間割運営） ・教務等の委員会や職員体制の検討 ・アドミッションポリシーの専攻毎の検討と策定を早急に行う。ディプロマポリシーに明示した学修成果についての適切な把握および評価について検討する <p>3. 大学院生定員確保のための対策</p> <ul style="list-style-type: none"> ・入試科目・学費の見直し ・大学院ホームページの見直しと充実、大学院に関する記事の掲載 ・大学院説明会の実施、公開授業、特別講義の実施 ・オープンキャンパスでの大学院のPR、大学院ブースの設置、大学院生の活用 ・学部生への大学院進学に対する意識づけ <p>4. 大学院生の学習環境・研究活動の充実に向けての支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ・看護栄養学研究科定員の変更に伴う院生学習室の環境整備 ・本学で使用しているWeb会議システム「LiveOn」ASP版を活用した授業・単位認定の栄養管理学専攻での実施と看護学専攻での検討 ・院生PCソフトのバージョンアップ、院生学習室の備品等の購入 ・職業実践力育成プログラム認定制度の申請検討 <p>5. 教育実践・研究活動</p> <ul style="list-style-type: none"> ・看護栄養学研究科としてのFDの企画・運営 ・看護栄養学研究科の特色を活かした実践・研究能力の向上 ・両専攻科の協働研究・協働事業の検討 <hr/> <p>（大学基準協会の点検・評価項目の基準番号等記入欄）</p> <p>基準4 教育課程・学修成果 ①-⑦</p> <p>基準5 学生の受け入れ ①-④</p> <p>基準7 学生支援 ①-③</p>
<p>活動内容の評価</p>	<p>2019年度は看護学専攻修士課程8名（保健師コース6名、ホスピス緩和ケアCNSコース1名、成人看護学コース1名）が修士（看護学）を取得した。栄養管理学専攻における修了生はいなかった。</p> <p>活動目標に対する評価を次に示す。</p> <p>1. 将来構想</p> <ul style="list-style-type: none"> ・看護学専攻は、精神看護CNSコースが認可された。 ・看護学専攻博士課程の設置申請を行ったが、今回は準備不足のため取り下げたが、2020年度申請、2022年度開設に向けて準備を行うこととする。 ・栄養管理学専攻においては来年度に向けてインターンシップ等の単位化を検討することとしていたが、病院でのインターンシップは実習先の確保が難しく進展していない。今後も他大学院の情報収集を継続するとともに、新たな方向性を見出すために検討を行うこととする。

2. 教育課程

- ・カリキュラムの効果的運用については、両専攻の社会人院生に合わせて、共通科目の開講時間を夜間にするなど、調整を行い、円滑な時間割運営を行った。今後も多様な学生に配慮しながら運営を行っていく必要がある。
- ・教務等の委員会や職員体制の検討については進展がなかった。今後も継続して検討を行う事とする。
- ・大学基準協会の指摘事項に対して、看護栄養学研究科として課程毎の学生の受け入れ方針を作成した。さらに学生募集の広報活動につなげられるように、3つのポリシーの充実を図るため継続して検討を行うこととする。教育課程のPDCAサイクルの確立についてはアセスメントポリシーの作成について今後も継続して検討を行うこととする。

3. 大学院生定員確保のための対策

- ・学費については本学の経費、競合校との兼ね合いを考え見直した。看護学専攻では本学卒業生の授業料について減額措置を行う。施設設備費、実験実習費はすべて徴収しないこととした。実習費は別途コースにより徴収することとなった。栄養管理学専攻では本学卒業生に限り施設設備費を半額に減免することとした。
- ・栄養管理学専攻では大学院ホームページを一部見直し、どのような研究を行えるのか、具体的にイメージしやすくするため過去の大学院生の研究テーマを掲載した。ホームページについて、今後も継続してブラッシュアップを行っていく。
- ・栄養管理学専攻では大学院説明会を企画し参加希望者が2名あり、1名は博士後期課程に合格した。今後も魅力ある企画を模索し継続して行いたい。
- ・看護学専攻保健師コースでは、オープンキャンパス（6月、8月）で説明会を開催し、6月25名、8月12名の参加があった。
- ・大学院のPR、オープンキャンパスでの大学院ブースの設置、大学院生の活用は今後も継続して実施する。
- ・学部生を対象に大学院進学への意識づけのために説明会を実施した。看護学科4/26 11名（4年）、6/26 6名（3年）、栄養学科7/2 9名（4年2名 3年5名）、10/29 14名（2年10名 1年4名）の参加。
- ・2020年度入試結果、看護学専攻は修士課程に保健師コース2名、成人看護学コース1名、老年看護CNS2名、計5名が合格した。今後精神看護CNSコースの入試を予定している。栄養管理学専攻は博士後期課程に2名が合格した。

4. 大学院生の学習環境・研究活動の充実に向けての支援

- ・栄養管理学専攻では社会人をサポートする目的で遠隔授業での単位認定を開始した。ただし、今年度は受講希望者がいなかった。看護学専攻については運用についての検討を継続する。
- ・院生PCのSPSS、エクセル栄養君、BDHQのバージョンアップを行い、院生の学習環境の充実を図ることが出来た。
- ・職業実践力育成プログラム認定制度の申請検討については進展がなかった。

5. 教育実践・研究活動：看護栄養学研究科の特色を活かした実践・研究能力の向上

- ・看護栄養学研究科としてのFD第1回8/19「ルーブリック評価入門」大阪大学全学教育推進機構教育学習支援部 佐藤 浩章 准教授の講演は学内教員16名の参加があった。
- ・両専攻科の協働研究・協働事業の検討は進展がなかった。今後も継続して検討を行う事とする。

次年度への課題	<ol style="list-style-type: none">1. 入学生確保に向けた広報活動の充実、奨学金制度の整備・拡大。2. 内部質保証システム整備のための実質的な検討として、教育課程のPDCAサイクルを確立する。3. アセスメントポリシーの専攻毎の検討と策定を早急に行う。学位授与方針に明示した学修成果についての適切な把握および評価について検討する。4. 大学院の教員体制の整備、大学院担当教員の業務軽減のための方策検討5. 看護学専攻博士課程の設置に向けて提出書類の整備と検討を行う。6. 看護学専攻では指定規則の改正に伴い、2022年度に向けて新カリキュラムを検討する。また、栄養管理学専攻との共通科目についても評価・検討を行う。
---------	---

1. 教育課程

7) 助産研究科

担 当： 助産研究科 (教務委員会)

<p>本年度の活動目標</p>	<p>1. 実習施設の安定的な確保 2. 教員の実習指導体制の見直しと検討 3. ルーブリック評価表の活用の拡大 4. カリキュラムの見直しと新カリキュラムの検討</p> <hr/> <p>(大学基準協会の点検・評価項目の基準番号等記入欄) 基準 1 - ① (助産専門職大学院認証評価項目)</p>
<p>活動内容の評価</p>	<p>1. 実習施設の安定的確保については実習によって達成度には違いがあった。</p> <p>①マタニティサイクル助産ケア基礎実習および統合実習 I 実習施設の安定的確保には至らなかった。これまで実習施設として利用していた施設がそれぞれの事情から実習受け入れできないとの連絡が2施設からあった。急遽3施設に実習受け入れをお願いできたが、次年度の見通しとして安定的な確保の達成は難しい状況である。専門職大学院として、高度な助産ケアを提供している実習施設を確保することは当然ながら重要要件である。活動目標として継続する。</p> <p>②マタニティサイクル独立助産実習 安定的な実施施設の確保ができています。次年度は院生数がふえることから新規実習施設を1箇所確保した。実習評価は、教員と実習先の指導助産師とで実施。</p> <p>③マタニティサイクル助産ケア統合実習 II 実習日程を実習施設側と調整することで安定的な確保ができています。</p> <p>④国際助産実習 十数年、実習先であったアベマリア産病院 (マダガスカル) での実習が困難となり、新たな実習先を今年度から検討中。今年度はベトナム (ハノイ、フエ等) で実習を行った。次年度はアジア圏で国を変えて実施予定である。将来的には継続した交流が可能な実習国 (実習地域・施設等) を実習先として選定したい。</p> <p>⑤性教育実習 昨年度までの中学校から今年度は高校に変わったが実習施設の安定的な確保ができています。</p> <p>2. 教員の実習指導体制の見直しと検討 マタニティサイクル助産ケア統合実習 I では、遠隔地の実習施設は4か所であった。そのうちの一部については、日程を調整し、サポート教員を配置することで長期間、大学において仕事ができない状況の改善が図れた。それ以外の遠隔地施設においても現地実習指導教員 (インストラクター) の重点配置によって大学で仕事ができる期間を昨年度より確保することができた。</p> <p>3. ルーブリック評価表の活用の拡大 ルーブリック評価表の適正について検討・評価を継続した (形成評価の効果、院生の自己評価と教員評価の一致あるいはバラツキとその要因等)。そのため今年度は、他の実習科目に広げるまでには至らなかった。</p> <p>4. カリキュラムの見直しと新カリキュラムの検討 文部科学省が要請している次の新カリキュラム改訂に合わせられるよう、主に、 ①修了時の到達目標の確認、②科目及び単位数、③実習目標と単位数、④研究に関する科目の充実、⑤科目の配置の見直し継続中である。</p>

次年度への課題	<ol style="list-style-type: none">1. 実習施設の安定的な確保2. 教員の実習指導体制の見直しと検討3. ルーブリック評価表の活用の拡大4. カリキュラムの見直しと新カリキュラムの検討
---------	--

2. 学生の受け入れ

担 当： 入試委員会

<p>本年度の活動目標</p>	<p>1. 各種入学試験について、一層、厳正な実施と円滑な運営に努める。</p> <p>2. アドミッションポリシーに相応しい入学者確保に向けた入学試験選抜制度と内容について検討を継続する。</p> <hr/> <p>(大学基準協会の点検・評価項目の基準番号等記入欄)</p> <p>基準5 学生の受け入れ ①、②、③、④</p>
<p>活動内容の評価</p>	<p>【活動目標に対する評価（総評）】</p> <p>2020年度入学試験においては、試験・採点・合否判定・発表を公正かつ適正に進め、大きなミスなどもなく終了することができた。</p> <p>また、入学定員及び募集人員の変更に関する公表についても適正に対処し、入学定員を満たす志願者数を確保した。</p> <p>入学試験当日は、自然災害（悪天候）による受験者遅延、コロナウィルス感染防止など、不測の事態への対応に迫られたが、学長、入試委員会、入試・広報室の連携の下で事前準備を行い、リスクを回避した。</p> <p>2021年度入学者選抜制度の検討については、文部科学省、他大学、高校等からの情報収集を行い、本学がこれまでに実施してきた入試制度を継承しながら、一部を改正し、早期に受験生等へ公表することができた。</p> <p>1. 入学試験実施に関する評価は以下のとおり。</p> <p>①広報委員会と連携の下、アドミッションポリシーと入試との関連については、ホームページ・大学案内等・オープンキャンパス・進学相談会・高校訪問等で広く周知する。(基準5-①)</p> <p>②昨年度課題とした合否判定入試委員会を廃止し、入学試験における効率的な運営を図った。(基準5-②)</p> <p>③昨年度課題としたトラブル対応のマニュアルの充実について、「入試本部要領」を一部見直した。(基準5-②)</p> <p>④昨年度の課題とした不測の事態を想定し、試験監督者等に予備員を配置した。(基準5-②)</p> <p>⑤面接試験時間中の受験者の不正を抑止するために、控室の巡回を行った。(基準5-②)</p> <p>⑥入学試験当日の自然災害等への備えとして、次の受け入れ準備態勢を整備した。(基準5-②)</p> <ul style="list-style-type: none"> ●試験開始時刻の繰り下げ対応 ●別室受験対応 ●コロナウィルス感染防止の対応 ●上記に関する注意喚起等（公式ホームページによる受験者への連絡） <p>⑦推薦入学試験における小論文試験採点担当者の負担を考慮し、小論文試験を9時から実施し、その後に面接試験を行うタイムスケジュールに変更した。その結果、小論文試験の採点業務の開始時刻及び終了時刻が早くなった。(基準5-②)</p> <p>⑧大学入試センター試験では、共同実施校と連携を図りながら準備を進め、円滑に試験を実施した。(基準5-②)</p> <p>⑨一般入学試験における出題ミスの防止対策として、問題作成及び校正スケジュールを早め、第三者機関による点検後に問題を修正する時間を昨年度よりも長く確保することができた。(基準5-②)</p> <p>⑩入学試験当日の自然災害に対するリスク管理の一貫として、一般入学試験予備問題</p>

	<p>の整備に向けて、他大学や業者からの情報収集を行い、実現のための条件等の検討を行った。(基準5-②)</p> <p>①その他、各種入学試験に関するアンケートを教職員対象に実施し、その結果等をもとに入試委員会で検討し、改善を続けている。(基準5-②、④)</p> <p>②入学定員の変更申請に対して、次のとおり適正に対応した。(基準5-③)</p> <ul style="list-style-type: none"> ●入学定員の変更については、4月から広報活動できるように方針を定めた。 ●入学定員に伴う募集人員の変更については、4月1日に教授会で決定した。 ●認可通知を受けて、速やかに入学定員及び募集人員の決定について告知した。 <p>2. 2021年度入学者選抜制度・内容の検討についての評価は以下のとおり。</p> <p>①文部科学省の方針転換により、大学共通テストの制度が大幅に変更されたが、受験生に混乱が及ばないように、道内の他大学に先駆けて11月に本学の方針・選抜概要を公表した。(基準5-①、④)</p> <p>②2021年度入学者選抜のリーフレットを作成し、広報委員会と連携して2021年度に受験生や高校関係者等に配布する。(基準5-①、④)</p> <p>③2021年度入学者選抜おける改正に基づき、学校推薦型選抜(指定校)に小論文試験を課すこととした。また、その出題方針についても公募制推薦入学試験との比較のもと決定した。(基準5-②、④)</p> <p>3. 中期的課題への取り組み</p> <p>①インターネット出願の検討に向けた情報収集(目的、費用、成果等)を行った。(基準5-②、④)</p>
次年度への課題	<p>1. 入学者選抜の実施運営について</p> <p>引き続き適切な入学者選抜の実施・運営に万全を期する。そのため、具体的に次年度は以下の点を行う。</p> <p>①入学試験当日に起こりうる自然災害等に対し対応マニュアルの検討・作成を行う。</p> <p>②一般選抜における問題作成について、過去の問題における難易度等の適切性について点検し入学者確保につながっているか精査を行う。</p> <p>③一般選抜における問題および予備問題の作成について、使用方法などを出題者や各大学へ調査を行い検討する。</p> <p>④「学生募集要項」、「入学者選抜 実施要領・監督要領」、入学者選抜にかかる各種帳票、事務作業の点検・見直しを行い、適正かつ効率的な入学者選抜の実施・運営を行う。</p> <p>2. 入学者選抜制度改正等について</p> <p>①改正内容について受験生等に不安を感じさせないように、説明リーフレットを作成し、広報委員会と連携をとりながら高校や受験生に情報発信を行う。</p> <p>②高等学校へ大学入試センター試験面接時の倍率や合否判定方法について文書化するなど受験生へ不足している情報を開示できるよう努める。</p> <p>③大学共通テストについて、制度変更があっても対応できるよう継続的に情報収集を行う。</p> <p>3. その他中期計画に向けた取り組み</p> <p>①インターネット出願について、受験生や大学のメリットや導入費用、IRとの関連、他大学の動向を含め、2020年度も引き続き調査・研究を行う。</p> <p>②入学後のミスマッチの防止、高大接続、入学後追跡調査の観点から、入学試験データの利用を検討する。2020年度は、どのようなデータが必要かについて検討を行う。また、受験生宛の情報として、入学者選抜及び広報活動に関する個人情報の取り扱いを「学生募集要項」に記述する。</p>

2. 学生の受け入れ

担 当： 広報委員会

<p>本年度の活動目標</p>	<p>目標 1. 入学志願者及び入学者数の安定的確保 目標 2. 入学者の学力的質保証 目標 3. 内部質保証のためのPDCAの循環</p> <p>(大学基準協会の点検・評価項目の基準番号等記入欄)</p> <p>基準 5 学生の受け入れ</p> <p>②学生の受け入れ方針に基づき、学生募集の運営体制を適切に整備しているか。 ③適切な定員を設定して学生の受け入れを行うとともに、在籍学生数を収容定員に基づき適正に管理しているか。 ④学生の受け入れの適切性について定期的に点検・評価を行っているか。また、その結果をもとに改善・向上に向けた取り組みを行っているか。</p> <p>(改善課題・是正勧告)</p> <p>改善課題No.3 大学院在籍学生比率の向上 (2018年度認証評価 基準5)</p> <p>【大学基準協会の点検・評価項目と広報委員会活動目標との対応表】</p> <table border="1" data-bbox="480 815 1402 1037"> <thead> <tr> <th>大学基準協会の点検・評価項目</th> <th>2019年度広報委員会活動目標</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>基準 5 ②</td> <td>目標 1・2</td> </tr> <tr> <td>基準 5 ③</td> <td>目標 1・2</td> </tr> <tr> <td>基準 5 ④</td> <td>目標 1・2・3</td> </tr> <tr> <td>改善課題No.3</td> <td>目標 1</td> </tr> </tbody> </table>	大学基準協会の点検・評価項目	2019年度広報委員会活動目標	基準 5 ②	目標 1・2	基準 5 ③	目標 1・2	基準 5 ④	目標 1・2・3	改善課題No.3	目標 1
大学基準協会の点検・評価項目	2019年度広報委員会活動目標										
基準 5 ②	目標 1・2										
基準 5 ③	目標 1・2										
基準 5 ④	目標 1・2・3										
改善課題No.3	目標 1										
<p>活動内容の評価</p>	<p>【基準 5 ②関連】</p> <p>このことについて、「2019年度広報委員会活動計画」に基づき執行した。</p> <p>1. 全教職員参加型の広報活動《目標 1・2 関連》</p> <ul style="list-style-type: none"> ●オープンキャンパス、進学相談会、校内ガイダンス・・・教職員 ●模擬授業（学内外）・・・教員 ●高校訪問・・・職員 <p>2. 理事者、教職員等との情報共有《目標 1・2 関連》</p> <ul style="list-style-type: none"> ●学内理事者、事務局長・次長との共有・・・学内理事打ち合わせ会 ●学内理事、研究科長、学科長等との共有・・・学園運営連絡会議 ●事務局課室長との共有・・・局課室長会議 ●教職員との共有・・・広報活動勉強会 <p>3. 情報収集及び情報発信システムと管理体制《目標 1・2 関連》</p> <p>広報委員会では、例年から継続的に次の整備等を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ●教職員への学内情報提供の依頼及び発信 ●学内情報収集システム整備及び発信情報のチェック体制 ●私立大学協会 広報担当者協議会への初参加（入試・広報室員） <p>【基準 5 ③関連】</p> <p>1. 入学定員増加に関する広報活動《目標 1・2 関連》</p> <p>2020年度からの変更について、次のとおり活動を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ●看護学科については87から100名に変更する申請を行い、7月に文部科学省から認可された後に、入学定員増加に関する広報活動を正式に展開した。 ●栄養学科については85から90名に変更する申請を行い、7月に文部科学省から認可されたが、厚生労働省の結果が3月まで出ないことから、申請中と記して広報活動した。 										

- 上記の広報活動として、公式ホームページ、高校訪問、オープンキャンパス、ダイレクトメール（以下、DM）などにより行った。

2. 学生数の管理<<目標1関連>>

2019年5月1日現在における看護栄養学部の学生数については、看護学科387名（収容定員充足率111%）、栄養学科367名（105%）で、両学科ともに収容定員を適正に管理している。

大学院看護栄養学研究科については、看護学専攻が20名（71%）、栄養管理学専攻が8名（67%）と収容定員を満たしていない。

【基準5 ④関連】

本学の内部保証システムの一貫として、広報委員会では次年度予算案作成時及び新年度当初に、前年度活動の点検評価を基に「活動計画書」を作成し、目標1から3のための広報活動の改善・強化を行った。

以下が、主な活動内容と改善事項である。

1. 内部質保証に向けたデータ整理・活用<<目標3関連>>

活動評価指標を整理し、データ作成の充実を図り、改善につなげている。

- 入試データ（志願者数、入学者数等、ランク別・地域別等データ等）
- 新入生アンケート
- オープンキャンパスデータ
- オープンキャンパス参加者アンケートデータ
- 進学相談会等・校内ガイダンス相談者等集計
- その他

2. 受験生の接触機会増加を図るための改善<<目標1関連>>

(1) セグメント式（対象別）広報活動の強化

対象別の主なPRポイントを次のとおり設定し、広報活動を徹底した。

- 中学生、高校1・2年生向け…職業に関する情報等
- 高校3年生…天使大学の強み・特色、入試情報等
- 保護者…支援体制、学費等

(2) オープンキャンパスの日程変更

昨年度まで実施していた7月末に夏期講習がある高等学校が多いことから、第2回を8月1日（木）・2日（金）に開催した。

(3) 大学説明会の開催（コロナウィルス感染防止のため中止）

「新入生アンケート」の設問「天使大学を志望校として検討し始めたのはいつ頃でしたか」の回答で、最も多かったのが高校3年生の4月であったことから、その時期に志望校検討ができるように、今年度初めて、高校2年生の3月に情報提供をおこなうための大学説明会を企画した。

(4) タイミング戦略及びプッシュ戦略の強化

「新入生アンケート」の設問「天使大学を志望校として検討し始めたのはいつ頃でしたか」の設問で、高校3年の4月・6月・8月・10月との回答が多数であったため、タイミング戦略の強化策として（2）・（3）のほかに、次のとおりダイレクトメール（以下、DM）戦略の強化を図った。

- 第1回オープンキャンパスの参加者数、各高校で行われる校内ガイダンス、進学相談会などの参加者数及び高校訪問による進路指導部からの聞き取り情報等から、栄養学科の安定的な志願者獲得が難しい状況であることを判断し、急きょ年度計画にはなかったチラシ「ひとの生活を支える食の専門家になる

う」を制作し、7月に本学以外の道内栄養系学科を希望する高校3年生へ送付した。これにより第2回オープンキャンパスの動員強化を図った（タイミング戦略とプッシュ戦略の組み合わせ）。

●例年、12月に送付していた本学接触者（オープンキャンパス参加者、資料請求者等）への「志願促進DM」を高校3年生には10月、高校2年生には3月に送付した。

●栄養学科の推薦入学試験志願者が募集人員に達しなかったため、年度計画にはなかったが、栄養学科のセンター入試直前にプッシュ戦略DMを、他の栄養系大学を希望する高校3年生へ送付し、志願者獲得に努めた。

(5) 高校との接触強化

「新入生アンケート」の設問「志望校の決定にあたり誰に相談しましたか。」で、高校教員の影響力が強いことが示されているため、次のとおり高校との接触強化を図った。

●上記(4)のチラシ「ひとの生活を支える食の専門家になろう」を7月に道内高校103校へ送付し、第2回オープンキャンパスの動員強化を図った。

●第3回オープンキャンパス動員強化のため、オープンキャンパス案内チラシを道内高校103校へ送付した。

●説明会、校内ガイダンスなどの依頼がもらえるように高校教員との信頼関係を強め、その成果として3年間で次の高校から依頼を受けた。

札幌旭丘高校、札幌藻岩高校、石狩南高校など

(6) 2021年度入学者選抜制度改正に関する広報活動<<目標1・2関連>>

広報委員会では、高校教員からの意見聴取内容を入試委員会へ報告するとともに、入試委員会が公表した情報を公式ホームページ、高校訪問、オープンキャンパス、DMなどにより広報活動を行った。

3. 接触者の志願率・入学定着率の向上のための改善<<目標1・2関連>>

(1) 教育の質の高さの浸透⇒「天使ブランド・イメージ」の向上

次の事項に関する内容充実を図り、大学案内及び公式ホームページにてPRを行った。

●3ポリシー

●「愛、思いやり、慈しみ、感謝」のころをもった医療人の養成（人間教育）

●新カリキュラムの特色・強み、大学院との接続

(2) ディプロマ・ポリシー及びカリキュラムのPR

大学案内、公式ホームページ、DM、オープンキャンパス等で周知をした。

●ディプロマ・ポリシーについては、修業までに身につける7つの能力と学習成果の厳格化についてPRした。

●新カリキュラムについては、教育科目群等による体系及び4年間の学びのステップ、ディプロマ・ポリシーとの関連等について図で示したほかに、カリキュラムの特色についてPRした。

(3) 教育環境整備に関するPR

次の対応を行った。

●オープンキャンパスや各高校への「新棟案内リーフレット」の配布

●大学案内や公式ホームページによる案内

(4) 天使大学志願敬遠層への対策

早い時期から受験対策情報を提供し、受験対策に取り組むことを支援するこ

とにより、本学を難関大学と考える敬遠者を減らすことを目標に、前年度のオープンキャンパスで配布した受験対策資料『天使大学 小論文試験対策講座資料』『天使大学一般入試「傾向と対策」』（ともに駿台予備学校制作）を4月からの進学相談会・校内ガイダンス及び高校訪問等で配布した。

【改善課題No.3 関連】

大学院広報の次の事項について新規に対応した。《目標1 関連》

- 看護学専攻精神看護CNSコースの申請後に、コース概要を記したチラシを作成し、精神看護領域の教員が関連病院等を訪問して配布をした。また、認可後に、募集及び入学試験の実施について公式ホームページで公表し、学生募集要項を配布した。
- 看護学専攻の学生生徒納付金の減額について公式ホームページで公表した。

【各種データによる2019年度総評】

①2020年度入学試験結果

	看護学科		栄養学科	
	志願者数	入学者数	志願者数	入学者数
指定校推薦	6 (+1)	6 (+1)	5 (+2)	5 (+2)
公募制推薦	59 (+13)	36 (+1)	35 (-16)	34 (-5)
社会人	3 (±0)	0 (±0)	0 (-1)	0 (±0)
一般	287 (-2)	39 (-7)	73 (+4)	40 (+3)
センター利用	150 (-30)	19 (+9)	52 (±0)	11 (+1)
計	505 (-18)	100 (+4)	165 (-11)	90 (+1)

単位：名

	看護学専攻		栄養管理学専攻	
	志願者数	入学者数	志願者数	入学者数
推薦(修)	1 (-2)	1 (-1)	—	—
一般(修・前)	3 (-4)	1 (-4)	0 (-2)	0 (-1)
一般(修・後)	2 (-1)	2 (-1)	1 (-2)	0 (-1)
申請CNS(修)	0 (-1)	0 (-1)	—	—
一般(博・前)	—	—	1 (+1)	1 (+1)
一般(博・後)	—	—	1 (+1)	1 (+1)
計	6 (-8)	4 (-7)	3 (-2)	2 (±0)

2020年度の申請CNSは精神（前年度は老年）

単位：名

②2019年度オープンキャンパス参加者数

	看護学科	栄養学科	看護学専攻	栄養管理学専攻
6月	60 (-38)	39 (-11)	5 (-17)	0 (+0)
8月	294 (+14)	124 (-45)	9 (-3)	1 (+1)
9月	185 (+8)	90 (-14)	—	—
計	539 (-16)	253 (-70)	14 (-20)	1 (+1)

単位：名

③進学相談会・校内ガイダンス等相談者数		参加件数	看護学科	栄養学科	計（学科未 定含）	第一志望者
		57 (-1)	931 (+4)	241 (-11)	1,198 (+ 2)	80 (-8)

単位：名

(総評)

1. 2019年度広報委員会活動目標（1～3）について

看護栄養学部においては、2020年度入学志願者数が概ね前年度並みで、増加した入学定員を確保できた。

なお、栄養学科については、オープンキャンパス参加者数が各回（1～3回）とも前年度を下回り、推薦入学試験（11月）の志願者数も募集人員（42名）を満たすことができないなど、安定的な志願者数の獲得ができずに、入学定員割れも懸念されたが、緊急避難的な対策として、当初、活動計画にはないプッシュ戦略、タイミング戦略、高校訪問などの志願者開拓のための志願促進活動を下半期に展開し、かろうじて昨年度並みの志願者数とすることができた。

入学者の学力的質保証については、これまでに培った偏差値や伝統などのブランド力を背景とした天使大学の社会的評価が受験生や高校関係者に認知されたことにより、例年並みの学力を有した入学者を獲得できる見通しである。

また、改訂されたディプロマ・ポリシー及びカリキュラムの広報にも力を入れ、出願書類への記述等から志願者には浸透していることが窺えた。

内部質保証に向けた取組みとして、活動評価指標を整理し、データ作成・活用を積み重ねて、活動の点検評価を日常的に行い、改善につなげている。

また、学内理事者及び教職員への情報提供にも様々な機会を利用して行った。大学院看護栄養学研究科については2のとおり。

2. 大学基準協会の点検・評価項目について

基準5 学生の受け入れにかかる点検・項目（②・③・④）と2019年度本学広報活動目標とを関連づけて計画を作成し、1のとおり活動目標をクリアしたため、大学基準協会の点検・評価項目の基準についても概ね満たされていると評価する。

ただし、改善課題として指摘されている大学院看護栄養学研究科における在籍学生比率の向上については、十分な成果が得られていない。

これは広報活動の改善・強化だけでは解決しえない課題であり、収容定員の見直し、経済的負担の少ない学生生徒納付金、奨学制度の充実、ニーズに合った就職、教育、研究支援などについて全学的に検討しなければならない。

次年度への課題	<p>【目標】</p> <p>2019年度と同じ3項目（目標1～3）</p> <p>【重点課題】</p> <p>1. 接触者及び志願者の増加をめざし、「プラス・ワンタッチ」をテーマに広報活動を展開する。 ※特にセカンド・タッチ（接触回数2回）以上の者の増加をねらう</p> <p>2. 管理栄養士（病院・公務員）及び栄養教諭の職業理解及び就職実績の浸透を図る。</p> <p>3. 内部質保証のためのデータを活用してのPDCAサイクル循環を促進する。</p> <p>4. 大学院広報の強化を図る。</p> <p>5. 上記以外の中期計画課題解決に向けた検討及び活動を行う。</p>
---------	--

2. 学生の受け入れ

担 当： 助産入試広報委員会

<p>本年度の活動目標</p>	<p>1. 限られたマンパワー・予算の中で、「アドミッション・ポリシーに合った志願者」が増加するよう、広報効果の最大化を図る。</p> <p>2. 入試ミス防止に十分配慮するとともに、円滑で遺漏のない入学試験の実施・運営に万全を期する。</p> <p>(大学基準協会の点検・評価項目の基準番号等記入欄)</p> <p>基準5 学生の受け入れ ①、②、③、④</p> <p>助産専門職大学院認証評価基準3-1-4</p> <p>学生の受け入れ方針・選抜基準・選抜方法等の学生受け入れのあり方について、恒常的に検証する組織体制・システムが確立されていること。</p>
<p>活動内容の評価</p>	<p>1. 広報についての活動目標を達成するために行った活動と評価は以下のとおり。</p> <p>①6月と8月にオープンキャンパスを開催した。第1回で「体験型施設紹介」を行い、第2回に「院生による母親学級」と「施設紹介」を行った。参加者は第1回が20名(昨年度25名)、第2回が39名(昨年度28名)だった。高校生の参加者も複数名いた。</p> <p>②助産研究科ちらし・ポスター・パンフレット・学生募集要項を病院・看護大学等に一斉送付した。昨年度課題とした送付時期の早期化および送付回数の実践について、5月中旬(昨年度6月上旬)および7月中旬(昨年度8月下旬)にそれぞれ送付した。</p> <p>③「オープンキャンパスの開催」や「入学試験の出願開始」を告知するため、資料請求者等に対しメールマガジンを配信した(年2回)。</p> <p>④本学看護学科学生に対する学内説明会を実施した(3,4年次生対象:参加者数10名(4月17日開催)、1,2年次生対象:参加者数37名(7月9日開催))。</p> <p>以上の活動の結果、昨年度より志願者が35名と昨年度より8名増加した。</p> <p>2. 推薦入学試験、前期試験(一般入学試験、社会人入学試験、助産教育分野入学試験)、後期試験(一般入学試験、助産教育分野入学試験)を実施した。試験前に学長および入試広報委員長による試験問題の最終チェックを行うなど入念に準備を進め、全体として円滑に入試業務を遂行した。</p> <p>3. 助産研究科入学試験の合否判定のあり方について、検討した</p>
<p>次年度への課題</p>	<p>1. webサイトについて、引き続き、他の大学院との違い等訴求内容が伝わりやすいよう見直しを行う。</p> <p>2. 魅力あるオープンキャンパスへの動員および出願者を増加させるため、引き続き、オープンキャンパスの魅力あるコンテンツの検討を行う。</p> <p>3. 天使大学 看護学科学生に対する広報活動を強化する。</p> <p>①看護学科学生に向けた、授業公開や院生との交流会の実施を検討する。</p> <p>②学部進学者のメリット(入試、学費等)を検討する。</p> <p>4. 看護系大学や病院等への広報活動を強化する。</p> <p>①道内看護系大学</p> <p>②その他全国の看護系大学</p> <p>5. 推薦選抜や助産教育分野の入学選抜制度の選抜科目等の見直しを検討する。</p> <p>6. 入学生確保に向けた新たな社会人推薦選抜制度を検討する。</p> <p>7. 入試ミス防止に十分配慮するとともに、円滑で遺漏のない入学試験の実施・運営に万全を期する。限られた人員で実施するため、事務局の協力も含めた体制を検討する。</p> <p>8. 助産研究科入学選抜合否判定の体制を規程で定める。</p>

3. 教員組織

担 当： 自己点検評価委員会

<p>本年度の活動目標</p>	<p>1. 大学基準協会の意見を参考に、「教育研究組織としての適切性」について、教育の質保証の観点からも大学としての教員組織の編成方針及び求める教員像をより明確にし、人事方針に位置付ける。</p> <p>2. 教員組織については、将来的な課題に対応した教員組織を整備し、組織的な連携体制を構築するとともに全学的な取り組みの中で定員確保に向けた取組を進める。</p> <hr/> <p>(大学基準協会の点検・評価項目の基準番号等記入欄)</p> <p>基準6 教員・教員組織 ①、②、③、⑤</p>
<p>活動内容の評価</p>	<p>1. 教育研究組織としての適切性については、大学基準協会による認証評価結果を踏まえて検討した。</p> <p>(1) 大学の理念等に基づき求める教員像 人事方針に「教員には建学の精神を理解し、使命感、倫理観、愛情をもって学生の学修を支援するとともに専門分野の研究活動に携わること」を記載しているが、より分かりやすい教員像の記載に努める。</p> <p>(2) 人事方針において、学部学科ごと、専門職大学院についての教員組織の編成方針について記載している。</p> <p>2. 教員組織について</p> <p>(1) 2019年度人事方針からの変更は教員の定年退職を見込み、看護栄養学部の教員定数は66名とした。 看護栄養学部の教員定数66名の内訳は、看護学科33名、栄養学科27名、教養教育科6名である。 栄養学科の教員定数と配置数の相違については、整理が必要である。</p> <p>(2) 教員体制については、大学基準協会の指摘のとおり嘱託教員及び特任教員が多く、高齢化しているため、教員の昇任を一部実現した。 栄養学科については、教員退職を見越して新年度に向けて教員確保に努めた。</p> <p>(3) 教養教育科のあり方について、検討したが結論を得るに至らなかった。</p>
<p>次年度への課題</p>	<p>1. 求める教員像等についてより明確にして、人事方針等に反映する。</p> <p>2. 教授については、嘱託教員や特任教員が多く、昇任を含めて専任教授の確保に向けて取り組む。</p> <p>3. 教養教育科のあり方について検討する。</p>

4. 研究活動・研究環境

担 当： 学術振興委員会

<p>本年度の活動目標</p>	<p>1. 科研費等競争的外部資金獲得のための講習会を複数回企画する。</p> <p>2. 紀要第20巻(第1号・第2号)を発刊する。</p> <p>3. 特別研究費による研究報告会を開催し、発表後の紀要等への投稿を促す。</p> <p>4. 教員の研究時間の確保と環境整備について具体的な対策を検討する。</p> <hr/> <p>(大学基準協会の点検・評価項目の基準番号等記入欄)</p> <p>・基準2 内部質保証 ④ ・基準8 教育研究等環境</p>
<p>活動内容の評価</p>	<p>1. 外部資金獲得のための講習会については、毎年企画・実施しているが、今年度は、実習との調整ができず、財務室の科研費に関する説明会のほかは、科研費獲得のためのアドバイスを小澤芳子教授、伊織光恵講師に依頼し、実施した。</p> <p>2019年9月3日(火)18:10-19:10 6101講義室 参加者16名</p> <p>2. 紀要第20巻第1号、第2号とも2件の投稿があり、各々複数の査読委員による査読を経て、委員会による紀要掲載可否判定の結果、下記のとおり、紀要に掲載することが決定した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・泉 史郎・鈴木純子共著『サルコペニアの予防・改善に寄与する食生活の考察』（総説）第1号掲載 ・新井英志著『栄養教諭養成課程における「生徒指導論」の実践と効果(3)－教職課程コアカリキュラム対応型授業の試行的実践における効果の検証－(原著論文)第1号掲載 ・新井英志著『教職課程コアカリキュラムに対応した「教育課程論」の実践と効果(1)－栄養教諭養成課程における試行の検証－』(原著論文)第2号掲載 ・三浦恵津子他『実習後のナラティブを導入したカンファレンスによって助産学生から語られた内容－ナラティブが与えた学生への影響－』(報告)第2号掲載 <p>3. 特別研究費による研究報告会について、今回は全員看護学科の教員による報告となった。7名による報告が、2020年3月11日(水)午前8時50分から、6101講義室で行われる。</p> <p>4. 教育研究等環境について</p> <p>個々の教員の外部資金獲得のための努力のみで、なかなか申請件数を増やせる状況にない。研究時間の確保などが、喫緊の課題となっている。</p> <p>次年度は、外部資金を獲得するために申請および投稿した教員については特別研究費を配付し、外部資金獲得の申請や投稿を行わない教員については、研究費の減額などの処置を講じ、実態に見合った研究費の配分を行うことを、特別研究費委員会に提起していく。</p>
<p>次年度への課題</p>	<p>1. 特別研究費委員会に向けて、外部資金獲得のための申請者や投稿者には、10万円程度の研究費を配付し、投稿されない教員の研究費は減額するなど、教員の研究状況に応じた対応を求める。</p> <p>2. 特別研究費を取得し研究を行った教員は、必ず3年以内に紀要、その他に投稿しなければならないことを徹底する。</p>

4. 研究活動・研究環境

担 当：研究倫理委員会

<p>本年度の活動目標</p>	<p>1. 迅速な倫理審査の実施 2. 現行の倫理指針に沿った審査手続きの遂行 3. 研究倫理に関する研修活動および関連する情報提供の実施</p> <p>(大学基準協会の点検・評価項目の基準番号等記入欄) 基準8 教育研究等環境 ⑤</p>
<p>活動内容の評価</p>	<p>1. 今年度は全体で32件の研究倫理審査申請があった。各申請に対しては、事務局を担当している財務室スタッフおよび委員長が申請書類等を確認しているが、申請者本人の事前チェックが不十分なものも多く、昨年度同様その対応に相当の時間を要した。よって次年度は、チェックリストの適切な使い方についてさらに周知徹底させる必要があると思われる。</p> <p>2. 現行の倫理指針「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」に合わせた委員会規程に則って、委員会構成員（学外委員の登用）、委員会審議事項への利益相反の明記などを盛り込んだ委員会規程の下で業務を遂行した。</p> <p>3. 従来同様、年度始めの早い時期に、本学での研究倫理審査申請の手続き等の研修会を実施し、研修会参加者には研修を受けた旨の修了書を発行した。</p>
<p>次年度への課題</p>	<p>1. 従来通りの迅速な研究倫理審査を実施すること。 2. 国の倫理指針に基づきながら委員会業務を遂行すること。研究倫理に関する研修会の実施や、研究倫理に関する幅広い情報提供の実施。 3. 学術振興委員会等、他の委員会とも連携しながら、関係する情報の共有を図ること。</p>

4. 研究活動・研究環境

担 当： 病原体等安全管理委員会

<p>本年度の活動目標</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. 天使学園病原体等管理委員会規程（規程）および天使大学病原体等安全管理マニュアル（マニュアル）に従い病原体を安全に管理する。 2. 病原体等の入手・分与を安全に実施する。 3. 文部科学省の病原性微生物の保管・管理の調査に対応する。 <p>(大学基準協会の点検・評価項目の基準番号等記入欄)</p> <p>基準8 教育研究等環境①、④</p>
<p>活動内容の評価</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. 「病原体等安全管理委員会規程」および「天使大学安全管理マニュアル」に従い、天使大学が保有する病原体等を安全に管理し、病原体等を扱う研究者に対して、研究環境を整備している。 2. 2019年度に病原体の分与及び譲渡はなかった。 3. 2019年6月5日付文部科学省研究振興局の「病原性微生物の保管・管理の徹底および保管状況調査」について、調査報告書を提出し、適切に対応した。
<p>次年度への課題</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. 保有している病原体等を、引き続き安全に管理する。 2. 病原体等の入手・分与の際には、安全性を考慮し、適切に対応する。 3. 関係省庁の病原性微生物の保管・管理に関する調査へ随時対応する。

5. FD活動教育活動

担 当： FD委員会

<p>本年度の活動目標</p>	<p>本学の教育理念並びに教育目標に基づき、FD研修会、学生による授業評価アンケート及び教員間の授業参観の実施を中心に、全学的な教育改善のための諸活動を行う。</p> <p>(大学基準協会の点検・評価項目の基準番号等記入欄)</p> <p>基準6 ④</p>
<p>活動内容の評価</p>	<p>1. 教育の内部質保証に関連し、アセスメント・ポリシーに関する研修会を2回実施した。しかし、アセスメント・ポリシーを検討するカリキュラム検討委員会での検討進捗状況の把握が難しく、研修会の内容決定に影響した。</p> <p>FD研修会は、本学の状況や課題への具体的な取り組みにつながる機会となるよう企画したが、全学的な取り組みとなるためには、関連委員会等学内組織間の連携等を検討する必要がある。</p> <p>2. 学生による授業評価アンケートを実施するとともに、2020年度以降のアンケート実施方法についての見直しを実施した。</p> <p>質問項目については授業時間外学習時間の把握に関する選択肢を大幅に見直すとともに、必要な項目を整理した。また、実施方法をマークシートからWebに変更することで、委員会予算の約85%を占めていたアンケート実施費用を大幅に削減でき、本来の活動に十分な予算を充てることが可能となった。</p> <p>授業評価アンケート記載の留意点を学生に周知する方法について、現行では、アンケートを配布するたびにクラスの代表が留意点を書いた紙を読み上げることになっているが、毎時間の実施は現実的ではなく、形骸化している可能性が高い。学生に対するアンケートの記載方法に関する教育的指導のあり方について、学内での検討を提案する。</p> <p>3. 授業参観を2019年度から義務化して実施したが、参加率は約52%であった。</p> <p>参観可能な科目や日時が限られており、日程調整が難しい教員もいたと推察されるため、全員が参観できる仕組みとともに、教員へのフィードバック等、教員の教育力向上につながる授業参観のあり方についても引き続き検討する。</p> <p>4. 「教育の質に係る客観的指標調査」に対応するため、委員会組織をFDSD委員会に拡大すること、大学院各研究科及び専攻でそれぞれ実施していたFD研修会の実施主体を委員会に集約すること、FDSD活動実施要項を策定することについて教育研究評議会に提案した。実施要項においては、本学が解決すべき教育的課題の抽出は教育研究評議会が行うことを明示したため、教育研究評議会と委員会の連携強化が図られることで課題解決に直結する研修を実施することができ、1で示した課題についても解決できると考える。</p> <p>5. 北海道FD・SD協議会が主催する北海道FDSDフォーラムの実行委員として中田委員長及び事務局松田が企画・運営に携わり、分科会の司会を鹿内委員が務めた。様々な大学の取り組みを知ることができ、今後の委員会活動への示唆が得られた。</p>

次年度への課題	<ol style="list-style-type: none">1. 委員会組織をFDSD委員会に拡大することが予定されているため、他大学のFDSD活動の状況を把握しながら、FDSD活動を計画的・組織的に行い、本学の状況や課題への全学的かつ具体的な取り組みを促進する。2. 全員が参加可能な授業参観の実施方法を含め、教員の教育力向上につながる授業参観のあり方を引き続き検討する。
---------	--

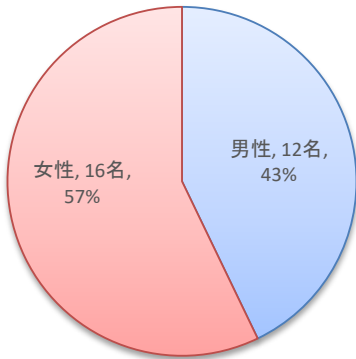
6. 社会貢献

担 当：地域連携等委員会

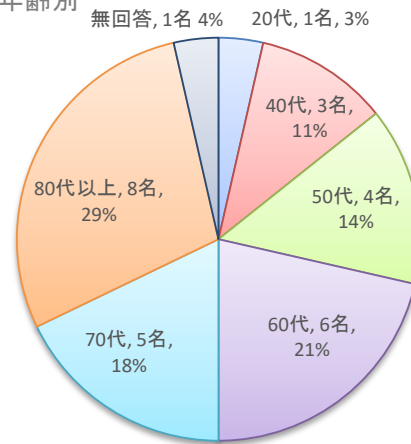
<p>本年度の活動目標</p>	<p>1. 2019年度天使大学・北海道科学大学公開講座の実施及び2020年度公開講座の企画 2. 東区役所との連携事業及び5者（東区役所、本学、札幌大谷大学・札幌大谷大学短期大学部、北海道スポーツ専門学校、札幌保健医療大学）連携事業の推進 3. 大学間（北海道科学大学等）の連携事業等の展開 4. 地域・他大学との連携事業の実態把握</p> <p>(大学基準協会の点検・評価項目の基準番号等記入欄) 基準9 社会連携・社会貢献 ①、②、③</p>
<p>活動内容の評価</p>	<p>1. 2019年度天使大学・北海道科学大学公開講座の実施及び2020年度公開講座の企画 天使大学・北海道科学大学連携公開講座を実施し、地域へ知識の還元を行っている。連携により、医療、薬学、看護学、栄養学の分野から生活に役立つ情報をわかりやすく解説している。アンケート結果（別紙1）から受講者の評価は高く、地域住民へ有意義な講座を実施できている。一方で受講申込者数は5年間で半数近くに減少しており、広報活動の強化が課題といえる。</p> <p>2. 東区役所との連携事業及び5者（東区役所、本学、札幌大谷大学・札幌大谷大学短期大学部、北海道スポーツ専門学校、札幌保健医療大学）連携事業の推進</p> <p>1) 5者連携事業（東区役所、本学、札幌大谷大学・札幌大谷大学短期大学部、北海道スポーツ専門学校、札幌保健医療大学）のイベントである「ひがしく健康・スポーツまつり」では、「天使大の健康塾」と題し、食事バランスチェック・血圧測定・血管年齢測定を行った。東区役所のアンケート集計結果において、「今回、一番満足した企画」の1つとしてあげられるほど評価が高かった。</p> <p>2) 「ひがしく健康づくりフェスティバル」において、「元気に暮らすコツ」という内容で学生ボランティアが健康講話を行う予定だったが、「新型コロナウイルス」感染拡大のリスクから中止となった。学生ボランティアの成果の学内発表の機会を次年度検討する。</p> <p>3) 連携事業において、学生ボランティアを募り、「ひがしく健康・スポーツまつり」では15名が協力した。学生にとって、地域住民と直接触れ合う貴重な機会となった。</p> <p>3. 大学間（北海道科学大学等）の連携事業等の展開 北海道科学大学が実施する「夕張地域医療体験」への学生参加者の募集・支援を行い、本学からは6名の学生が参加予定だったが、「新型コロナウイルス」感染拡大のリスクから中止となった。</p> <p>4. 地域・他大学との連携事業の実態把握 本学と地域・他大学との連携事業の実態を把握し、次年度以降も継続する。</p>
<p>次年度への課題</p>	<p>1. 5者連携事業をはじめ、東区役所との連携を一層推進していく。 2. 「ヘルスケア実践開発プロジェクト」の移管に伴い、活動内容や委員会業務についてあらためて検討していく。 3. 本学の社会貢献・地域連携活動について、広報を強化していく。一例として本学webサイトに社会貢献・地域連携活動の情報を集約・充実させることを検討する。 4. 北海道科学大学をはじめ、他大学との連携について検討する。また、他大学が実施している地域連携事業内容も把握する。 5. 国・行政の地域連携の施策の動向を把握し、本学の取組について検討していく。</p>

1. 次の事項について、差し障りのない範囲でお答え願います。

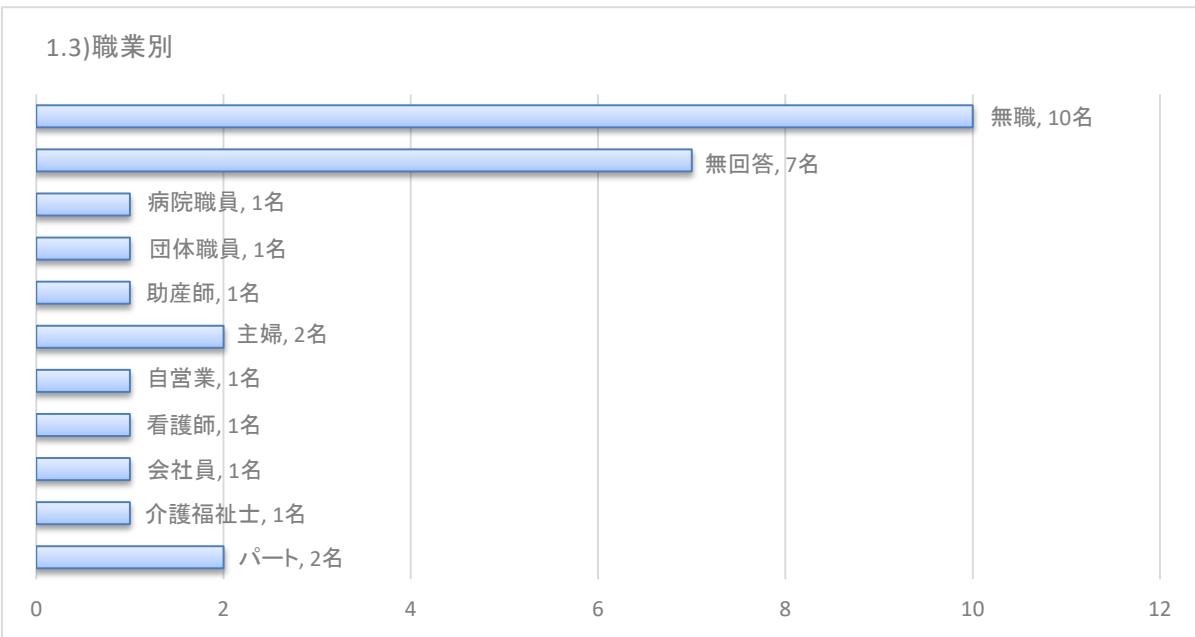
1.1)男女別



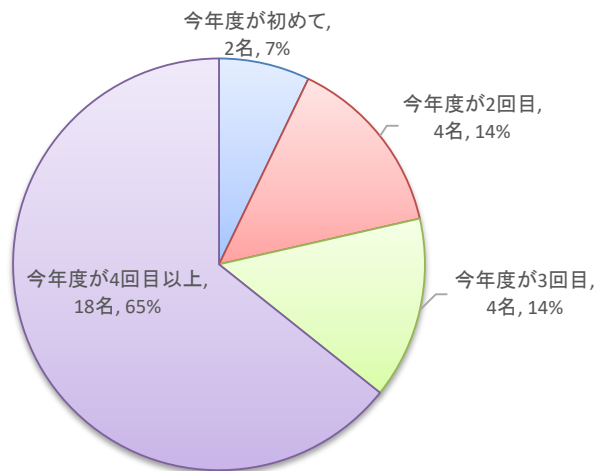
1.2)年齢別



1.3)職業別



2. これまでの参加回数



3. 何で知りましたか。(複数回答)

①	チラシ(北海道新聞折込み)	4人	11.4%
②	掲示ポスター	6人	17.1%
③	天使大学からの郵便物(ダイレクトメール)	16人	45.7%
④	新聞掲載	1人	2.9%
⑤	広報誌(道民カレッジ等)	5人	14.3%
⑥	ホームページ	0人	0.0%
⑦	その他	3人	8.6%
	無回答	0人	0.0%
合 計		35人	100.0%

※その他内訳…知人に誘われた、某教会の広報誌に掲載、記入なし

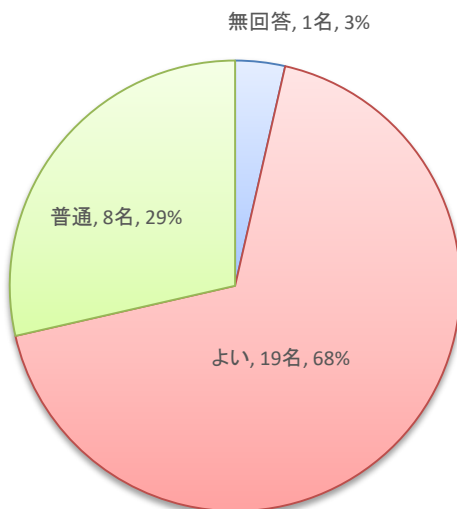
4. ご参加の動機をお聞かせください。(複数回答)

①	テーマに興味があったので	19人	39.6%
②	講師陣に魅力を感じて	2人	4.2%
③	2大学連携の公開講座だから	8人	16.7%
④	通いやすい会場だから	8人	16.7%
⑤	参加しやすい開講時間帯であるため	9人	18.8%
⑥	その他	2人	4.2%
	無回答	0人	0.0%
合 計		48人	100.0%

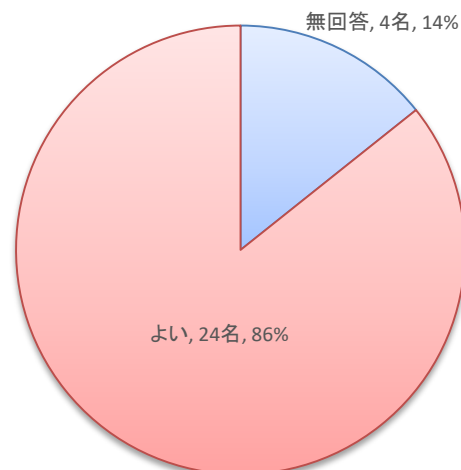
※その他内訳…これまでの受講経験からの“ナレ”かも、どんなことでも勉強してみようと思って。

5. 今年度の公開講座について感想をお聞かせください。

5.1)全体テーマについて



5.2)回数について



2019 年度天使大学・北海道科学大学連携公開講座 ◆受講申込者数について

受講申込者数の推移について（過去5年）

年度	2015	2016	2017	2018	2019
申込者数	92	87 (-5)	65 (-22)	50 (-15)	46 (-4)
新規申込者数	15 (16.3%)	24 (27.6%)	7 (10.8%)	14 (28.0%)	11 (23.9%)

※申込者数の（ ）は、前年比

※新規申込者数の（ ）は、全体に占める新規申込者数の割合

6. 社会貢献

担 当：ヘルスケア実践開発プロジェクト

<p>本年度の活動目標</p>	<p>1. 地域のライフステージ支援事業への協力 2. 子育て支援の企画・運営 3. 認知症サポーター養成事業の企画・運営 4. 地域住民への食育等の企画および実施</p> <hr/> <p>(大学基準協会の点検・評価項目の基準番号等記入欄) 基準9 社会連携・社会貢献 ②</p>
<p>活動内容の評価</p>	<p>1. ライフステージ支援事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 「ママへのごほうびフェスタ 2019 in アリオ札幌」(5月25日(土))に於いて、本学ボランティア学生延べ19名の協力の下、天使大学特設ブースイベントを開催。「音楽にあわせて楽しくおどらしましょう」では延べ60名、「折り紙でフルーツをつくろう」では参延べ120名の親子が参加し、好評を得た。 ● 東区北光町内会と協力し、栄養学科ボランティア学生が、東区北光地区の独居高齢者のお宅3軒にクリスマスケーキを届けた。 ● 札幌市介護予防事業の一環として、高齢者が要介護状態へ移行するのを防ぐために実施している、「すこやか倶楽部」(3月5日、6日、東区介護予防センターなえぼ担当)への協力を予定していたが、新型コロナウイルス感染症の市中感染のため、開催中止となった。 <p>2. 子育て支援の企画・運営</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 子育て支援事業として、産後1ヵ月～6ヵ月頃までのお母様と赤ちゃんを対象にした「子育てサロン」を3月20日に予定していたが、新型コロナウイルス感染症の市中感染のため、開催を中止した。 <p>3. 認知症サポーター養成事業の企画・運営</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 2020年1月21日に、札幌市東区第一地域包括支援センター 寺島 ゆかり 様、福重 みき江様を講師に迎え、様認知症サポーター養成講座を開催し、看護学科18名(3年生)、栄養学科41名(2年生19名、3年生22名)、教員2名が参加した。
<p>次年度への課題</p>	<p>ヘルスケア実践開発プロジェクトがこれまで実施してきた事業は、本学学部・研究科の目的及び教育方針に示された、「地域社会への貢献」、「地域社会との連携」、「地域社会に貢献できる専門職業人の育成」に沿ったものであり、今後の地域共生社会に貢献できる人材を育成していく上でも継続が望ましいと考える。</p> <p>しかし、プロジェクトとしての目的は既に達成しており、本年度をもって終了とし、今後の事業継続を地域連携等委員会に移管する予定。</p>

6. 社会貢献

担 当：教務委員会（社会貢献）

<p>本年度の活動目標</p>	<p>1. 地域の女性や母子の健康推進や子育て支援に関する事業に協力する。(継続) 2. 助産ケアおよび看護ケアの質の向上と安全への事業に協力する。(継続)</p> <hr/> <p>(日本助産評価機構) 基準：社旗貢献</p>
<p>活動内容の評価</p>	<p>1. 地域の女性や母子の健康推進や子育て支援に関する事業に協力する。</p> <p>1) 本学ヘルスケア開発実践プロジェクトで、「子育てサロン」の開催。 (教授1名、院生10名が参加)</p> <p>2) 講義依頼を受けた市内の高等学校で「性教育授業」3回、実施 (教授2名、助教1名、院生4名)</p> <p>3) 学内において、近隣の妊婦・パートナーを対象に「出産準備教育」「育児教室」を3回実施した。 (教授2名、講師1名、院生13名)</p> <p>2. 助産ケアおよび看護ケアの質の向上と安全への事業に協力する。</p> <p>1) 一般社団法人北海道助産師会の会長、副会長、委員として会の活動の企画・運営への参画 (教授2名、助教1名)</p> <p>2) 北海道思春期研究会の幹事として活動の企画運営に参画 (教授2名)</p> <p>3) 全国助産師教育協議会の組織強化委員として、助産師教育の発展・向上のための活動に参画 (教授1名)</p> <p>4) 日本災害看護学会の委員として運営に参画 (教授1名)</p>
<p>次年度への課題</p>	<p>1. 地域の女性や母子の健康推進や子育て支援に関する事業に協力する。(継続) 2. 助産ケアおよび看護ケアの質の向上と安全への事業に協力する。(継続)</p>

7. 国際交流

担 当： 国際交流委員会

<p>本年度の活動目標</p>	<p>1. ASEACCU（東アジア及び東南アジアカトリック大学連盟）に加盟し、韓国で開催される国際会議に参加して、交流を図る。</p> <p>2. 韓国カトリック大学校を訪問し、交流の推進を図る。</p> <p>(大学基準協会の点検・評価項目の基準番号等記入欄)</p> <p>基準9 社会連携・社会貢献① ② ③</p>
<p>活動内容の評価</p>	<p>1. 韓国ソウルの西江大学（Sogang University）で開催のASEACCU国際会議（東アジア及び東南アジアカトリック大学連盟）に、教員2名と、事務1名が参加した。</p> <p>総会で、新規加盟大学についての審議があり、本学の加盟が承認された。また、新年度の日本の代表校は、上智大学に依頼することとなった。</p> <p>スケジュール上、教職員は他大学の教職員と話をする機会はほぼなく、具体的な連携に繋げるのは難しいと感じた。</p> <p>今後のASEACCU国際会議の参加については、プログラムの内容によって総会開催日のみの参加、他大学の教職員との交流時間の確保など、日数を調整し、参加者を教職員のみとするか学生を同伴するかについても検討する。</p> <p>2. 韓国カトリック大学校を訪問し、副学長及び総務課長と意見交換した。</p> <p>大学間の交流締結の際に個々の研究者の相互交流の必要があることが韓国カトリック大学校より言及された。共同研究に興味がある教員は、共同研究の対象となる教員と事前にメール等で情報交換して次回以降のASEACCU国際会議に参加し、時間を工夫して直接、研究について相談した方がよいのではないかと考えられる。これまでの交流から、看護については看護倫理、栄養については減塩等が共通の課題として挙げられる。</p> <p>まずは、本学教員が求める交流内容や予算について、より詳細に検討、方針を固めたうえで交渉する必要がある。</p>
<p>次年度への課題</p>	<p>1. ASEACCU国際会議に本学学生を参加させるのであれば、事前に英語のトレーニングの準備と引率教員が必要である。</p> <p>2. 韓国カトリック大学校との連携について、日本と韓国で共同研究が可能と考えられる研究について各学科から提案し、本委員会で検討する。</p> <p>3. 本学学生サークルのPEC（フィリピン支援サークル）の活動について、現状を確認・情報収集をし、大学として支援できることがあれば実施する。</p>

7. 国際交流

担 当：教務委員会（国際交流）

<p>本年度の活動目標</p>	<p>1. 国際助産実習の円滑な実施（実習先の検討と確保）</p> <hr/> <p>（日本助産評価機構）</p>
<p>活動内容の評価</p>	<p>1. 国際助産実習の円滑な実施</p> <p>1) 実習先の検討と確保</p> <p>近藤客員教授がベトナム助産師会開設に寄与した関係で、ベトナム、フエ市に訪問し、ベトナム助産師会会長のHahn氏より実習受け入れの申し入れがあり、国際助産学実習を決定した。</p> <p>2) 国際助産学実習の実施</p> <p>国際助産学実習選択院生2名と引率助教1名が、8月27日、成田空港を出発し、ベトナム、ハノイ市に到着。2日目、体調調整で休日。3日目ハノイ国立母子病院見学。この日、台風の影響でフライト、キャンセルになる。4日目の午後にフエ市に到着。5日目フエ中央病院終日見学。6日目休日。7日目フエ医療大学病院で実習（病棟見学、帝王切開術見学）8日目午前中、VAMクリニックスタッフの家庭訪問に同行。午後、VAMクリニック見学。9日目NAM DONG地区ヘルスセンター助産師との交流。10日目午前中、フエ医療短期大学訪問するも、学生夏休みで交流中止。午後、VAMクリニックで、企業で働く女性対象の性教育見学。11日目フエを出発、ハノイ経由で12日目成田空港へ無事到着。台風直撃で1泊足止めになったり、予定と実際は違う内容もあったが、院生、教員共、健康に帰国できた。初めて社会主義国の実習であり、国民の価値観の相違や、経済状況の違い等も大きな学びとなった。</p> <p>ベトナムにおける実習は、コミュニケーション問題（準備に関するやり取りに時間がかかった）、価値観等、両者の理解を深めるためには時間を要する課題も出現した。予定スケジュールが、当日、変更またはキャンセルになることもあった。</p> <p>次年度は、通訳、アクセス、スケジュールの確実性等を勘案し、スタディツアーを利用し、評価をして、どちらの方法が、実習目的、目標を達成しやすいか検討する。</p>
<p>次年度への課題</p>	<p>1. 国際助産実習の円滑な実施</p> <p>1) スタディツアーの一活用。（カンボジア）</p>

8. 学生生活

担 当： 学生委員会

<p>本年度の活動目標</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. 「学生の事件・事故」、「海外研修」に関する危機管理個別マニュアルを改訂する。 2. 2018年度策定した「学生の懲戒処分の標準ガイドライン」を学生に周知させ、学生の不法行為・非行の抑止を図る。 3. 新棟建設の影響により初めて外部施設（札幌市民ホール）で行う「合唱コンクール」を、過誤なく実施・運営する。 4. 新棟建設の影響で使用施設が大きく制限される「天使祭」が、少しでも例年と比べ見劣りしないものとなるよう、学生をサポートする。 5. 本学が設定した「海外研修の目的」と「学生のニーズ」に合った海外研修を企画し、最少催行人数をクリアするとともに、参加学生からの高い満足度を得る。 6. キャンパス整備計画の推進にともなう「使用可能施設の減少」、「建設工事の騒音」等による学生への影響をヒアリング等で把握し、学生生活の質の低下を軽減するよう努める。 <p>(大学基準協会の点検・評価項目の基準番号等記入欄)</p> <p>基準7 学生支援 ①～③</p>
<p>活動内容の評価</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. 危機管理「基本マニュアル」に則り、「学生に関する事件・事故・不祥事等 危機管理個別マニュアル（以下「学生関連個別マニュアル」という。）」を策定した。また、「基本マニュアル」、「学生関連個別マニュアル」を元に、「海外研修旅行 危機対応マニュアル」を改訂した。今後は、急病・外傷・傷害、交通事故、不審者との遭遇等「事例ごとの対応」を、優先度の高いものから順次整備する。 2. 「学生の懲戒処分の標準ガイドライン」を、学生生活ガイドブックに掲載した。学生生活ガイドブックは、1年次生に対しては冊子で配布し、2～4年次生に対してはwebサイト上で閲覧できるようにした。また、1年次生対象のアッセンブリー・アワー「学生生活で大切なこと（4月16日実施）」において、「学生の懲戒処分の標準ガイドライン」について口頭で説明した。2019年度、懲戒処分対象者はいなかった。 3. 合唱コンクールは初めて「外部施設（札幌市民ホール）」で実施し、運営は概ねスムーズに進んだ。座席数の多さを活かし、「保護者」の観覧を認めた結果、40名程度（一部教職員も含む）の方が当日観覧した。次年度は新棟5階の体育館で実施する予定であり、スペース的に保護者席を設けることが難しいので、保護者等のみが視聴できる「LIVE配信」を復活する予定である。 4. 今年度の天使祭は、新棟建設の影響で今まで模擬店場所として使用していた「マリアホール」、前・後夜祭・健康チェック等で使用していた「体育館」が解体されるなど、大きく制限された環境下での実施となった。しかし、今まで前・後夜祭で行っていた「芸能人ステージ」、「抽選会」を合唱コンクール終了後に「天使祭+（プラス）」という新イベントを立ち上げて実施し、「たなばた企画（学生にお菓子をばらまくイベント）」を体育祭の際に行うなど、葦の会役員の創意工夫により、例年と比べて遜色のない天使祭となった。また、「正面玄関駐車場への模擬店ブースの設置」、「北大祭と連携した割引クーポン企画」、「インスタライブによる表彰結果発表」、「トラスゲートの設置」など、葦の会役員のアイデアと実行力は目を見張るものがあった。今年度の天使祭は、北大祭と日程が重なった影響を受け、例年と比べ来場者が減少した印象がある（正確な来場者数を把握できず）。 5. 海外研修は最少催行人数に達するよう、学生からのアンケート結果を十分ふまえて渡航先・プログラムを決定したのはもちろんのこと、今まで添乗員の旅行代金を参加学生が按分負担していたものを学生委員会予算から支出するなど、旅行代金を抑えるためにあらゆる手を尽くした。その結果、参加人数が「21名」と最少催行人数（15名）を超え、2020年3月7日（土）から9日間、オーストラリア ゴールドコースト等へ渡航する予定である。しかし、新型コロナウイルス感染症の感染拡大が北海道をはじめ日本各地で続き、参加学生、帯同教職員、オーストラリアのホストファミリーをはじめとする現地の方の感染リスクを回避して実施することは困難であると判断し、教育研究評議会で催行中止が決定された。

	<p>6. 2019年7月、看護・栄養学科1～3次生に対し「学生生活・キャンパス整備についてのアンケート」を行うことで新棟建設工事による学生への影響をヒアリングし、その要望を元に「看護学科女子ロッカールームのカーテンの新調」、「男子ロッカー室への扇風機の設置」等、対応可能なものは即時改善した。</p> <p>7. その他、「本年度の活動目標」には掲げていなかったが、以下のことに取り組んだ。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○「障害を理由とする差別の解消の推進に関する法律」が施行され、障害を理由とする不当な差別的取扱いの禁止や合理的配慮の提供が私立大学において努力義務とされ、一定の取組が求められることとなったため、障害学生支援基本方針、障害学生支援規程等を整備した。 ○「個人情報等使用に関する同意書」の新設に着手した。
次年度への課題	<p>1. 「学生関連個別マニュアル」の「事例ごとの対応」を、優先度の高いものから順次整備する。</p> <p>2. 「2020年度 天使祭」は新棟完成や中庭整備の影響で、初めて天使祭の会場として使用する場所が多くあることから、新しい場所の有効活用のアドバイス、音響等設備使用のレクチャー等、学生が過誤なく天使祭を実施・運営できるようにサポートする。また、引き続き4号館1・2階改修工事が開始されることにもない、「使用施設の制限」、「建設工事の騒音」等により、学生生活の質が低減しないように努める。</p> <p>3. 「2020年度 学生生活についての調査（生活実態調査・満足度調査）」の実施に向け、質問項目の精査、調査方法・委託業者の検討を行う（調査は2021年1～3月にかけて行い、その集計、評価・分析は2021年度に行う予定）。</p>

8. 学生生活

担 当：キャンパス・ハラスメント対策委員会

<p>本年度の活動目標</p>	<p>キャンパスにおける人権意識を成熟させ、大学生活環境を快適なものとするため、ハラスメント問題について啓発・点検・支援・問題解決を行う。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 新入学生を対象としたハラスメントに対する理解を深めるための講演会を開催する。 2. 言葉やコミュニケーションによって引き起こされる恐れのあるハラスメントに対する知識を深めるため、講演会を開催する。 3. 新入生ガイダンス時にガイドラインを配付し、説明を行う。 4. 防止のためのポスターを掲示し、全学的な啓発活動を行う。 <p>(大学基準協会の点検・評価項目の基準番号等記入欄)</p> <p>基準7 ②および③</p>																																								
<p>活動内容の評価</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. 新入学生を対象に、キャンパス・ハラスメントに関する講演会を開催した。 参加率 <table border="1" data-bbox="518 882 1295 1151"> <thead> <tr> <th></th> <th>在学数</th> <th>参加者</th> <th>2019年度の参加率</th> <th>2018年度の参加率</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>看護学科</td> <td>97</td> <td>88</td> <td>91%</td> <td>69%</td> </tr> <tr> <td>栄養学科</td> <td>89</td> <td>61</td> <td>69%</td> <td>54%</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>186</td> <td>149</td> <td>80%</td> <td>61%</td> </tr> </tbody> </table> <p>学生掲示板への開催通知掲示やT-NAVIでの掲示及びメール配信を行い、参加を募った。また、指導教員からの声掛けによって、参加率は全体で80%と、前年度の61%を上回ることができた。次年度も、引き続き参加率を上げるための周知方法について、検討・改善を行う。</p> <ol style="list-style-type: none"> 2. 言葉やコミュニケーションによって引き起こされる恐れのあるハラスメントについて、知識を深めるための講演会を、両学科3年生を対象に開催した。 参加率 <table border="1" data-bbox="518 1489 1295 1758"> <thead> <tr> <th></th> <th>在学数</th> <th>参加者</th> <th>2019年度の参加率</th> <th>2018年度の参加率</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>看護学科</td> <td>93</td> <td>56</td> <td>60%</td> <td>22%</td> </tr> <tr> <td>栄養学科</td> <td>89</td> <td>62</td> <td>70%</td> <td>13%</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>182</td> <td>118</td> <td>65%</td> <td>17%</td> </tr> </tbody> </table> <p>2018年度の参加率が非常に悪かったことから、2019年度は改善に向けて、タイトルを変更し、内容も一部変更した。その結果、参加率が65%と大きく改善された。</p> <p>助産研究科については、実習のため参加できなかった。</p> <ol style="list-style-type: none"> 3. 新入生ガイダンス時にガイドライン配付と説明を行う計画について、2018年度に改正された規程の内容をガイドラインへの反映が間に合わなかったため、実施しなかった。次年度、新規規程の内容を反映したガイドラインを作成し、T-NAVIで配信す 		在学数	参加者	2019年度の参加率	2018年度の参加率	看護学科	97	88	91%	69%	栄養学科	89	61	69%	54%	合計	186	149	80%	61%		在学数	参加者	2019年度の参加率	2018年度の参加率	看護学科	93	56	60%	22%	栄養学科	89	62	70%	13%	合計	182	118	65%	17%
	在学数	参加者	2019年度の参加率	2018年度の参加率																																					
看護学科	97	88	91%	69%																																					
栄養学科	89	61	69%	54%																																					
合計	186	149	80%	61%																																					
	在学数	参加者	2019年度の参加率	2018年度の参加率																																					
看護学科	93	56	60%	22%																																					
栄養学科	89	62	70%	13%																																					
合計	182	118	65%	17%																																					

	<p>る。</p> <p>4. 啓発活動について、防止のためのポスター掲示などは実施しなかった。ポスター掲示が効果的か検討し、効果的な啓発活動を行う。</p> <p>5. 学生間ハラスメントの相談が1件あり、天使大学キャンパス・ハラスメントの防止等に関する規程の定めるとおり対応した。</p>
次年度への課題	<p>1. 新入生および在学生に対して、学生が安心した学生生活を送れるように、ハラスメントに対する知識を深めるため、講習会等を実施する。</p> <p>2. 新規程の内容が反映されたガイドラインを作成し、学生に周知する。</p> <p>3. より効果的な啓発活動について検討し、ハラスメントに対する啓発活動を行う。</p>

8. 学生生活

担 当：宗務委員会

<p>本年度の活動目標</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. キリスト教的精神に基づく人間の育成を図る。 2. カトリックの精神に基づく宗教的行事を企画運営する。 3. カトリックの精神に基づく宗教的環境を整備する。 4. カトリックの精神に基づく研修会へ参加する。 5. カトリックセンターとの連携を図る。 6. アッセンブリー・アワーの日程を調整する。 7. 2019年度カトリック医療関連学生セミナーに学生の参加を促す。 <p>(大学基準協会の点検・評価項目の基準番号等記入欄)</p> <p>基準1 ①～③</p>
<p>活動内容の評価</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. キリスト教的精神に基づく人間の育成を図る。 天使大学の理念である「愛をとおして真理へ」を実践するために様々な宗教的行事の企画、運営を行った。 2. カトリックの精神に基づく宗教的行事を企画運営する。 <ol style="list-style-type: none"> 1) 学生および教職員を対象とする宗教的行事を実施した。 <ol style="list-style-type: none"> ①イースターの集いの企画運営をした。参加者：337名（出席率 41.6%） ②クリスマスの集いの企画運営をした。参加者：215名（出席率 26.7%） ③卒業・修了感謝のミサを企画したが、新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため中止した。 ④毎週のミサ（聖母マリアの戴冠式・新年ミサも含む）の企画運営を行った。 ⑤その他の宗教的行事（灰の儀式・クリスマス点灯式等）の企画運営を行った。 ※イースターの集い、クリスマスの集いは、体育館が建設中で使用することができなかったためカトリック北11条教会で学科別に2回に分けて実施した。 2) 学生を対象とする宗教的行事を実施した。 <ol style="list-style-type: none"> ①チャペルアワーでケン神父が聖書について講話を行った。 ②学生修養会でケン神父が講話、祈り、ミサの部分を担当した。 ③アッセンブリー・アワーでケン神父が宗務関連の講話を行った。 2年次生：フランシスコについて 3年次生：マザーテレサについて 4年次生：天使について 3) 教職員を対象とする宗教的行事を実施した。 <ol style="list-style-type: none"> ①教職員修養会のミサの役割者を決め依頼し、当日の運営を行った。 参加者：87名（出席率 71.9%） アンケートの結果では、大変よい 37.1%、よい 25.7%、普通 28.6%、悪い 8.6%であった。 ②退職される教職員への感謝のミサを企画したが、新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため中止した。 ※上記の宗教的行事を実施するにあたり、掲示板やT-NAVIなどを利用し、行事の目的や内容などの周知をはかり、学生や教職員の参加を促した。 3. カトリック精神に基づく宗教的環境を整備する。 毎週のミサを実施するにあたり、チャペルに毎週火曜日、生花を飾った（四旬節中は除く）。 クリスマスに向けてチャペル、学生・正面玄関にクリスマスツリー、学生玄関エントランスに馬小屋、屋外のモミの木にイルミネーションを設置した。

	<p>クリスマスキャロルをお昼休みに流し、クリスマスに向けての雰囲気づくりを行った。</p> <p>4. カトリックの精神に基づく研究会へ参加する。 今年度は、他の業務と時期が重なり研究会へ参加することは出来なかった。</p> <p>5. カトリックセンターとの連携を図る。 カトリックセンターと連携し教職員修養会のミサの役割者を決め依頼し、当日の運営を行った。</p> <p>6. アssenブリー・アワーの日程を調整する。 各学科、学生支援教員、各委員会等の希望を伺い日程を調整した。 今年度は、アssenブリー・アワーの在り方や実施方法について検討した。 2020年度は、曜日を月曜日に変更し、13:10~14:40(90分)で実施することとなった。</p> <p>7. 2019年度カトリック医療関連学生セミナーに学生の参加を促す。 ポスターやT-NAVIなどを利用し周知したが、日程(8月2日(金)~3日(土))が定期試験のすぐ後で準備時間が取れなかったことや開催場所が長崎県で遠かったことなどから参加希望者はいなかった。</p>
次年度への課題	<p>1. カトリックの精神を涵養する宗教的行事について、掲示板やT-NAVIなどを利用し、行事の目的や内容などの周知を行い、学生の参加率を上げる。</p> <p>2. アssenブリー・アワーの曜日や時間を変更したことによる評価を実施し、改善すべき点があった場合は、再検討する。</p> <p>3. カトリックの精神を涵養する研究会等へ積極的に参加する。</p> <p>4. 2020年度カトリック医療関連学生セミナーについてポスターやT-NAVIを利用し学生の参加を促す。</p> <p>5. 新型コロナウイルス感染症の発症状況をふまえ、宗教的行事の実施方法等について検討する。</p>

9. 就職支援

担 当：就職委員会

<p>本年度の活動目標</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. 就職ガイダンス・セミナーの企画・実施 2. 就職活動に関する支援活動 3. 求人開拓の実施 4. 教職課程(栄養教諭)履修者への就職支援 5. 就職相談室の環境整備 6. 就職状況調査の実施、分析・評価 7. 就職に関する情報交換及び最新情報収集 8. 既卒者、卒業・修了生に対する就職支援 <p>(大学基準協会の点検・評価項目の基準番号等記入欄)</p> <p>基準 7 ①～③</p>
<p>活動内容の評価</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. 就職ガイダンス・セミナーの企画・実施 <ol style="list-style-type: none"> 1) 就職ガイダンス・セミナーの企画・実施 <p>各学科学年の就職活動時期に合わせガイダンス・セミナーを企画し実施した。</p> <p>今年度も両学科2年次生に「就活スタート講座Ⅰ」を実施した。就職相談室の利用方法、就活スケジュール等に加え、ビジネスマナー（手紙・メールの書き方、電話のかけ方）についてガイダンスを実施した。174名（看護87名、栄養87名、参加率88.3%）が参加し、アンケート結果も好評であった。（前年度130名（看護80名、栄養50名、参加率73.4%））</p> <p>2月下旬～3月上旬に実施予定だった希望者制の模擬面接セミナー、履歴書・エントリーシート（書き方）、SPI系対策講座、時事問題対策講座は、新型コロナウイルス感染拡大防止対策のため中止にした。</p> 2) 学内企業説明会の企画・開催 <p>栄養学科3・4年次生対象に学内企業説明会を12回（20社）開催し、延べ311名の学生が参加した。新型コロナウイルス感染拡大防止対策のため、2月下旬、3月下旬に実施予定だった5回（14社）分は中止にした。（前年度15回（35社）延べ375名）</p> 2. 就職活動に関する支援活動 <ol style="list-style-type: none"> 1) 内定率について（5月25日時点） <p>看護学科100.0%（前年度100%）、栄養学科100.0%（前年度100%）</p> <p>公務員栄養士職は、厚生労働省医薬（生活衛生局食品衛生監視員）に1名、北海道庁（食品衛生監視員）に1名、自治体（市町村）に1名合格した。試験前日まで複数回にわたり面接練習を行い合格につなげた。札幌市は、一次合格者が4名あったが、募集枠が3名だったこともあり合格には至らなかった。</p> 2) 就職相談員による個人面談・面接演習・履歴書添削等、就職活動全般の支援 <p>個人面談：126回 面接演習：291回 履歴書添削：218回</p> <p>就職活動最終段階まで様々な就職支援を行い内定につなげた。</p> 3) 札幌新卒応援ハローワークによる模擬面接演習 <p>学内で学卒ジョブサポーターによる模擬面接演習（1日2名まで、1人30分）を38回実施し、延べ58名の学生が参加した。新型コロナウイルス感染拡大防止対策のため、3月に実施予定だった5回（10名）分は中止にした。</p> 3. 求人開拓の実施 <p>学生のニーズに応じられよう、栄養学科実習施設や企業、病院等に求人依頼のパン</p>

	<p>フレットを配布し、新規開拓に努めた。合同企業・病院説明会に足を運び、採用担当者、看護部長等に採用の御礼、現況の確認を兼ねて、今後の求人依頼も行った。</p> <p>4. 教職課程(栄養教諭)履修者への就職支援</p> <p>教職課程委員会と連携し支援を行った。教職課程担当教員等が出題傾向等の分析を行い、試験対策等のガイダンスを実施した。北海道教育委員会選考検査「栄養教諭」の採用登録者は、8名(一次合格者9名受験中)であった(全採用登録者19名)。</p> <p>卒業生採用登録者2名を含めると10名となり、全採用登録者数の半数以上を本学の学生が占めた。</p> <p>5. 就職相談室の環境整備</p> <p>第2期工事(4号館改修)により、就職相談室が4号館1階に移動するため、就職関連書籍、企業パンフレット等の資料の整理を行った。</p> <p>6. 就職状況調査(離職調査)の実施、分析・評価</p> <p>1) 調査の実施、分析・評価</p> <p>2018年度卒業・修了生189名(看護87名、栄養81名、助産15名、看護研6名)を対象に就職状況調査(2019年12月～2020年1月末)を実施した。全体の回答率41.7%(前年度41.1%)であった。今年度は、回答率を上げるため、本学ホームページの公式Facebookを利用し調査の周知を行った。前年度と比較すると0.6%ではあるが回答率が上がった。今後、調査結果を分析し就職活動支援に役立てる。</p> <p>7. 就職・採用状況等に関する情報交換及び最新情報収集</p> <p>1) 病院・施設・企業等との情報交換</p> <p>採用担当者と面談し、採用状況、卒業生の状況等について把握し、情報交換を行った。病院・施設・企業等求人訪問面談数:78回</p> <p>今年度からGAKUENシステムの訪問記録機能を利用し、面談内容、卒業生の活躍状況、奨学金等の情報を入力し、情報共有ができるように体制を整えた。</p> <p>2) 他大学との情報交換</p> <p>研修会、意見交換会等に積極的に参加し、就職担当者と内定状況等について情報交換を行った。</p> <p>3) 就職情報会社との情報交換</p> <p>就職情報会社等から採用状況等の情報収集を行い、情報交換を行った。</p> <p>4) 学生への情報提供</p> <p>病院・施設・企業、他大学、就職情報会社等から得た就職活動に関する最新情報を就職ガイダンス等で学生に提供した。</p> <p>8. 既卒者、卒業・修了生に対する就職支援</p> <p>既卒者、卒業・修了生に対し、求人情報の提供等の就職支援を行った。</p> <p>求職登録者数:37名 就職支援数:15名 内定者数:6名</p>
次年度への課題	<p>1. 新規就職セミナーの企画と就職セミナーの参加率の向上</p> <p>学生からの問い合わせの多いビジネスマナー(手紙・メールの書き方、面接時のコートのたたみ方等)講座やグループディスカッション講座等を6月上旬から実施する。開催日の1週間前に再度、案内をT-NAVIで周知し、参加率を向上させる。</p> <p>2. 就職相談室を利用しない学生への積極的就職支援</p> <p>4年次の11月末までに一度も就職相談室を利用していない学生を対象に面談を実施し、就職活動状況の把握を行い、希望する就職先への内定につなげる。</p> <p>3. 就職状況調査(離職調査)の回答率の向上</p> <p>在学中に卒業後「就職状況調査」を実施することについて説明を行い、回答の協力を求める。また、回答率を上げるための新たな周知方法について検討する。</p>

	<p>次年度の調査に向けて、調査内容について検討する。</p> <p>4. 就職相談室の環境整備</p> <p>新しい就職相談室（4号館1階6月末移動）には、窓がないため、学生に圧迫感を与えないように机や書棚等の配色や配置を工夫し、学生が相談しやすい環境を整える。</p> <p>5. 新型コロナウイルス感染症拡大防止対策のため、就職支援セミナー・学内企業説明会を中止したことによる新4年次生の就職支援方法等について検討する。また、全学生に対する就職支援セミナーの実施方法、就職支援方法等について検討する。</p>
--	---

10. 図書館

担 当： 図書館情報委員会

<p>本年度の活動目標</p>	<p>1. 図書館の利用動向の把握及びそれに基づく利用環境改善案の立案・実施</p> <p>2. 文献検索ガイダンスを受けていない学生への対応策の検討</p> <p>3. 過年度登録研究費図書等の除籍・廃棄の実施及び資産管理としての蔵書管理の徹底</p> <p>4. 新図書館への移設計画の立案及び円滑な実施</p> <hr/> <p>(大学基準協会の点検・評価項目の基準番号等記入欄)</p> <p>基準 8 ③</p>
<p>活動内容の評価</p>	<p>1. 利用者の利用状況を把握し、実習期間に対応した開館時間の延長や開館日の増設を行った。また、新棟建築に伴う作業のため、開館日数の削減や開館時間の短縮が、やむを得ず行われたが、これに先立ち、貸出期間を長期に延長し、利用者の不便さ解消に努めた。</p> <p>2. 図書館の企画及び学科の要望に応じ、年度内に複数回、文献検索ガイダンスを実施した。看護学科3年次については、4年次の事例研究前に行い、欠席者はわずかに2名であった。</p> <p>また、個人情報保護などの観点から、情報リテラシーに関するガイダンスを実施し、実習前にどのようなことに注意し、配慮すべきか、学生一人一人が判断できる機会をもった。</p> <p>3. 図書館の新棟移転に伴い、過年度登録研究費図書等の除籍・廃棄等を実施し、資産としての蔵書管理の徹底を図った。従来冊子で購入していた年鑑・白書類については、概ねデータで検索利用できるように改め、利用の便を図ることができた。</p> <p>4. キャンパス整備委員会やフロア担当職員によって、業者と綿密な打合せが行われ、状況に応じて調整を行い、新棟移転の準備が整いつつある。</p> <p>今後は、移転後のサービスや利用方法を分かりやすくお知らせできるように進めていくことを次の目標としている。</p>
<p>次年度への課題</p>	<p>1. 図書館が新しくなり、またラーニングコモンズが新設されることから、学生のアクティブ・ラーニングが実践される環境づくりを進めるとともに、本学の建学の精神を生かした活用法を編み出してゆきたい。</p> <p>2. 施設面での環境整備が引き続き行われるため、よりよいスペースとなるよう、全学をあげて、協力体制をとることとしたい。</p> <p>3. 学科・科・研究科と連携し、図書館のさらなる活用法を考え、実践していく。</p>

11. 情報処理システム

担 当： 図書情報委員会

<p>本年度の活動目標</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. サーバシステム、学内 LAN、無線 LAN 環境、図書館貸出用パソコンの整備・維持管理 2. 情報処理室、無線 LAN 環境の利用促進 3. 学内 LAN 掲示板のブラッシュアップ、掲載情報の充実 4. 遠隔地実習、大学院講義、講習会等の実施を支援する LiveOn システムの活用促進 5. 情報セキュリティに関する情報収集と危機管理の強化 6. 新棟建設に伴うサーバー室移設に係る実施計画の立案 <p>(大学基準協会の点検・評価項目の基準番号等記入欄)</p>
<p>活動内容の評価</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. Windows7 のサポート終了(2020 年 1 月 14 日)について、未対応となっていた 8205 院生学習室、教職員の PC の一部について、其々2019 年 9 月と 2019 年 12 月～2020 年 1 月で入替えを実施し、適切な利用環境を維持管理している。 2. 情報処理室、無線 LAN 環境の利用促進 <ol style="list-style-type: none"> (1) 情報処理室活用ガイドンスについて <p>例年、新入生向けに実施している情報処理室利用ガイドンスに加えて、アッセンブリアワーにて情報処理室活用ガイドンスを実施した。主に、問い合わせの多いレポートの書式設定や印刷設定方法をレクチャーした。次年度も引き続き行い、効果を検証していく。</p> (2) USB 忘れ物の減少 <p>昨年度 8 月にフロント USB タイプの PC に入れ替えたことにより、1 ヶ月あたりの忘れ物が 7.7 件から 1.8 件に減少した。次期 PC 入替においても、視認性は考慮すべき点と捉えている。</p> 3. 主要な会議や出張、休暇予定等の個人スケジュールの情報は各課室の担当者が登録を行うようになり、掲載情報が充実した。 4. 今年度の遠隔地実習、大学院講義、講習会等における本システムの講義利用はなかった。 5. 情報セキュリティに関する情報収集と危機管理の強化 <ol style="list-style-type: none"> (1) 危機管理マニュアル(システム障害、ウイルス感染等)について <p>先に提示された災害危機管理マニュアルに合わせた記載形態に則り、作成を行った。しかし責任者の対応基準・連携先等をより明確にとの指示があり、現在検討を継続している。</p> (2) 教員用共有フォルダの活用 <p>かねてより教員から要望のあった、教員用共有フォルダの運用を試験的に開始し、概ね利用されている。各学科、研究科及び関係教員ごとにアクセス権が分かれたフォルダ構成となっており、セキュリティ管理の促進に繋がっていると捉えている。</p> (3) 印刷用紙回収ボックスの設置 <p>情報処理室では以前より、印刷物の放置が多発しており、中には個人情報記載されているものも存在していた。今年度後期より、印刷物回収ボックスを設置したことにより、印刷物の放置が大幅に減少した。</p> 6. 新棟建設に伴うサーバー室移設に係る実施計画の立案 <p>年度内の移設は各業務に影響が大きいことから、最も影響の無い、次年度 8 月の一斉休暇にサーバー室移設を実施するよう調整を行うこととした。</p>

	<p>8月のサーバー室移設を念頭にサーバー室へのラック設置や3月末迄に新棟のネットワーク環境を構築するとともに、移設時の実施計画を纏め、関係部署と調整を進める。年度末までの部位は予定通り進捗している。</p>
次年度への課題	<ol style="list-style-type: none">1. サーバシステム、学内 LAN、無線 LAN 環境、図書館貸出用パソコンの整備・維持管理2. 新棟建設に伴うサーバー室移設3. 学内ネットワークの強化4. 学内 LAN 掲示板のブラッシュアップ、掲載情報の充実5. 教職員、学生への情報セキュリティ対策の啓蒙

12. 施設・設備

担 当：財務室

<p>本年度の活動目標</p>	<p>1. 遅滞なく新校舎の竣工を迎えるために施工業者との綿密な打ち合わせ 2. 新校舎完成に伴う什器備品の配置および円滑な引越し作業</p> <hr/> <p>(大学基準協会の点検・評価項目の基準番号等記入欄) 基準8 教育研究等環境②、⑥</p>
<p>活動内容の評価</p>	<p>1. 当初の予定通り、2020年2月末に新棟（2号館）の竣工を迎えることとなった。施工業者（清水建設）とは月2回の現場定例会議と全体定例会議の他に、随時、財務室と清水建設で打ち合わせを行っており、ここまで学生や教職員に事故もなく、安全に留意して工事を行ってきた。 今後は、キャンパス整備Ⅱ期工事として、4月から既存棟（4号館）改修工事および外構工事（中庭整備・外周フェンス・駐輪場設置）が始まるため、2020年2月より引き続き清水建設と定例会議を行う。</p> <p>2. 2020年2月末の新棟竣工に合わせて、既存棟（4号館）から図書館機能と栄養学科の実験室機能が新棟に移動する。また、新棟建設に先駆けて解体した体育館や旧2号館にあった什器備品も、新棟に移すため、3月に引越し作業を行うが、引越し作業を3業者が行うため、円滑に引越し作業が進むよう打ち合わせしている。 また、新棟の本稼働は2020年4月だが、3月に行われるの卒業式のみ、新棟5階の体育館で実施するため、引越し作業を中断しなければならないが、4月からの授業に向けて遅滞なく、安全に引越しを行っていく。</p>
<p>次年度への課題</p>	<p>1. 新棟（2号館）の竣工、既存棟（4号館）の改修後も、中期施設整備計画に基づき、既存棟における建物や設備の老朽化に伴う改修工事や機器の更新工事を引き続き行っていく。</p> <p>2. 新棟（2号館）の竣工に伴って、水光熱費の上昇が考えられるが、費用の推移を見ながら、契約についても見直していく。</p>

13. 管理運営

担 当：事務局長

<p>本年度の活動目標</p>	<p>1. 学長のリーダーシップを支えるために設置された副学長は、特命事項である「大学院看護栄養学研究科看護学専攻博士後期課程の設置」の責任者として文部科学省への対応に取り組む。</p> <p>2. 大学の理念・目的、大学の将来を見据えた中期計画を策定する。</p> <hr/> <p>(大学基準協会の点検・評価項目の基準番号等記入欄)</p> <p>基準 10 大学運営・財務－(1) 大学運営－①、②</p>
<p>活動内容の評価</p>	<p>1. 2019年3月に文部科学省に申請した「大学院看護栄養学研究科看護学専攻博士後期課程の設置」については、同省から多くの課題が出され、学内で検討した結果7月に取り下げることとなった。</p> <p>十分な準備ができなかったことを踏まえ、改めて申請に向けた課題の解決等に全校で取り組む必要がある。</p> <p>2. 2018年度の大学基準協会の認証評価結果報告書の「基準1 理念・目的」の③において「今後は、「戦略体系図(TP7020)」に基づき策定された「将来構想の策定に当たっての基本的な考え方」「5本の決議事項」及びそれを実行するための「年度別計画案」の内容を総括し、中・長期計画として明文化して公表することが望まれる。」との意見を付されたところである。このため、2019年度当初から上記意見を踏まえて中期計画の検討に着手したところ、同年6月の私立学校法の改正が学校法人に義務付けられ、2020年4月から施行されることとなった。</p> <p>このため、私学法改正の趣旨に沿って認証評価結果を踏まえた中期計画の策定を進め、来年3月の理事会で決定し、2020年4月からスタートさせる予定である。</p>
<p>次年度への課題</p>	<p>1. 副学長は、改めて「大学院看護栄養学研究科看護学専攻博士後期課程の設置」に向けて取り組むとともに、教学事項について幅広く特命事項を検討する。</p> <p>2. 2019年度に策定する中期計画に基づき2020年度に大学運営の方針を策定する。</p>

14. 財務

担 当： 財務室

<p>本年度の活動目標</p>	<p>1. 中期財務計画の立案 2. 学園創立 70 周年・大学開学 20 周年記念募金活動の推進</p> <hr/> <p>(大学基準協会の点検・評価項目の基準番号等記入欄) 基準 10 大学運営・財務 (2) 財務①、②</p>
<p>活動内容の評価</p>	<p>1. 2018 年度に策定した天使学園中期財務計画は、学部の入学定員の変更およびキャンパス整備費用の変更や中期施設整備計画の変更により、中期財務計画を見直した。2019 年 11 月の理事会において中期財務計画は承認され、2019 年 12 月の教職員説明会において財務状況を説明した。</p> <p>2. 学園創立 70 周年・大学開学 20 周年記念募金は 2019 年 12 月現在、累計額は 57 百万円弱となり、2019 年度は 31 百万円弱と、予算額には届かないものの、2018 年度決算と比較すると 1.5 倍となった。</p>
<p>次年度への課題</p>	<p>1. 収支の大半を占める学納金収入と人件費支出を注視しつつ、キャンパス整備や改組転換等を踏まえたローリングをしていく。</p> <p>2. 学園創立 70 周年・大学開学 20 周年記念募金の最終年度として、引き続き募金事業の活性化をしていく。</p>

15. 事務組織

担 当：事務局長

<p>本年度の活動目標</p>	<p>1. 大学基準協会からの改善課題に対応するため、専任教職員に必要な知識及び技能を習得させ、その能力及び資質を向上させるためのSDに取り組む。</p> <p>(大学基準協会の点検・評価項目の基準番号等記入欄)</p> <p>基準 10 大学運営・財務－(1) 大学運営－④、⑤</p>
<p>活動内容の評価</p>	<p>1. 職員の資質向上を図るため、次のとおり私大協北海道支部が主催する事務職員研修会等に職員を参加させている。</p> <p>事務局長月例研究会のほか初任者研修会、中堅実務者研修会、中堅指導者研修会、課長職相当者研修会の職階別研修に5人が参加した。</p> <p>また、全国や道支部等の総務・入試・経理・教務・就職・学生生活、図書情報の担当部門別研究会等へのべ20人が出席し、課題研究や情報共有に努めている。</p> <p>2 学内では教職員を対象とした全学的な取組みとして「教職員修養会」を今年度はSD研修会の一環として実施した。また、大学の諸課題について教職員が理解するための勉強会を研修会に位置づけて実施した。</p> <p>さらに、北海道FD・SD協議会に加入し、北大で開催された「北海道FDSDフォーラム2019」に本学の教職員が参加した。</p> <p>学内組織としては、既存のFD委員会を改組してFDSDを一体として取り組むこととした。</p>
<p>次年度への課題</p>	<p>1. 私大協道支部主催の研修は職階等の参加資格があるため、多くの職員を研修に出席させられないことや、北海道FDSDフォーラム2019の本学からの出席者が少なかったことを踏まえ、次年度は北海道FDSDフォーラム等の研修会に多くの教職員が出席できるよう取り組む</p>

16. 自己点検・評価活動

担 当：自己点検評価委員会

<p>本年度の活動目標</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. 2018年度の大学基準協会による認証評価を受けて明らかになった課題に対する改善及び改善報告書の作成準備（2022年7月期限） 2. 2018年度の助産評価機構による認証評価を受けて明らかになった課題に対する改善及び改善報告書の作成準備（2020年6月期限） 3. 天使大学年報及び活動報告会の内容及び時期等の見直し 4. 自己点検評価委員会の役割及び権限を含めたあり方の検討、規程の見直しと改正案の作成 <p>(大学基準協会の点検・評価項目の基準番号等記入欄)</p> <p>基準2 ①、②、③</p>
<p>活動内容の評価</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. 大学基準協会による認証評価を受けて明らかになった課題に対して、ロードマップを作成し、それに基づき対応している。 また、助産評価機構による認証評価を受けて明らかになった課題に対して、助産研究科が主となり、対応している。 2. 天使大学年報を、大学基準協会の評価項目と紐づけるため、2019年度年報様式から「大学基準協会の点検・評価項目の基準番号等記入欄」を追加した。活動報告会の時期については、検討した結果、例年どおりの時期に開催した。 3. 自己点検評価委員会の役割及び権限を明確化するため、「天使大学内部質保証に関する基本方針」を策定した。 また、内部質保証を適切に行うため、「天使大学自己点検評価委員会規程」を改正し、2020年度から施行することとした。
<p>次年度への課題</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. 2018年度の大学基準協会による認証評価を受けて明らかになった課題に対する改善及び改善報告書の作成準備 2. 2018年度の助産評価機構への改善報告書の提出 3. 内部質保証システムの適切性についての点検・評価の実施と、その結果をもとに改善・向上に向けた取り組みの実施 4. 天使大学年報及び活動報告会の内容の見直し

自己点検・評価資料

目 次

1. 学事暦	59
2. 2019年度開講科目一覧	64
3. 学生数・奨学金の採用状況	75
4. 国家試験合格率	79
5. 就職・進学状況	80
6. 2020年度入学試験結果	84
7. 教員組織	85
8. 事務組織	87
9. 研究等の活動	88
10. 組織図	89
11. 会議の開催状況	90
12. 委員会構成一覧	105
13. 委員会の活動報告	107
14. 図書館の利用状況	131
15. 情報処理室の利用状況	132
16. 施設・設備の状況	133
17. 財務状況	135

1. 学事曆

2019年度 学事曆

2018.11.27 教務委員会
 2018.12.11 教授会
 2019.02.25 教務委員会
 2019.03.13 教務委員会
 2019.06.25 教務委員会

【看護学科】

曆								1年次	2年次	3年次	4年次	全学行事等
日	月	火	水	木	金	土						
31	1	2	3	4	5	6	4/2 入学式 4/3 オリエンテーション 4/4・5 出会いと親睦ゼミ	4/3 在学生ガイダンス 4/4 授業開始(前期) 4/4-10 履修登録期間	4/3 在学生ガイダンス 4/4 授業開始(前期) 4/4-10 履修登録期間	4/3 在学生ガイダンス 4/4 授業開始(前期) 4/4-10 履修登録期間	4/2 入学式 4/3 定期健康診断	
7	8	9	10	11	12	13	4/8 授業開始(前期) 4/8-12 履修登録期間 4/13・20・27 土曜開講	4/6・13・20・27 土曜開講	4/6・13・20・27 土曜開講		4/23PM イースターの集い/学生総会	
14	15	16	17	18	19	20						
21	22	23	24	25	26	27						
28	29	30	1	2	3	4						
5	6	7	8	9	10	11	5/11・18・25 土曜開講	5/11・18・25 土曜開講	5/11・18・25 土曜開講	↑ 5/7-7/26 成人看護学臨地実習Ⅱ 精神看護学臨地実習 在宅看護学臨地実習 母子看護学臨地実習Ⅱ	5/14PM 合唱コン	
12	13	14	15	16	17	18						
19	20	21	22	23	24	25						
26	27	28	29	30	31	1	6/1・15・22・29 土曜開講	6/1・15・22・29 土曜開講	6/1・15・22・29 土曜開講		6/6PM-6/8 天使祭 6/8 第1回オープンキャンパス	
2	3	4	5	6	7	8						
9	10	11	12	13	14	15						
16	17	18	19	20	21	22						
23	24	25	26	27	28	29						
30	1	2	3	4	5	6	7/6・13 土曜開講	7/6・13 土曜開講	7/6・13 土曜開講			
7	8	9	10	11	12	13						
14	15	16	17	18	19	20		7/12-7/19 定期試験	7/12-7/19 定期試験			
21	22	23	24	25	26	27	7/22-7/26 定期試験	7/20-9/16 夏季休業	7/20-9/16 夏季休業			
28	29	30	31	1	2	3	7/27-9/8 夏季休業	7/29-7/31 追再試験	7/29-7/31 追再試験	7/27-9/8 夏季休業	8/1・2 第2回オープンキャンパス	
4	5	6	7	8	9	10						
11	12	13	14	15	16	17						
18	19	20	21	22	23	24	8/21-8/23 追再試験			8/21-8/22 追再試験	8/14-8/16 大学休業日	
25	26	27	28	29	30	31		↑ 8/26-9/6 基礎看護学臨地実習Ⅱ	↑ 8/26-10/25 成人看護学臨地実習Ⅰ 老年看護学臨地実習Ⅱ 母子看護学臨地実習Ⅰ			
9	10	11	12	13	14	9/9 授業開始(後期) 9/9-13 履修登録変更期間	9/17 授業開始(後期) 9/17-24 履修登録変更期間		9/9 授業開始(後期) 9/9-13 履修登録変更期間	9/21 入試(大学院) 9/28 第3回オープンキャンパス 9/30 卒業証書・学位記授与式 10/1 避難訓練		
15	16	17	18	19	20	21	↑ 基礎看護学臨地実習Ⅰ AM 10/3・4・10・11 1日 10/23・24・29・30					
22	23	24	25	26	27	28						
29	30	1	2	3	4	5						
10	6	7	8	9	10	11	12					
13	14	15	16	17	18	19						
20	21	22	23	24	25	26						
27	28	29	30	31	1	2						
11	3	4	5	6	7	8	9	11/9・30 土曜開講	10/30・31 修養会 11/16・30 土曜開講	10/28 授業開始(後期) 10/28-11/1 履修登録変更期間 11/9・30 土曜開講	↑ 10/28-11/8 統合看護臨地実習	10/19 入試(大学院)
10	10	11	12	13	14	15	16		↑ 11/11-15 ↓ 老年看護学臨地実習Ⅰ			
17	18	19	20	21	22	23		11/20PM 戴帽式			11/16 入試(学部) 11/20 戴帽式 11/26 体育祭	
24	25	26	27	28	29	30						
12	1	2	3	4	5	6	7	12/7・14 土曜開講	12/7・14 土曜開講	12/4・5 修養会 12/7・14 土曜開講	12/8 創立記念日	
8	9	10	11	12	13	14						
15	16	17	18	19	20	21						
22	23	24	25	26	27	28	12/21-1/7 冬季休業	12/21-1/7 冬季休業	12/21-1/7 冬季休業	12/21-1/7 冬季休業	12/17PM クリスマスの集い・学生総会 12/25 クリスマス降誕祭	
29	30	31	1	2	3	4						
1	5	6	7	8	9	10	11					
12	13	14	15	16	17	18						
19	20	21	22	23	24	25						
26	27	28	29	30	31	1	1/27-1/31 定期試験	1/27-1/31 定期試験	1/27-1/31 定期試験	1/27-3/31 春季休業 1/29-1/31 追再試験	1/18-19 センター試験 1/25 入試(大学院)	
2	2	3	4	5	6	7	8	2/1-3/31 春季休業	2/1-3/31 春季休業	2/1-3/31 春季休業		2/6-7、2/13、2/20 入試
9	10	11	12	13	14	15						
16	17	18	19	20	21	22						
23	24	25	26	27	28	29	2/21-2/26 追再試験	2/21-2/26 追再試験	2/21-2/26 追再試験	2/18・19 修養会		
3	1	2	3	4	5	6	7					
8	8	9	10	11	12	13	14					
15	15	16	17	18	19	20	21					
22	22	23	24	25	26	27	28					
29	29	30	31	1	2	3	4					
3	3	12	卒業・修了感謝のミサ 3/13 卒業証書・学位記授与式							3/13 卒業証書・学位記授与式		

※ この学事曆の日程は、一部変更することがあります。

2019年度 学事暦

2018.11.27 教務委員会
2018.12.11 教授会
2019.02.25 教務委員会
2019.03.13 教務委員会

【栄養学科】

暦							1年次	2年次	3年次	4年次	全学行事等
日	月	火	水	木	金	土					
31	1	2	3	4	5	6	4/2 入学式 4/3 オリエンテーション 4/4・5 出会いと親睦ゼミ	4/3 在学生ガイダンス 4/4 授業開始(前期) 4/4-10 履修登録期間 4/6・13・20・27 土曜開講	4/3 在学生ガイダンス 4/4 授業開始(前期) 4/4-10 履修登録期間 4/6・13・20・27 土曜開講	4/3 在学生ガイダンス 4/4 授業開始(前期) 4/4-10 履修登録期間 4/6・13・20・27 土曜開講	4/2 入学式 4/3 定期健康診断 4/23PM イースターの集い/学生総会 5/14PM 合唱コン 6/6PM-6/8 天竺祭 6/8 第1回オープンキャンパス
7	8	9	10	11	12	13	4/8 授業開始(前期) 4/8-12 履修登録期間 4/13・20・27 土曜開講				
14	15	16	17	18	19	20					
21	22	23	24	25	26	27					
28	29	30	1	2	3	4					
5	6	7	8	9	10	11	5/11・18・25 土曜開講	5/11・18・25 土曜開講	5/11・18・25 土曜開講	5/11・18・25 土曜開講	
12	13	14	15	16	17	18					
19	20	21	22	23	24	25					
26	27	28	29	30	31	1	6/1・15・22・29 土曜開講	6/1・15・22・29 土曜開講	6/1・15・22・29 土曜開講	↑ 5/20-6/7、8/12-9/13 (うち5日間) 公衆栄養学実習Ⅱ 5/27-31 ↓ 給食経営管理論実習Ⅲ 6/3-6/7 栄養教育実習	
2	3	4	5	6	7	8					
9	10	11	12	13	14	15					
16	17	18	19	20	21	22					
23	24	25	26	27	28	29					
30	1	2	3	4	5	6	7/6・13 土曜開講	7/6・13 土曜開講	7/6・13 土曜開講	7/6・13 土曜開講	
7	8	9	10	11	12	13					
14	15	16	17	18	19	20					
21	22	23	24	25	26	27	7/22-7/26 定期試験	7/22-7/26 定期試験	7/22-7/26 定期試験	7/20-8/11 夏季休業	
28	29	30	31	1	2	3	7/27-9/8 夏季休業	7/27-9/8 夏季休業	7/27-9/1 夏季休業	7/29-7/31 追再試験	8/1・2 第2回オープンキャンパス
4	5	6	7	8	9	10					
11	12	13	14	15	16	17					
18	19	20	21	22	23	24	8/21-8/23 追再試験	8/21-8/23 追再試験	8/21-8/23 追再試験	↑ 8/12-9/13(うち5日間) 給食経営管理論実習Ⅳ 8/12-9/13(うち15日間) 臨床栄養学実習Ⅴ 5/20-6/7、8/12-9/13 (うち5日間) 公衆栄養学実習Ⅱ	8/14-8/16 大学休業日
25	26	27	28	29	30	31					
9	10	11	12	13	14	15	9/9 授業開始(後期) 9/9-13 履修登録変更期間	9/9 授業開始(後期) 9/9-13 履修登録変更期間	9/2 授業開始(後期) 9/2-6 履修登録変更期間	9/17 授業開始(後期) 9/17-20 履修登録変更期間	9/21 入試(大学院)
16	17	18	19	20	21	22					9/28 第3回オープンキャンパス
22	23	24	25	26	27	28					9/30 卒業証書・学位記授与式
29	30	1	2	3	4	5					10/1 避難訓練
10	6	7	8	9	10	11		10/9-10 修養会 10/11 ステップアップセレモニー			10/11PM ステップアップセレモニー
13	14	15	16	17	18	19					10/19 入試(大学院)
20	21	22	23	24	25	26					
27	28	29	30	31	1	2					
11	3	4	5	6	7	8	11/9・30 土曜開講	11/9・30 土曜開講			
10	11	12	13	14	15	16					
17	18	19	20	21	22	23					
24	25	26	27	28	29	30					
12	1	2	3	4	5	6	12/7・14 土曜開講	12/7・14 土曜開講			
8	9	10	11	12	13	14					
15	16	17	18	19	20	21					
22	23	24	25	26	27	28	12/21-1/7 冬季休業	12/21-1/7 冬季休業	12/21-1/7 冬季休業	12/21-1/7 冬季休業	12/8 創立記念日
29	30	31	1	2	3	4					12/17PM クリスマスの集い/学生総会
1	5	6	7	8	9	10					
12	13	14	15	16	17	18					
19	20	21	22	23	24	25					
26	27	28	29	30	31	1	1/27-1/31 定期試験	1/27-1/31 定期試験	1/27-1/31 定期試験	1/27-3/31 春季休業 1/29-1/31 追再試験	1/18-19 センター試験
2	2	3	4	5	6	7	2/1-3/31 春季休業	2/1-3/31 春季休業	2/1-3/31 春季休業		1/25 入試(大学院)
9	10	11	12	13	14	15					
16	17	18	19	20	21	22					
23	24	25	26	27	28	29	2/21-2/26 追再試験	2/21-2/26 追再試験	2/21-2/26 追再試験		2/6-7、2/13、2/20 入試
3	1	2	3	4	5	6					
8	9	10	11	12	13	14					
15	16	17	18	19	20	21					
22	23	24	25	26	27	28					
29	30	31	1	2	3	4					
											3/12 卒業・修了感謝のミサ 3/13 卒業証書・学位記授与式

※ この学事暦の日程は、一部変更することがあります。

2019年度 大学院看護栄養学研究科学事暦

暦							行事予定	全学行事等	臨地実習	
日	月	火	水	木	金	土				
31	1	2	3	4	5	6	4/2 入学式・専攻別オリエンテーション 4/3 ガイダンス・定期健康診断 4/4 授業開始(前期) 4/4~10 履修登録期間 4/18 研究計画発表会(看護学専攻2年次以降)	4/2 入学式 4/3 ガイダンス・定期健康診断 4/23PM イースターの集い		
7	8	9	10	11	12	13				
14	15	16	17	18	19	20				
21	22	23	24	25	26	27				
28	29	30	1	2	3	4	5			
5	6	7	8	9	10	11				
12	13	14	15	16	17	18				
19	20	21	22	23	24	25				
26	27	28	29	30	31	1	6		6/14~6/21(うち5日間) 公衆衛生看護管理実習Ⅱ (2年次) 6/10~7/15 ホスピス緩和ケア看護学実習Ⅱ (2年次)	
2	3	4	5	6	7	8				
9	10	11	12	13	14	15				
16	17	18	19	20	21	22				
23	24	25	26	27	28	29	7	7/4 中間発表会(栄養管理学専攻2年次以降) 7/9~12 学位論文の提出(修士課程・博士前期課程・博士後期課程2年次以降) 7/26 学位論文発表会(修士課程・博士前期課程・博士後期課程2年次以降)・論文審査会	7/16~7/26 ホスピス緩和ケア看護学実習Ⅲ (2年次)	
30	1	2	3	4	5	6				
7	8	9	10	11	12	13				
14	15	16	17	18	19	20				
21	22	23	24	25	26	27	8	8/21 13:00まで 修正済み論文提出		
28	29	30	31	1	2	3				
4	5	6	7	8	9	10				
11	12	13	14	15	16	17				
18	19	20	21	22	23	24	9	9/2 授業開始(後期) 9/2~6 履修登録変更期間 9/20 17:00まで 研究計画書提出(看護学専攻2年次以降) 9/30 前期修了 学位記授与式	9/21 大学院推薦入学試験 9/30 前期修了 学位記授与式 10/1 避難訓練	9/2~2/21(週1回) 家族看護継続実習 (1年次)
25	26	27	28	29	30	31				
1	2	3	4	5	6	7				
8	9	10	11	12	13	14				
15	16	17	18	19	20	21	10	10/23 研究計画発表会(看護学専攻2年次以降)	10/19 大学院一般入学試験(前期)	10月~11月(うち4週間) 老年看護学実習Ⅰ (1年次) 10/15~10/25 公衆衛生看護展開実習 (1年次)
22	23	24	25	26	27	28				
29	30	1	2	3	4	5				
6	7	8	9	10	11	12				
13	14	15	16	17	18	19	11	11/16 学部入学試験	11/5~11/15 公衆衛生看護管理実習Ⅰ (1年次)	
20	21	22	23	24	25	26				
27	28	29	30	31	1	2				
3	4	5	6	7	8	9				
10	11	12	13	14	15	16	12	12/4 17:00 課題研究提出(保健師コース) 12/18 課題研究発表(保健師コース)・論文審査会	12/8 創立記念日 12/17PM クリスマスの集い 12/25 キリスト降誕祭	
17	18	19	20	21	22	23				
24	25	26	27	28	29	30				
1	2	3	4	5	6	7				
8	9	10	11	12	13	14	1	1/14 課題研究最終提出(保健師コース) 1/14~17 学位論文の提出(修士課程・博士前期課程・博士後期課程2年次以降)	1/25 大学院一般入学試験(後期)	
15	16	17	18	19	20	21				
22	23	24	25	26	27	28				
29	30	31	1	2	3	4				
5	6	7	8	9	10	11	2	2/4 学位論文発表会(修士課程・博士前期課程・博士後期課程2年次以降)・論文審査会 2/18 17:00まで 修正済み論文提出 2/21 後期授業終了	2/6~7 学部入学試験 2/13 学部入学試験 2/20 入学試験	
12	13	14	15	16	17	18				
19	20	21	22	23	24	25				
26	27	28	29	30	31	1				
2	3	4	5	6	7	8	3	3/13 10:00 学位記授与式 3/31 17:00まで 研究計画書提出(看護学専攻1年次)	3/13 学位記授与式	
9	10	11	12	13	14	15				
16	17	18	19	20	21	22				
23	24	25	26	27	28	29				
1	2	3	4	5	6	7				
8	9	10	11	12	13	14				
15	16	17	18	19	20	21				
22	23	24	25	26	27	28				
29	30	31	1	2	3	4				

※ この学事暦の日程は、一部変更することがあります。

2019年度 天使大学大学院 助産研究科 学事暦

【前期】

	日	月	火	水	木	金	土	行事予定等	
4月	31	1	2	3	4	5	6	2日(火) 入学式・新入生オリエンテーション 3日(水) 新入生オリエンテーション・2年次ガイダンス・定期健康診断 4日(木) 新入生修養会 23日(火)午後 イースターの集い	
	7	8	9	10	11	12	13		
	14	15	16	17	18	19	20		
	21	22	23	24	25	26	27		
	28	29	30						
5月				1	2	3	4	7日(火) 基礎2年：「マニピュレイション独立助産実習」開始(前半グループ) 14日(火)午後 合唱コンクール	
	5	6	7	8	9	10	11		
	12	13	14	15	16	17	18		
	19	20	21	22	23	24	25		
	26	27	28	29	30	31			
6月							1	10日(月) 基礎1年：「マニピュレイション助産の基礎実習Ⅰ、Ⅱ、Ⅲ」開始 10日(月) 教育2年：「臨床助産教育(clinical Teaching)実習」開始 14日(金) 基礎2年：「マニピュレイション独立助産実習」終了(前半グループ) 24日(月) 基礎2年：「マニピュレイション独立助産実習」開始(後半グループ)	
	2	3	4	5	6	7	8		
	9	10	11	12	13	14	15		
	16	17	18	19	20	21	22		
	23	24	25	26	27	28	29		
	30								
7月		1	2	3	4	5	6		
	7	8	9	10	11	12	13		
	14	15	16	17	18	19	20		
	21	22	23	24	25	26	27		
	28	29	30	31					
8月					1	2	3	2日(金) 基礎2年：「マニピュレイション独立助産実習」終了(後半グループ) 9日(金) 基礎1年：「マニピュレイション助産の基礎実習Ⅰ、Ⅱ、Ⅲ」終了 9日(金) 教育2年：「臨床助産教育(clinical Teaching)実習」終了 19日(月)～23日(金) 基礎1・2年、教育1年：補講期間・前期定期試験 26日(月) 夏季休業開始	
	4	5	6	7	8	9	10		
	11	12	13	14	15	16	17		
	18	19	20	21	22	23	24		
	25	26	27	28	29	30	31		
9月	1	2	3	4	5	6	7	20日(金) 夏季休業終了 24日(火) 基礎2年：「マニピュレイション助産の統合実習Ⅱ」開始(第1グループ) 24日(火) 教育2年：修了感謝のミサ、学位記授与	
	8	9	10	11	12	13	14		
	15	16	17	18	19	20	21		
	22	23	24	25	26	27	28		
	29	30							

前期

学年	専攻	学内授業期間	臨地実習期間	
1年次	基礎	4月 2日(火) ～ 6月 7日(金)	基礎実習Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ	6月10日(月) ～ 8月 9日(金)
	教育	8月13日(火) ～ 8月23日(金)	—	—
2年次	基礎	4月 1日(月) ～ 4月26日(金)	独立助産実習(前半) 独立助産実習(後半)	5月 7日(火) ～ 6月14日(金) 6月24日(月) ～ 8月 2日(金) (期間内1人当り：原則6週間)
	教育	4月 1日(月) ～ 8月23日(金)	臨床助産教育(clinical Teaching)実習	6月10日(月) ～ 8月 9日(金) (期間内1人当り：2週間)

2019年度 天使大学大学院 助産研究科 学事暦

【後期】

	日	月	火	水	木	金	土	行事予定等
10月			1	2	3	4	5	1日(火)午後 避難訓練 4日(金) 基礎2年:「マニイサイクル助産学総合実習Ⅱ」終了(第1グループ)
	6	7	8	9	10	11	12	7日(月) 基礎2年:「マニイサイクル助産学総合実習Ⅱ」開始(第2グループ)
	13	14	15	16	17	18	19	18日(金) 基礎2年:「マニイサイクル助産学総合実習Ⅱ」終了(第2グループ)
	20	21	22	23	24	25	26	21日(月) 基礎2年:「マニイサイクル助産学総合実習Ⅱ」開始(第3グループ)
	27	28	29	30	31			
						1	2	
11月	3	4	5	6	7	8	9	1日(金) 基礎2年:「マニイサイクル助産学総合実習Ⅱ」終了(第3グループ) 28日(月)~1日(金) 基礎1年: 演習、実習オリエンテーション 5日(火) 基礎1年:「マニイサイクル助産学総合実習Ⅰ」開始
	10	11	12	13	14	15	16	11日(月) 教育1年:「独立助産実習」開始
	17	18	19	20	21	22	23	
	24	25	26	27	28	29	30	
12月	1	2	3	4	5	6	7	
	8	9	10	11	12	13	14	8日(日) 創立記念日
	15	16	17	18	19	20	21	17日(火)午後 クリスマスの集い 20日(金) 教育1年:「独立助産実習」終了 23日(月) 基礎1・2年, 教育1年: 冬季休業開始 25日(水) クリスマス降誕祭
	22	23	24	25	26	27	28	
	29	30	31					
1月				1	2	3	4	3日(金) 基礎1・2年, 教育1年: 冬季休業終了
	5	6	7	8	9	10	11	
	12	13	14	15	16	17	18	
	19	20	21	22	23	24	25	
	26	27	28	29	30	31		
2月							1	
	2	3	4	5	6	7	8	7日(金) 基礎1年:「マニイサイクル助産学総合実習Ⅰ」終了
	9	10	11	12	13	14	15	
	16	17	18	19	20	21	22	
	23	24	25	26	27	28	29	28日(金) 修了前修養会
3月	1	2	3	4	5	6	7	
	8	9	10	11	12	13	14	12日(木) 修了・卒業感謝のミサ 13日(金) 修了証書・学位記授与式
	15	16	17	18	19	20	21	
	22	23	24	25	26	27	28	
	29	30	31					

後期

学年	専攻	学内授業期間	臨地実習期間	
1年次	基礎	9月24日(火) ~ 11月 1日(金) 2月10日(月) ~ 2月28日(金)	統合実習Ⅰ	11月 5日(火) ~ 12月20日(金) 1月 6日(月) ~ 2月 7日(金)
	教育	9月24日(火) ~ 11月 8日(金) 1月 6日(月) ~ 2月28日(金)	独立助産実習	11月11日(月) ~ 12月20日(金) (期間内1人当り: 原則6週間)
2年次	基礎	9月24日(火) ~ 12月20日(金) 1月 6日(月) ~ 2月14日(金)	統合実習Ⅱ	9月24日(火) ~ 11月 1日(金) (期間内1人当り: 2週間)

2. 2019年度開講科目一覧

1) 教養教育科目

科目区分	授業科目	受講年次	学期	単位		区分		
				必修	選択	講義	演習	実習
①共通基礎科目	基礎学修演習	1	前	1			1	
	教養演習	1	後		1		1	
	科学的思考演習	2	前	1			1	
②人間と宗教	キリスト教学概論	1	前	2		2		
	人間学	1	前	2		2		
	聖書の講読	2	前		▲2	2		
	宗教学	2	前		▲2	2		
	キリスト教学特論	1	後		▲2	2		
③人間と文化	発達と学習の心理学	1	後		2	2		
	カウンセリング概論	1	後		2	2		
	倫理学	1	後		2	2		
	音楽概論	1	後		2	2		
	美術概論	1	後		2	2		
	民族と異文化理解	1	後		2	2		
④人間と社会	法学（日本国憲法）	1	前		2	2		
	社会学	1	前		2	2		
	現代の経済	1	前		2	2		
	近現代の日本	1	後		2	2		
	生活と福祉	1	後		2	2		
	現代社会と生活	1	後		2	2		
	対人関係の心理学	1	前		2	2		
⑤人間と自然科学	化学	1	前	2		2		
	生物学	1	前		2	2		
	統計処理演習Ⅰ	1	前		1		1	
	統計処理演習Ⅱ	1	後	1			1	
⑥人間と外国語	英語ⅠA	1	前	1			1	
	英語ⅠB	1	後	1			1	
	英語ⅡA	2	前		1		1	
	英語ⅡB	2	後		1		1	
	オーラルイングリッシュⅠA	1	前	1			1	
	オーラルイングリッシュⅠB	1	後	1			1	
	オーラルイングリッシュⅡA	2	前		1		1	
	オーラルイングリッシュⅡB	2	後		1		1	
	フランス語	2	前		1		1	
⑦健康とスポーツ	健康とスポーツⅠ	1	前後		1			1
	健康とスポーツⅡ	2	前後		1			1

2) 看護学科

科目区分	授業科目	受講年次	学期	単位		区分		
				必修	選択	講義	演習	実習
専門基礎科目	栄養代謝学	1	前	2		2		
	形態機能学Ⅰ	1	前	2		2		
	形態機能学Ⅱ	1	後	2		2		
	病態治療学Ⅰ	1	後	2		2		
	病態治療学Ⅱ	1	後	2		2		
	看護薬理学	2	前	2		2		
	病態・治療学Ⅲ-1	2	前	2		1	1	
	病態・治療学Ⅲ-2	2	後	1			1	
	環境健康論	1	後	2		2		
	社会福祉論	1	前	2		2		
	保健医療福祉システム論	3	前	2		2		
	生涯発達論	1	前	1		1		
	医療と倫理	2	前	1		1		
	人間関係論	2	前	1			1	
医療人類学	3	後		1	1			
専門科目	看護学原理	1	前	2		2		
	ヘルスアセスメント	2	前	1			1	
	看護ケア提供システム論	1	後	1		1		
	基礎看護技術論Ⅰ	1	前	1		1		
	基礎看護技術論Ⅱ	1	後	2			2	
	基礎看護技術論Ⅲ	2	前	1			1	
	基礎看護技術論Ⅳ	2	前	2		1	1	
	成人看護学Ⅰ	2	前	1		1		
	成人看護学Ⅱ	2	後	2			2	
	成人看護学Ⅲ	2	後	1			1	
	成人看護学Ⅳ	3	前	2		1	1	
	老年看護学Ⅰ	2	前	1		1		
	老年看護学Ⅱ	2	後	1			1	
	老年看護学Ⅲ	3	前	2		1	1	
	小児看護学Ⅰ	2	後	2		1	1	
	小児看護学Ⅱ	3	前	2		1	1	
	母性看護学Ⅰ	2	後	2		2		
	母性看護学Ⅱ	3	前	2			2	
	精神看護学Ⅰ	2	後	2		2		
	精神看護学Ⅱ	3	前	1			1	
	精神看護論Ⅲ	3	後	1			1	
在宅看護論Ⅰ	3	前	1		1			
在宅看護論Ⅱ	3	後	2		2			
家族看護学	3	前	1		1			
地域看護学	3	前	1			1		
ホスピス・緩和ケア論	3	後	1		1			

ヘルスプロモーション活動論	3	後		1	1		
リハビリテーション看護学	3	後		1	1		

2) 看護学科

科目区分	授業科目	受講年次	学期	単位		区分		
				必修	選択	講義	演習	実習
専門科目	感染看護学	3	後		1	1		
	基礎看護学臨地実習Ⅰ	1	後	1				1
	基礎看護学臨地実習Ⅱ	2	後	2				2
	成人看護学臨地実習Ⅰ	3	後	3				3
	成人看護学臨地実習Ⅱ	4	前	3				3
	老年看護学臨地実習Ⅰ	2	後	1				1
	老年看護学臨地実習Ⅱ	3	後	3				3
	母子看護学臨地実習Ⅰ	3	後	1				1
	母子看護学臨地実習Ⅱ	4	前	3				3
	精神看護学臨地実習	4	前	2				2
	在宅看護学臨地実習	4	前	2				2
	統合看護学臨地実習	4	後	2				2
	生と死の看護ゼミ	2	後	1			1	
	看護研究の基礎	3	後	1		1		
	事例研究	4	前後	2			2	
	看護倫理	4	前	1		1		
	看護管理	4	後	1		1		
	統合看護技術演習	4	前	1			1	
	栄養・看護演習	3	前	1			1	
	看護英文講読	3	後		1	1		
	看護教育学	4	前		1	1		
	国際医療援助論	3	後		1	1		
	災害医療援助論	3	後		1	1		
	合同特別演習	4	後		1		1	
	人間形成とキャリアデザインⅠ	1	前	1		1		
	人間形成とキャリアデザインⅡ	2	後	1		1		
人間形成とキャリアデザインⅢ	3	後	1		1			

3) 栄養学科

科目区分	授業科目	受講年次	学期	単位		区分		
				必修	選択	講義	演習	実習
専門基礎科目	人間関係論	1	前	1		1		
	公衆衛生学	2	前	2		2		
	健康管理概論	2	後	2		2		
	保健医療福祉システム論	4・編4	前	1		1		
	公衆衛生学実習	2	後	1				1
	生涯発達論	1・編4	前	2		2		
	医療概論	2	前		2	2		
	生化学 I	1	後	2		2		
	生化学 II	2	前	2		2		
	形態機能学 I	1	前	2		2		
	形態機能学 II	1	後	2		2		
	病理学	2	前	2		2		
	微生物学	1	後	2		2		
	病態診療学 I	2	後	2		2		
	病態診療学 II	3	前	2		2		
	生化学実験	2	前	1				1
	形態機能学実習 I	1	後	1				1
	形態機能学実習 II	3	後	1				1
	有機化学	1	前		2	2		
	食品科学 I	1	前	2		2		
	食品科学 II	1	後	2		2		
	調理学	1	前	2		2		
	食品衛生学	2	前	2		2		
	食品科学実験 I	1	後	1				1
	食品科学実験 II	3	前	1				1
	調理学実習 I	1	前	1				1
	調理学実習 II	1	後	1				1
	食品衛生学実験	2	前	1				1
食品微生物学実験	2	前	1				1	
食品科学 III	2・編4	後		2	2			
環境食事論	4・編4	後		1	1			
食文化論	4・編4	後		1	1			
専門科目	管理栄養士論	1	前	1		1		
	基礎栄養学	1	後	2		2		
	基礎栄養学実験・実習	2	後	1				1
	応用栄養学 I	2	前	2		2		
	応用栄養学 II	2	後	2		2		
	応用栄養学 III	3	後	2		2		
	応用栄養学実習	3	前	1				1
国際栄養学	4・編4	後		1	1			

3) 栄養学科

科目区分	授業科目	受講年次	学期	単位		区分		
				必修	選択	講義	演習	実習
専門科目	免疫と栄養	3	後		1	1		
	スポーツ栄養学	3	後		1	1		
	栄養教育論Ⅰ	2	前	2		2		
	栄養教育論Ⅱ	2	後	2		2		
	栄養教育論Ⅲ	3	後	2		2		
	栄養教育論実習	3	前	1				1
	カウンセリング演習	3	前		1		1	
	臨床栄養学Ⅰ	2	後	2		2		
	臨床栄養学Ⅱ	3	前	2		2		
	臨床栄養学Ⅲ	3	後	2		2		
	臨床栄養学Ⅳ	4・編4	前	2		2		
	臨床栄養学実習Ⅰ	3	前	1				1
	臨床栄養学実習Ⅱ	3	後	1				1
	臨床栄養学実習Ⅳ	4・編4	前	1				1
	公衆栄養学Ⅰ	3	前	2		2		
	公衆栄養学Ⅱ	3	後	2		2		
	公衆栄養学実習Ⅰ	3	後	1				1
	地域栄養活動演習	4・編4	前		1		1	
	栄養・看護演習	3	前	1			1	
	給食経営管理論Ⅰ	2	前	2		2		
	給食経営管理論Ⅱ	2	後	2			2	
	給食経営管理論実習Ⅰ	2	後	1				1
	フードサービス論	4・編4	前		1	1		
	フードサービス実習	4・編4	前		1			1
	総合演習Ⅰ	3	前後	1			1	
	総合演習Ⅱ	4・編4	前後	2			2	
	食といのちのゼミ	4・編4	後	1			1	
	英文文献講読	3	後		1		1	
	合同特別演習	4・編4	前後		1		1	
	卒業研究	4・編4	前後		3			3
	給食経営管理論実習Ⅱ（学外実習）	3	後	1				1
	臨床栄養学実習Ⅲ（学外実習）	3	後	2				2
	公衆栄養学実習Ⅱ（学外実習）	4・編4	前後		▲1			1
給食経営管理論実習Ⅲ（学外実習）	4・編4	前		▲1			1	
臨床栄養学実習Ⅴ（学外実習）	4・編4	前後		3			3	
給食経営管理論実習Ⅳ（学外実習）	4・編4	前後		1			1	
学校栄養指導論Ⅰ	3	前		2	2			
学校栄養指導論Ⅱ	3	後		2	2			

4) 教職課程

科目区分	授業科目	受講年次	学期	単位		区分		
				必修	選択	講義	演習	実習
教職課程科目	教育原論	1	後		1	1		
	教職概論	1	前		2	2		
	教育課程論	1	後		1	1		
	教育制度論	2	前		1	1		
	道德教育論	2	後		1	1		
	特別活動論	2	後		1	1		
	教育方法論	2	前		1	1		
	生徒指導論	2	後		2	2		
	栄養教育実習	4	前		1			1
	栄養教育実習事前事後指導	4	前		1			1
	教職実践演習(栄養教諭)	4	前後		2		2	
	教職総合演習	3	後		2		2	

栄養学科で教職課程を登録した学生のみ履修することができます。

5) 大学院看護栄養学研究科 栄養管理学専攻 (博士前期課程)

科目区分	授業科目	受講年次	学期	単位		区分		
				必修	選択	講義	演習	実習
基礎科目	倫理学特論	1	後	1		1		
	統計学特論	1	前	1			1	
	疫学	1	前	1		1		
	人間関係論特論	1	後		1	1		
	研究方法論特論	1	前	2		2		
	医療情報・医療経済	1	後		1	1		
	国際保健学特論	2	前		1	1		
	国際保健学特論演習	2	前		1		1	
専門基礎科目	食品衛生学特論	1	前	2		2		
	食品学特論	1・2	後		2	2		
	食薬理学特論	1・2	前		2	2		
	代謝栄養学特論	1	後	2		2		
	栄養免疫学特論	1・2	後		2	2		
	地域ケアシステム論	1	後		1	1		
	ヘルスカウンセリング論	1	前		1		1	
	環境保健学	1	前		1	1		
	健康社会学	2	前		1	1		
	医療人類学特論	2	前		1	1		
専門実践科目	栄養管理学特論	1	前	2		2		
	栄養疫学特論	1	後		1	1		
	健康行動科学特論	1	前	1		1		
	健康・食行動理論	1	前		1	1		
	栄養診断学特論	1	後	2		2		
	栄養管理学総合演習	1	前後	2			2	
	臨床栄養学特論	1	前	2		2		
	栄養管理学特別研究	1~2	前後	4				4
栄養管理学特別演習	1~2	前後	4			4		

6) 大学院看護栄養学研究科 栄養管理学専攻 (博士後期課程)

科目区分	授業科目	受講年次	学期	単位		区分		
				必修	選択	講義	演習	実習
基礎系栄養管理学分野	基礎系栄養管理学特別研究	1~3	前後		12			12
実践系栄養管理学分野	実践系栄養管理学特別研究	1~3	前後		12			12

7) 大学院看護栄養学研究科 看護学専攻 (修士課程)

科目区分	授業科目	受講年次	学期	修論コース		高度実践看護師コース		○印 CNS 対象科目	保健師コース		授業区分			
				単位数		単位数			単位数		講義	演習	実習	
				必修	選択	必修	選択	必修	選択					
看護学・栄養管理学科専攻共通科目	倫理学特論	1	後	1		1		○	1		1			
	人間関係論特論	1	後		1		1			1	1			
	研究方法論特論	1	前	2		2		○	2		2			
	統計学特論	1	前		1		1		1			1		
	疫学	1	前		1		1		1		1			
	地域ケアシステム論	1	後		1		1		1		1			
	健康行動科学特論	1	前		1		1		1		1			
	医療情報・医療経済	1	後		1		1			1	1			
	国際保健学特論	2	前		1		1			1	1			
	国際保健学特論演習	2	前		1		1			1		1		
看護学専攻共通基礎科目	看護理論特論	1	前	2		2		○	2		2			
	看護倫理特論	1	後	1		1		○	1		1			
	看護研究法Ⅰ (量的研究)	1	後		1		1			1		1		
	看護研究法Ⅱ (質的研究)	1	後		1		1			1		1		
	看護教育学特論Ⅰ	1	前		2	2		○	2	2				
	看護教育学特論Ⅱ	1	後		1		1			1		1		
	看護管理学特論	1	後		2		2	○	2	2				
	家族関係論特論	1	前		1		1		1		1			
	コンサルテーション論	1	後		1		1	○		1	1			
専門基礎科目	フィジカルアセスメント	1	後			2		○			2			
	病態生理学	1	前		2	2		○		2	2			
	臨床薬理学	1	前		2	2		○		2	2			
	精神病理学特論	1	前		2		2			2	2			
	保健医療福祉政策論	1~2	後		1		1	○	1		1			
	保健医療福祉行政論	1	前		3				3		3			
	疫学・保健統計特論	1	前		2				2		2			
	ヘルスカウンセリング論	1	前		1		1		1			1		
	代謝栄養学特論	1	後		2		2			2	2			
	環境保健学	1	前		1		1			1	1			
	健康社会学	2	前		1		1			1	1			
	医療人類学特論	2	前		1		1			1	1			
専門科目	ホスピス緩和ケア看護学	ホスピス緩和ケア看護学特論Ⅲ	1~2	後前			2		○				2	
		ホスピス緩和ケア看護学演習Ⅲ	2	前			1		○				1	
		ホスピス緩和ケア看護学実習Ⅱ	2	前			4		○				4	
		ホスピス緩和ケア看護学実習Ⅲ	2	前			2		○				2	
	老年看護学 CNS コー	老年看護学特論Ⅰ (理念・概念)	1	前			2		○			2		
		老年看護学特論Ⅱ (健康生活評価)	1	前			2		○			2		
		老年看護学特論Ⅲ	1	後			2		○			2		
		老年看護学特論Ⅳ	1	後			2		○			2		
		老年看護学特論Ⅴ	1	後			2		○			2		
		老年看護学展開論Ⅰ	1	後			2		○				2	
		老年看護学実習Ⅰ	1	後			4		○					4
	公衆衛生看護学	公衆衛生看護学特論Ⅰ	1	前		2				2		2		
	精神看護学	精神看護学特論Ⅰ	1	前		2						2		
		精神看護学特論Ⅱ	1	前		2						2		
		精神看護学演習Ⅰ	1	前		2							2	
		精神看護学演習Ⅱ	1~2	後前		2							2	
	成人看護学	成人看護学演習Ⅱ	1~2	後前		2							2	
	保健師コース	公衆衛生看護学原論	1	前						2		2		
公衆衛生看護学活動Ⅰ		1	前						2		2			
公衆衛生看護学活動Ⅱ		1	後						2		2			
健康学習支援演習		1	後						1			1		
家族看護学特論		1	前						2		1	1		
公衆衛生看護学診断		1	後						2		1	1		
公衆衛生看護学管理		1	後						2		2			
健康危機管理特論		1	後						1			1		
産業・学校看護学活動論		2	前						2		2			
地域ケアシステム論特論		2	前						2		2			
公衆衛生看護学課題研究演習	1	後						2			2			

	家族看護継続実習	1	後						1				1
	公衆衛生看護展開実習	1	後						2				2
	公衆衛生看護管理実習 I	1	後						2				2
	公衆衛生看護管理実習 II	2	前						1				1
	特別看護研究	2	前後	8									8
	公衆衛生看護課題研究	2	前後						4				4
	ホスピス緩和ケア看護課題研究	2	前後				2						2
	老年看護課題研究	2	前後				2						2

8) 【助産基礎分野】

2017年度以降入学生対象

区分	授 業 科 目	学年	学期	単位数		授業区分			履修方法及び 修了要件	
				必修	選択	講義	演習	実習		
基 礎 科 目	概念形成	助産学概論	1	前	1		1			修了要件は、 発展・展開科目 以外の選択科目 3単位以上を含む 1単位以上修得 すること。なお、 選択科目は、 ①から④の いずれかの領域の 単位を必ず修得し、 かつ①、③の 領域を選択した 場合は、
		助産哲学・倫理Ⅰ	1	後	1		1			
		助産哲学・倫理Ⅱ	2	後		1	1			
		出産の文化	1	前	1		1			
	専門基礎	女性のフィジカルイグザミネーション	1	前	1			1		
		助産薬理学Ⅰ	1	前	1		1			
		助産薬理学Ⅱ	2	前	1		1			
		妊産褥婦乳幼児の栄養	1	前	1		1			
		助産女性学	1	前	1		1			
		助産カウンセリング	1	後	1			1		
		健康教育論Ⅰ	1	前	1		1			
		健康教育論Ⅱ	2	前	1			1		
	助産機能	助産管理論Ⅰ	1	後	1		1			
		助産管理論Ⅱ	2	前	1		1			
		助産師教育論	2	前	1		1			
		助産師教育方法論	2	後		1	1			
		母子保健行政・財政論	1	後	1		1			
		母子保健活動論（疫学・統計を含む）	2	前	1		1			
実 践 専 門 科 目	マタニティサイ クル 助産ケア	マタニティサイクル助産ケアⅠ	1	通年	2		1	1		
		マタニティサイクル助産ケアⅡ	1	通年	2		1	1		
		マタニティサイクル助産ケアⅢ	1	通年	2		1	1		
		ハイリスク助産学Ⅰ	1	後	1		1			
		ハイリスク助産学Ⅱ	1	後	1		1			
		ハイリスク助産演習	2	前	1			1		
		独立助産実践概論	2	前	1		1			
		独立助産演習	2	前	1			1		
	マタニティサイ クル 助産ケア実践	マタニティサイクル助産ケア基礎実習Ⅰ	1	前	2				2	
		マタニティサイクル助産ケア基礎実習Ⅱ	1	前	2				2	
		マタニティサイクル助産ケア基礎実習Ⅲ	1	前	2				2	
		マタニティサイクル助産ケア統合実習Ⅰ	1	後	6				6	
		マタニティサイクル独立助産実習	2	前	6				6	
		マタニティサイクル助産ケア統合実習Ⅱ	2	後	2				2	
発 展 ・ 展 開 科 目	発展・展開	子育て支援論Ⅰ	1	後	1	①	1			
		子育て支援論Ⅱ	2	前後			1		1	
		子育て支援論演習	2	後			1		1	
		性教育Ⅰ	2	前	1	②	1			
		性教育Ⅱ	2	前後			1		1	
		性教育実習	2	後		2			2	
		ウィメンズヘルスⅠ	1	後	1	③	1			
		ウィメンズヘルスⅡ	2	前後			1		1	
		ウィメンズヘルス演習	2	後			1		1	
		国際助産学Ⅰ	2	前	1	④	1			
		国際助産学Ⅱ	2	前後			1		1	
国際助産学実習	2	後		2			2			
特別統合研究科目	特別統合課題研究	2	通年	1			1			
合 計					53	12	26	15	24	

9) 【助産教育分野】

2015年度以降入学生対象

区分	授 業 科 目	学年	学期	単位数		授業区分			履修方法及び 修了要件	
				必修	選択	講義	演習	実習		
助産専門科目	概念形成	助産学概論	1	前	1		1			修了要件は選択科目8単位以上を含む 45単位以上を修得すること。
		助産哲学・倫理Ⅰ	1	後	1		1			
		助産哲学・倫理Ⅱ	1	後	1		1			
		出産の文化	1	前		1	1			
		助産女性学	1	前		1	1			
	助産教育技術	助産カウンセリング	1	後	1			1		
		健康教育論Ⅰ	1	前	1		1			
		健康教育論Ⅱ	2	前	1			1		
		女性のフィジカルイグザミネーション	1	前		1		1		
	助産ケア特論・実践	独立助産実践特論	1	前	1		1			
		独立助産演習	1	前	1			1		
		独立助産実習	1	後	6				6	
		助産薬理学	2	前		1	1			
		ハイリスク助産学Ⅰ	1	後		1	1			
		ハイリスク助産学Ⅱ	1	後		1	1			
	助産機能	助産管理論Ⅰ	1	後		1	1			
		助産管理論Ⅱ	1	前	1		1			
		母子保健行政・財政論	1	後		1	1			
		母子保健活動論（疫学・統計を含む）	2	前		1	1			
	発展・展開	子育て支援論	1	後		1	1			
性教育		1	前		1	1				
ウィメンズヘルス		1	後		1	1				
国際助産学		1	前		1	1				
教育科目	助産・看護教育	教育概論	1	前	2		2			
		教育計画(カリキュラム)の原理と展開	1	通年	2		2			
		教育計画(カリキュラム)の原理と展開演習	1	後	1			1		
		教授学習法の理論と展開	1	通年	2		2			
		教授学習法の理論と展開演習	1	後	1			1		
		教育評価	1	後	2		2			
		教育評価演習	1	後	1			1		
		教育機関の運営と評価	1	後	2		2			
		助産教育(Classroom Teaching)演習	2	前	1			1		
		助産教育(Classroom Teaching)実習	2	前	1				1	
	特別統合研究	助産研究法Ⅰ	1	前	1		1			
		助産研究法Ⅱ	1	後	1			1		
		助産教育課題研究	2	前	2			2		
		合計				37	13	29	12	9

3. 学生数・奨学金の採用状況

在籍者数

(2019年5月1日現在)

所属	学科・専攻	コース名等	収容定員	1年	2年	3年	4年	計	収容定員充足率
看護栄養学部	看護学科		348	97 (2)	102 (1)	93 (2)	95 (7)	387 (12)	111.2%
	栄養学科		350	89 (3)	97 (1)	89 (2)	92 (4)	367 (10)	104.9%
		(うち編入生)	10	—	—	—	3	3 (0)	30.0%
	小計			698	186 (5)	199 (2)	182 (4)	187 (11)	754 (22)
助産大学院科	助産専攻	助産基礎分野	60	20 —	14 —	— —	— —	34 —	56.7%
		助産教育分野	20	2 —	1 —	— —	— —	3 —	15.0%
	小計			80	22 —	15 —	— —	— —	37 —
看護栄養大学院	看護学専攻	公衆衛生看護学コース	28	0	0	— —	— —	0 (0)	71.4%
		精神看護学コース		2	0	— —	— —	2 (0)	
		成人看護学コース		0	1	— —	— —	1 (0)	
		老年看護学コース		0	0	— —	— —	0 (0)	
		母性看護学コース		0	0	— —	— —	0 (0)	
		小児看護学コース		0	0	— —	— —	0 (0)	
		ホスピス緩和ケア看護学コース		0	2	— —	— —	2 (0)	
		老年看護CNSコース		1	0	— —	— —	1 (0)	
		保健師コース		8	6	— —	— —	14 (0)	
	栄養管理学専攻	博士前期課程	6	2	1	— —	— —	3 (0)	50.0%
		博士後期課程	6	0	3 (1)	2	— —	5 (1)	83.3%
小計			40	13 (0)	13 (1)	2 (0)	— —	28 (1)	70.0%
合計			818	221 (5)	227 (3)	184 (4)	187 (11)	819 (23)	100.1%

奨学金の種類と採用数（学部生） 2020年3月現在

	奨学金の種類		奨学金の金額		貸与・給付の別	採用数
			月 額			
全学生	天使大学貸与奨学金		月 額	30,000円	無利子貸与	37人
	日本学生支援機構奨学金	第一種	月 額	自宅 54,000円 自宅外 64,000円 上記以外に月額20,000円～50,000円まで、1万円単位で選択することができます (自宅通学の方は50,000円選択不可)	無利子貸与	153人
		第二種	月 額	月額20,000円～120,000円まで、1万円単位で選択することができます。	有利子貸与 利率3%以内	182人
		給付	月 額	自宅 30,000円 自宅外 40,000円	給付、返還不要	8人
1～3年次生			月 額			
2年次生以上	天使大学シスター川原ユキエ記念奨学金		年 額	看護学科 600,000円 栄養学科 500,000円	給付、返還不要	11人
	天使大学給付奨学金		年 額	200,000円	給付、返還不要	20人
	天使大学同窓会給付奨学金		年 額	100,000円	給付、返還不要	5人
2～4年次生	学業成績優秀者奨励金		年 額	50,000円	給付	6人
看学生	北海道看護職員養成修学資金		月 額	32,000円	道内特定施設に5年以上勤務の場合返還免除	4人
全学生	その他の奨学金		札幌市奨学生(2)、工藤育英会奨学金、クローバー奨学金ほか			11人
合 計						437人

奨学金の種類と採用数（看護栄養学研究科） 2020年3月現在

奨学金の種類		奨学金の金額		貸与・給付の別	採用数
天使大学貸与奨学金		月 額	30,000円または50,000円	無利子貸与	0人
日本学生支援機構奨学金	第一種	月 額	50,000円または88,000円	無利子貸与	3人
	第二種	月 額	50,000円、80,000円 100,000円、130,000円 150,000円	有利子貸与 利率3%以内	2人
天使大学同窓会給付奨学金		年 額	100,000円	給付、返還不要	1人
北海道看護職員養成修学資金		月 額	32,000円	道内特定施設に5年以上勤務の場合返還免除	1人
その他の奨学金					1人
					8人

奨学金の種類と採用数（助産研究科）2020年3月現在

奨学金の種類		奨学金の金額		貸与・給付の別	採用数
天使大学貸与奨学金		月 額	30,000円または50,000円	無利子貸与	3人
日本学生支援機構奨学金	第一種	月 額	50,000円または88,000円	無利子貸与	10人
	第二種	月 額	50,000円、80,000円 100,000円、130,000円 150,000円	有利子貸与 利率変動3%以内	4人
天使大学同窓会奨学金		年 額	100,000円	給付	1人
日本助産師会奨学金		月 額	50,000円	無利子貸与	0人
北海道看護職員養成修学資金		月 額	32,000円	無利子貸与。貸与期間にかかわらず、道内に5年以上助産師として勤務した場合返還免除となる	7人
その他の奨学金					0人
合 計					25人

4. 国家試験合格率

国家試験合格率（2019年度）

学 部・学 科	国家試験の名称	受験者数 (A)	合格者数 (B)	合格率 (%) B/A*100	全国合格率 (%)
看護栄養学部看護学科	看護師国家試験	91 人	90 人	98.9%	94.7%
看護栄養学研究科看護専攻	保健師国家試験	6 人	6 人	100.0%	96.3%
助産研究科助産専攻	助産師国家試験	13 人	13 人	100.0%	99.5%
看護栄養学部栄養学科	管理栄養士国家試験	91 人	81 人	89.0%	92.4%

5. 就職・進学状況

看護栄養学部就職状況（2020年5月1日現在）

〔学科別就職希望者〕

学科		看護学科					栄養学科						
性別		女子		男子		計	女子		男子		計		
項目		数	割合	数	割合	数	卒業生に対する割合	数	割合	数	割合	数	卒業生に対する割合
就職希望の有無	希望有りの者	74	92.5%	6	7.5%	80	87.9%	86	95.6%	4	4.4%	90	98.9%
	希望無しの者	10	90.9%	1	9.1%	11	12.1%	1	100.0%	0	0.0%	1	1.1%
計(卒業生数)		84	92.3%	7	7.7%	91	100.0%	87	95.6%	4	4.4%	91	100.0%

〔学科別就職決定者〕

学科		看護学科					栄養学科						
性別		女子		男子		計	女子		男子		計		
項目		数	割合	数	割合	数	就職希望者に対する割合	数	割合	数	割合	数	就職希望者に対する割合
決定数/決定率		74	100.0%	6	100.0%	80	100.0%	84	97.7%	4	100.0%	88	97.8%

〔地域別・就職別決定者〕

学科		看護学科					栄養学科						
性別		女子		男子		計	女子		男子		計		
項目		数	割合	数	割合	数	就職者に対する割合	数	割合	数	割合	数	就職者に対する割合
地域別	道外	25	33.8%	3	50.0%	28	35.0%	16	19.0%	0	0.0%	16	18.2%
	道内	49	66.2%	3	50.0%	52	65.0%	68	81.0%	4	100.0%	72	81.8%
	市内(再掲)	43	(58.1%)	3	(50.0%)	46	(57.5%)	53	(63.1%)	2	50.0%	55	(62.5%)
職種別	看護師	74	100.0%	6	100.0%	80	100.0%						
	管理栄養士							47	56.0%	2	50.0%	49	55.7%
	栄養士							7	8.3%	1	25.0%	8	9.1%
	栄養教諭							8	9.5%	0	0.0%	8	9.1%
	上記以外							22	26.2%	1	25.0%	23	26.1%

〔進学状況〕

学科		看護学科				栄養学科					
性別		女子		男子		計	女子		男子		計
項目		数	割合	数	割合	数	進学希望者に対する割合	数	割合	数	進学希望者に対する割合
進学希望者数		9		1		10		—		—	
進学合格者数		9		1		10	100.0%	—		—	

5. 就職・進学状況

看護栄養学研究科就職状況（2020年5月1日現在）

〔就職希望者〕

所属		看護学専攻						栄養管理学専攻						看護栄養学研究科			
専攻		保健師コース		ホスピス緩和ケア看護学コース		成人看護学コース		計		博士前期課程		博士後期課程		計		合計	
項目		数	割合	数	割合	数	割合	数	修了者に対する割合	数	割合	数	割合	数	修了者に対する割合	数	修了者に対する割合
就職希望の有無	希望有りの者	6	75.0%	1	12.5%	1	12.5%	8	100.0%	—	—	—	—	—	—	8	100.0%
	希望無しの方	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	—	—	—	—	—	—	0	0.0%
計(修了者数)		6	75.0%	1	12.5%	1	12.5%	8	100.0%	—	—	—	—	—	—	8	100.0%

〔就職決定者〕

所属		看護学専攻						栄養管理学専攻						看護栄養学研究科			
専攻		保健師コース		ホスピス緩和ケア看護学コース		成人看護学コース		計		博士前期課程		博士後期課程		計		合計	
項目		数	割合	数	割合	数	割合	数	就職希望者に対する割合	数	割合	数	割合	数	修了者に対する割合	数	就職希望者に対する割合
就職者数/決定率		5	83.3%	1	100.0%	1	100.0%	7	87.5%	—	—	—	—	—	—	7	87.5%

〔地域別決定者〕

所属		看護学専攻						栄養管理学専攻						看護栄養学研究科			
専攻		保健師コース		ホスピス緩和ケア看護学コース		成人看護学コース		計		博士前期課程		博士後期課程		計		合計	
項目		数	割合	数	割合	数	割合	数	就職者に対する割合	数	割合	数	割合	数	修了者に対する割合	数	就職者に対する割合
地域別	道外	2	40%	0	0%	0	0%	2	28.6%	—	—	—	—	—	—	2	28.6%
	道内	3	60%	1	100%	1	100%	5	71.4%	—	—	—	—	—	—	5	71.4%
	市内(再掲)	1	(20.0%)	1	(100.0%)	1	(100.0%)	3	(42.9%)	—	—	—	—	—	—	3	(42.9%)

5. 就職・進学状況

助産研究科就職状況（2020年5月1日現在）

〔就職希望者〕

分野		助産基礎分野	助産教育分野	計	卒業者に 対する割合
就職希望 の有無	希望有りの者	13	1	14	100.0%
	希望無しの者	0	0	0	0.0%
計(修了者数)		13	1	14	100.0%

〔就職決定者〕

分野	助産基礎分野	助産教育分野	計	就職者に 対する割合
決定数/決定率	13	1	14	100.0%

〔地域別・就職別決定者〕

分野		助産基礎分野	助産教育分野	計	就職者に 対する割合
地域別	道外	4	0	4	28.6%
	道内	9	1	10	71.4%
	市内(再掲)	6	1	7	(50.0%)
職種別	助産師	13	1	14	100.0%
	教員	0	0	0	0.0%
	上記以外	0	0	0	0.0%

2019年度求人件数・人数（2020年3月31日現在）

〔看護職〕

職 種	件 数				人 数			
	(市内)	道内	道外	件数合計	(市内)	道内	道外	人数合計
看護師	40	104	215	319	896	1,686	10,972	12,658
保健師	7	169	29	198	26	313	158	471
助産師	10	43	101	144	26	124	688	812
計	57	316	345	661	948	2,123	11,818	13,941

〔栄養士職〕

職 種	件 数				人 数			
	(市内)	道内	道外	件数合計	(市内)	道内	道外	人数合計
栄養士	50	70	47	117	687	708	3,488	4,196
管理栄養士	53	130	72	202	677	768	3,622	4,390
栄養教諭	0	6	4	10	0	10	58	68
食品衛生監視員	4	5	1	6	4	5	20	25
その他 保健医療従事者	6	21	4	25	60	150	143	293
計	113	232	128	360	1,428	1,641	7,331	8,972

〔一般職・その他〕

職 種	件 数				人 数			
	(市内)	道内	道外	件数合計	(市内)	道内	道外	人数合計
一般	80	157	130	287	1,232	2,031	6,746	8,777

合計	250	705	603	1,308	3,608	5,795	25,895	31,690
----	-----	-----	-----	-------	-------	-------	--------	--------

注1 (市内)は道内の内数

注2 若干名は3とカウントする

注3 保健師・助産師求人数は人数を明記してある場合以外は3とカウントする

* ()内は昨年度の数字です

6. 2020年度入試結果

看護栄養学部

◆看護学科

試験種別	定員(名)	志願者数		受験者数		合格者数		入学者数		倍率(受/合)
指定校推薦	40	6	(5)	6	(5)	6	(5)		(5)	1.0
公募制推薦		59	(46)	59	(46)	36	(35)		(35)	1.6
社会人	40	3	(3)	3	(3)	1	(0)		(0)	3.0
一般		287	(289)	285	(285)	60	(94)		(46)	4.8
センター利用	20	150	(180)	150	(180)	28	(28)		(10)	5.4
総計	100	505	(523)	503	(519)	131	(162)	0	(96)	

◆栄養学科

試験種別	定員(名)	志願者数		受験者数		合格者数		入学者数		倍率(受/合)
指定校推薦	42	5	(3)	5	(3)	5	(3)		(3)	1.0
公募制推薦		35	(51)	35	(51)	34	(39)		(39)	1.0
社会人	33	0	(1)	0	(1)	0	(0)		(0)	-
一般		73	(69)	73	(69)	48	(44)		(37)	1.5
センター利用	10	52	(52)	52	(52)	12	(12)		(10)	4.3
総計	85	165	(176)	165	(176)	99	(98)	0	(89)	

大学院 看護栄養学研究科

◆看護学専攻

試験種別	定員(名)	志願者数		受験者数		合格者数		入学者数		倍率(受/合)
推薦	14	1	(3)	1	(2)	1	(2)		(2)	1.0
一般前期		3	(7)	3	(7)	2	(5)		(5)	1.5
一般後期		2	(3)	2	(3)	2	(3)		(3)	1.0
精神看護CNS		0	(1)	0	(1)	0	(1)		(1)	0.0
総計	14	6	(14)	6	(13)	5	(11)	0	(11)	

◆栄養管理学専攻 博士前期課程

試験種別	定員(名)	志願者数		受験者数		合格者数		入学者数		倍率(受/合)
一般前期	3	0	(2)	0	(2)	0	(1)	0	(1)	-
一般後期		1	(3)	1	(2)	0	(1)		(1)	0.0
総計	3	1	(5)	1	(4)	0	(2)	0	(2)	

◆栄養管理学専攻 博士後期課程

試験種別	定員(名)	志願者数		受験者数		合格者数		入学者数		倍率(受/合)
一般前期	2	1	(0)	1	(0)	1	(0)		(0)	1.0
一般後期		1	(0)	1	(0)	1	(0)		(0)	1.0
総計	2	2	(0)	2	(0)	2	(0)	0	(0)	

大学院 助産研究科

試験種別	定員(名)	志願者数		受験者数		合格者数		入学者数		倍率(受/合)	
基礎分野	推薦	10	14	(11)	13	(10)	11	(10)		(10)	1.2
	前期一般	15	12	(10)	12	(9)	8	(8)		(8)	1.5
	前期社会人		2	(2)	1	(2)	0	(1)		(1)	-
	後期一般	5	2	(2)	2	(2)	1	(2)		(1)	2.0
	後期社会人		3	(0)	3	(0)	1	(0)		(0)	-
分教 野育	前期	10	1	(2)	1	(2)	0	(2)		(2)	-
	後期		1	(0)	1	(0)	0	(0)		(0)	-
総計	40	35	(27)	33	(25)	21	(23)	0	(22)		

7. 教員組織

教員組織一覽

(2019年5月1日現在)

所 属		教授	准教授	講師	助教	助手	計
大学院	助産研究科	7人	0人	1人	2人	0人	10人
	兼任教員(非常勤講師)	—	—	—	—	—	27人
看護栄養学部	看護学科	8人	6人	8人	10人	0人	32人
	栄養学科	6人	5人	6人	1人	4人	22人
	教養教育科	5人	2人	0人	0人	0人	7人
	計	19人	13人	14人	11人	4人	61人
	兼任教員(非常勤講師)	—	—	—	—	—	91人
合計		26人	13人	15人	13人	4人	189人

専任教員年齢構成

(2019年5月1日現在)

所属	職位	71歳以上	66歳～70歳	61歳～65歳	56歳～60歳	51歳～55歳	46歳～50歳	41歳～45歳	36歳～40歳	31歳～35歳	26歳～30歳	25歳以下	計
助産研究科	教授	1	3	4	2	1	0	0	0	0	0	0	11
		9.1%	27.3%	36.4%	18.2%	9.1%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100%
	准教授	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	講師	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1
		0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	助教	0	0	0	0	1	0	1	1	0	0	0	3
		0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	33.3%	0.0%	33.3%	33.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	計	1	3	4	2	3	0	1	1	0	0	0	15
		6.7%	20.0%	26.7%	13.3%	20.0%	0.0%	6.7%	6.7%	0.0%	0.0%	0.0%	100%
助手	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
小計	1	3	4	2	3	0	1	1	0	0	0	15	
	6.7%	20.0%	26.7%	13.3%	20.0%	0.0%	6.7%	6.7%	0.0%	0.0%	0.0%	100%	
看護栄養学部・看護栄養学研究科	教授	1	9	6	0	2	1	0	0	0	0	0	19
		5.3%	47.4%	31.6%	0.0%	10.5%	5.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100%
	准教授	0	0	1	2	6	2	1	0	0	0	0	12
		0.0%	0.0%	8.3%	16.7%	50.0%	16.7%	8.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100%
	講師	0	0	0	2	4	2	5	1	0	0	0	14
		0.0%	0.0%	0.0%	14.3%	28.6%	14.3%	35.7%	7.1%	0.0%	0.0%	0.0%	100%
	助教	0	0	0	0	3	2	3	3	0	0	0	11
		0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	27.3%	18.2%	27.3%	27.3%	0.0%	0.0%	0.0%	100%
	計	1	9	7	4	15	7	9	4	0	0	0	56
		1.8%	16.1%	12.5%	7.1%	26.8%	12.5%	16.1%	7.1%	0.0%	0.0%	0.0%	100%
助手	0	0	0	0	0	0	0	0	3	1	0	4	
	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	75.0%	25.0%	0.0%	100%	
小計	1	9	7	4	15	7	9	4	3	1	0	60	
	1.7%	15.0%	11.7%	6.7%	25.0%	11.7%	15.0%	6.7%	5.0%	1.7%	0.0%	100%	
合計	2	12	11	6	18	7	10	5	3	1	0	75	
	2.7%	16.0%	14.7%	8.0%	24.0%	9.3%	13.3%	6.7%	4.0%	1.3%	0.0%	100%	

※定年：65歳

教員の任免・昇任者一覧

(2020年3月31日現在)

学科・科	採用者					昇任者		退職者				
	教授	准教授	講師	助教	助手	講師から 准教授	助教から 講師	教授	准教授	講師	助教	助手
助産研究科	0人	0人	0人	1人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	1人	0人
看護学科	0人	0人	1人	2人	0人	0人	1人	2人	1人	0人	1人	0人
栄養学科	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	1人	0人	0人	0人	2人
教養教育科	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	1人	0人	0人	0人	0人
計	0人	0人	1人	3人	0人	0人	1人	4人	1人	0人	2人	2人

8. 事務組織

(2019年6月1日現在)

区分	部門	専任職員		常勤嘱託 職 員	臨時職員	派遣職員	そ の 他	計
			うち管理職					
法人 業務系	事務局長	0	0	1	0	0	0	1
	参与	0	0	0	0	0	0	0
		0	0	0	0	0	0	0
	計	0	0	1	0	0	0	1
大学 業務系	総務課	3	0	5	0	0	1	9
	学務課	6	1	4	1	0	2	13
	図書情報課	4	1	3	0	0	0	7
	財務室	3	1	2	1	0	5	11
	入試・広報室	3	1	1	0	0	0	4
	計	19	4	15	2	0	8	44
合 計		19	4	16	2	0	8	45

9. 研究等の活動

独立行政法人日本学術振興会 科学研究費助成事業（代表者）の採択状況

		種別	研究代表者	研究課題
1	継続	基盤研究(C)	松下 真美	ω3脂肪酸のヒト褐色脂肪に対する作用とその抗メタボ効果
2	継続	基盤研究(C)	田中 さおり	SGA性低身長症児と家族のGH療法をシームレスに支える看護支援プログラムの開発
3	継続	基盤研究(C)	中田 かおり	正期産期の血圧の安定につながる妊婦の水とくらしに関する研究
4	継続	基盤研究(C)	吉田 礼維子	住民の視点による介護予防システムの評価指標の開発と有用性の検討
5	継続	若手研究	高桑 暁子	離乳食の新しい指標としてのαディフェンシンによる腸内細菌叢制御の解明
6	新規	基盤研究(C)	小澤 涼子	女性新規就農者が健康を獲得するプロセスの解明と健康増進プログラムの開発
7	新規	若手研究	伊藤 治幸	酸化ストレスマーカーを指標としたdaily hasslesの実態と評価
8	新規	若手研究	船木 沙織	原爆傷害調査委員会が実施した遺伝学調査における助産婦の活動

特別研究費の助成状況

		種別	研究代表者	研究課題
1		特別研究費	伊藤 治幸	日常生活習慣の程度が精神的ストレスに及ぼす影響
2		特別研究費	大野 和美	成人看護学臨地実習における看護過程展開の検討 -短期入院の患者を対象とした効果的な学習プログラムの作成-
3		特別研究費	船木 沙織	北海道の農村地域における産後の養生 ～訪問型看護ケアによるアプローチから～
4		特別研究費	小島 有沙	介護施設におけるスキン-ケア発生の実態と関連要因の検討
5		特別研究費	中洞 真理子	模擬患者 (Simulated Patient) 養成と模擬患者を導入した演習の効果
6		特別研究費	福田 早織	手術室看護師の実践経験と勤務継続に関する実態調査 -手術室看護師の勤務継続と専門性獲得に向けた支援モデルの構築に向けて-
7		特別研究費	横山 聖美	バイタルサイン測定の技術習得に向けた教授方略の開発 -リフレクションサイクルモデルの活用-

受託研究等

	種別	代表者	担当者	研究・事業名
1	奨学寄付	鈴木 純子	—	天使大学看護栄養学部栄養学科および看護栄養学研究科栄養管理学専攻における教育研究の発展の寄与に対する助成
2	受託研究	鈴木 純子	—	鰹だし汁のヒト介入試験による機能的評価
3	受託研究	松下 真美	—	ポリフェノールによるヒト褐色脂肪活性化に関する研究

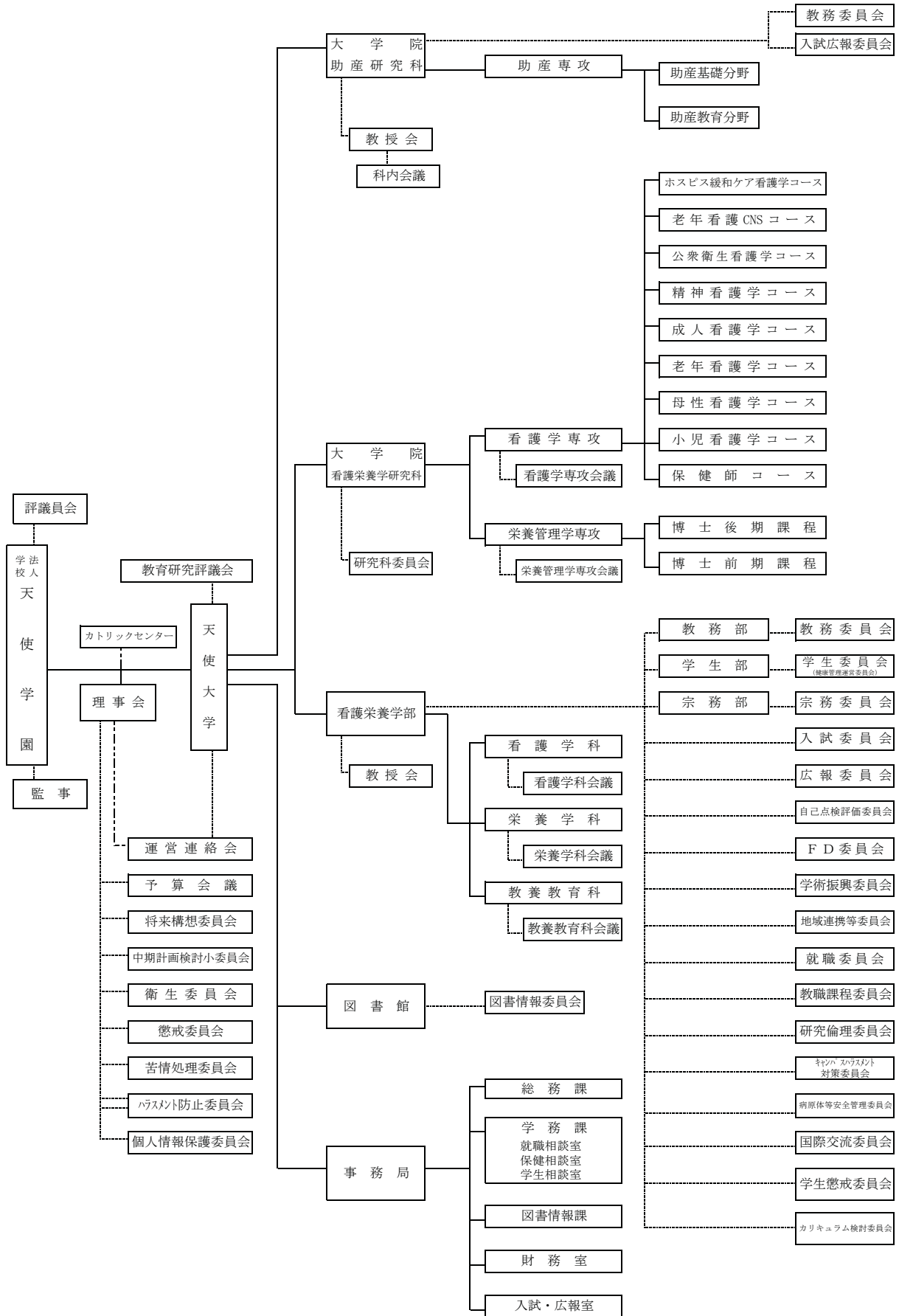
その他の活動

分類	活動内容

10. 組織図

学校法人天使学園 管理運営組織図

天使大学大学院 助産研究科
 天使大学大学院 看護栄養学研究科
 天使大学 看護栄養学部



11. 会議の開催状況

看護栄養学部教授会

開催日時	出席人数	議 案 名
臨時 4月1日(月) 13:30	17名	審議事項 1 アドミッション・ポリシーの一部改正(案)について 2 募集人員の一部改正(案)について 報告事項 1 2019年度一般入学試験及び大学入試センター試験利用入学試験における追加合格について 意見聴取事項 なし
第1回 4月9日(火) 17:25	18名	審議事項 なし 報告事項 1 2019年度校務分掌・委員会一覧について 2 2019年度学校医(内科医・精神神経科医)について 3 2019年度科学研究費助成事業の交付状況について 4 休学・復学・退学の許可について 5 2019年度天使祭正面玄関前駐車場スペースへの模擬店テントの設置について 6 2019年度アッセンブリー・アワーの実施について 7 2019年度イースターの集い、毎週のミサについて 8 2020年度入学試験日程の一部変更について 9 2019年度からの教員間の授業参観実施について 10 2018年度1年生及び編入3年生の英語力の変化及び2017年度との比較について 11 2019年度事業計画及び予算について 12 危機管理基本マニュアル(案)について 意見聴取事項 なし
第2回 5月16日(木) 16:50	15名	審議事項 1 2019年度既修得単位の認定・単位授与について 2 2019年度非常勤講師の委嘱について 3 2020年度学生募集要項について 4 デイプロマ・ポリシーおよびカリキュラム・ポリシーについて 報告事項 1 食品衛生管理者及び食品衛生監視員任用資格に係る登録

		<p>名称の変更について</p> <p>2 休学の許可および除籍について</p> <p>3 2019年度新入学生に対する入学直後の学力について</p> <p>4 2019年度葦の会役員、部活動団体について</p> <p>5 2019年度天使祭について</p> <p>6 入試種別と通算GPAとの相関について</p> <p>7 2019年度天使大学・北海道科学大学連携公開講座について</p> <p>8 在籍者数（2019年5月1日現在）について</p> <p>意見聴取事項</p> <p>1 天使大学学則の一部改正について</p>
<p>第3回</p> <p>6月11日(火)</p> <p>17:08</p>	16名	<p>審議事項</p> <p>1 2019年度既修得単位の認定・単位授与について</p> <p>2 2019年度海外研修旅行の実施について</p> <p>報告事項</p> <p>1 2019年度教員免許状更新講習の実施について</p> <p>2 学業成績優秀者奨励金の対象者について</p> <p>3 教員の退職について</p> <p>意見聴取事項</p> <p>1 教員の採用に係る募集大綱について</p>
<p>第4回</p> <p>7月9日(火)</p> <p>17:23</p>	16名	<p>審議事項</p> <p>なし</p> <p>報告事項</p> <p>1 天使大学研究活動における不正行為の防止及び対応に関する規程の一部改正について</p> <p>2 2019年度特別研究費の採択について</p> <p>3 研究費で支出する際の決裁方法について</p> <p>4 2019年度第1回FD研修会について</p> <p>5 収容定員の増加に係る学則変更認可申請の審査結果について</p> <p>意見聴取事項</p> <p>1 教員の採用に係る募集大綱について</p>
<p>第5回</p> <p>9月10日(火)</p> <p>17:19</p>	15名	<p>審議事項</p> <p>1 2019年度既修得単位の認定・単位授与について</p> <p>2 2019年度非常勤講師の委嘱変更について</p> <p>3 天使大学看護栄養学部履修規程の一部改正について</p> <p>報告事項</p> <p>1 2020年度人事方針について</p> <p>2 教員の退職について</p> <p>3 高等教育の修学支援新制度について</p> <p>4 休学・復学・退学の許可について</p> <p>5 2019年度Food and Life Step-up Ceremonyの実施について</p>

		6 インターンシップの取扱いについて 7 2019 年度後期宗務行事予定について 8 2019 年 9 月以降の学生相談室の体制について 9 災害危機管理マニュアルの作成について 10 教員の採用について 意見聴取事項 1 2020 年度人事方針等に基づく教員募集大綱について 2 天使大学学則の一部改正について
第 6 回 10月 8 日(火) 16:56	15 名	審議事項 1 2021 年度入学者選抜日程について 2 北海道胆振東部地震、平成 30 年 7 月豪雨および熊本地震で被災した 2020 年度入学志願者等の検定料、入学金、授業料の減免について 3 履修規程の一部改正について 報告事項 1 無期停学処分学生の停学処分解除について 2 2020 年度以降の授業評価アンケート実施要項（案）について 3 教科書の複製・プリント授業等に関するお願いについて 4 天使学園中期計画の策定について 5 アッセンブリー・アワーの見直しについて 6 助産研究科近藤教授「プリンセス・シーナカリン賞」の受賞及び祝賀会の開催について 意見聴取事項 1 教員採用に係る教員募集大綱について
第 7 回 11 月 12 日 (火) 16:40	17 名	審議事項 1 教職課程履修規程の一部改正について 2 履修規程の一部改正について 3 2019 年度非常勤講師の委嘱変更について 4 2020 年度非常勤講師の委嘱について 5 令和元年台風第 19 号で被災した 2020 年度入学志願者等の検定料、入学金、授業料の減免について 報告事項 1 2019 年度教職員修養会について 2 2019 年度クリスマス関連行事の予定について 3 栄養学科入学定員増加変更承認申請にかかる広報活動及び入学試験の対応について 4 天使大学 2021 年度大学入学共通テスト 2 科目方式（英語外部試験利用）について 5 教育の質に係る客観的指標調査について 6 休学の許可について 7 2019 年度戴帽式の実施について

		8 天使病院との連携協力について 9 稟議書様式の変更及び起案者の変更について 10 2020年度アッセンブリー・アワーの実施方法について 意見聴取事項 1 天使大学学則の一部改正について 2 教員の採用に係る募集大綱について
臨時 11月20日 (水) 17:00	16名	審議事項 1 2020年度推薦入学試験及び社会人入学試験における合否判定について 2 2021年度大学入学共通テストにおける(英語外部試験利用)2科目方式及び国語記述式問題活用の見送りについて 報告事項 なし 意見聴取事項 なし
臨時 11月21日 (木)11:00～ 11月22日 (金)15:00 書面会議	17名	審議事項 なし 報告事項 なし 意見聴取事項 1 教員の採用に係る募集大綱について
第8回 12月10日 (火) 16:58	16名	審議事項 1 教職課程委員会規程の一部改正について 2 履修規程の一部改正について 3 2020年度非常勤講師の委嘱について 4 2020年度学事暦について 報告事項 1 教員の採用及び雇用契約更新について 2 教職課程における質保証に係る対応について 3 専任教員の新規授業科目の担当について 4 ナンバリングの設定及びシラバスの書式変更について 5 復学する学生の適用カリキュラムの変更について 6 2019年度自己点検・評価報告書の作成について 7 2019年度教職員修養会をSD研修会に位置付けることについて 8 2019年度教職員説明会をSD研修会に位置付けることについて 9 教員の個人研究費の見直しについて 10 天使大学開学20周年記念事業の概要について 意見聴取事項 なし

<p>第9回 1月14日(火) 16:58</p>	<p>17名</p>	<p>審議事項</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 2020年度非常勤講師の委嘱・取消および訂正について 2 2021年度入学式日程等について <p>報告事項</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 教員の採用及び昇任について 2 2019年度2・3月の宗務行事予定について 3 カトリックセンターのカトリック司祭の就任について 4 2019年度海外研修旅行の実施について 5 2019年度特別研究費による研究報告会の開催について 6 専任教員の新規授業科目の担当について 7 教員の個人研究費の見直しに関する意見について 8 学校法人天使学園中期計画素案について 9 研究室の教員配置について <p>意見聴取事項</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 教員の採用に係る募集大綱について
<p>第10回 2月12日(水) 16:46</p>	<p>17名</p>	<p>審議事項</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 障害学生支援基本方針、障害学生支援規程等の制定について 2 学生に関する事件・事故・不祥事等 危機管理個別マニュアルについて 3 2020年度非常勤講師の委嘱・取消について <p>報告事項</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 ナンバリング大分類「学部看護学科」「学部栄養学科」の英語3文字表記の変更について 2 教育の質に係る客観的指標調査への対応について 3 専任教員の新規授業科目の担当について 4 2019年度大学説明会の開催について 5 2019年度第2回FD研修会について 6 2019年度卒業証書・学位記授与式実施要領について 7 復学の許可について 8 2020年度入学者（看護栄養学部）に対する入学金・授業料等の猶予について 9 教育研究費の見直しに関する修正案について 10 中期計画に関する学長アンケート結果及び計画策定の進捗状況について 11 カトリックセンターの司祭の業務について 12 新棟の説明会及び引越し予定について 13 2020年度の研究室の配置について <p>意見聴取事項</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 教員の採用に係る募集大綱について
<p>臨時 2月14日(金)</p>	<p>14名</p>	<p>審議事項</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 2020年度一般入学試験（栄養学科）の合否判定について

16:45		報告事項 1 個人情報記録されたUSBメモリの紛失について 意見聴取事項 なし
臨時 2月17日(月) 16:30	15名	審議事項 1 2020年度一般入学試験(看護学科)の合否判定について 報告事項 なし 意見聴取事項 なし
臨時 2月25日(火) 17:00	14名	審議事項 1 2020年度センター試験利用入学試験の合否判定について 2 2019年度卒業判定について 3 2019年度教職課程修了判定について 4 2020年度科目等履修生の受入れについて 報告事項 1 その他 1) 新型コロナウイルス感染症への対応について(研究科委員会と合同) 2) 出合いと親睦のゼミの実施について 意見聴取事項 なし
第11回 3月12日(木) 17:15	17名	審議事項 1 2019年度進級判定について 2 2020年度既修得単位の認定・単位授与について 3 新カリキュラムの英語表記について 4 履修規程の一部改正について 5 2020年度非常勤講師の委嘱・取消について 6 授業料未納に伴う除籍について 報告事項 1 障害学生支援基本方針、障害学生支援規程等の制定について 2 個人情報等の使用に関する同意書の運用について 3 学生に関する事件・事故・不祥事等 危機管理個別マニュアルについて 4 2020年度合唱コンクールの実施について 5 2020年度専任教員の新規授業科目の担当について 6 2019年度後期定期試験に関するトラブルについて 7 2019年度授業参観実施報告について 8 休学・復学・退学の許可について 9 2020年度入学式実施要領について 10 教員の採用辞退について 意見聴取事項

		なし
--	--	----

大学院看護栄養学研究科委員会

開催日時	出席人数	議 案 名
第1回 4月9日(火) 16:30	23名	<p>審議事項</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 休学による長期履修期間の変更について 2 2019年度看護栄養学研究科目標について 3 2019年度看護学専攻専任教員の新規担当科目について <p>報告事項</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 2019年度校務分掌・委員会一覧について 2 2019年度科学研究費助成事業の交付状況について 3 復学の許可について 4 2019年度看護栄養学研究科開講科目一覧について 5 専任教員の新規担当授業科目について 7 2019年度看護学専攻学位論文研究計画書の指導教員について 8 2019年度看護学専攻研究計画審査及び発表会の実施について 9 CNS学生の長期履修制度について 10 2019年度栄養管理学専攻博士前期課程新入学生の研究指導教員について 11 大学院生用下駄箱の取扱いについて <p>意見聴取事項 なし</p>
第2回 5月16日(木) 16:30	18名	<p>審議事項</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 2020年度学生募集要項について 2 アドミッション・ポリシーの変更について 3 2019年度非常勤講師の委嘱取消について 4 2019年度特別講師の委嘱について 5 2019年度看護学専攻学位論文研究計画書の審査について <p>報告事項</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 2018年度日本学生支援機構大学院第一種奨学金返還免除候補者について <p>意見聴取事項 なし</p>
第3回 6月11日(火) 16:30	17名	<p>審議事項</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 2019年度看護学専攻学位論文研究計画書の指導教員の変更及び追加について 2 看護学専攻授業料等の減免案について 3 2019年度非常勤講師の委嘱取消について <p>報告事項</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 休学の許可について

		<p>2 2019 年度栄養管理学専攻博士後期課程学位論文研究計画書について</p> <p>3 2019 年度栄養管理学専攻学位論文中間発表会の開催について</p> <p>4 院生研究室の配置の調整について</p> <p>5 SNSの使用に関する問題について</p> <p>意見聴取事項 なし</p>
<p>第4回 7月9日(火) 16:30</p>	21名	<p>審議事項</p> <p>1 2019 年度看護学専攻専任教員の新規授業科目担当について</p> <p>2 2019 年度非常勤講師の委嘱・変更・取消について</p> <p>3 2019 年度実習指導教員の委嘱について</p> <p>4 大学院看護栄養学研究科学則および履修規程の一部改正について</p> <p>報告事項</p> <p>1 天使大学研究活動における不正行為の防止及び対応に関する規程の一部改正について</p> <p>2 2019 年度特別研究費の採択について</p> <p>3 研究費で支出する際の決裁方法について</p> <p>4 天使大学大学院看護栄養学研究科看護学専攻博士後期課程認可申請の取下げについて</p> <p>意見聴取事項 なし</p>
<p>第5回 9月10日(火) 16:30</p>	23名	<p>審議事項</p> <p>1 2019 年度後期特別聴講学生の受入れについて</p> <p>2 2019 年度看護学専攻大学院生研究費の変更について</p> <p>3 2019 年度非常勤講師の新規委嘱および変更について</p> <p>4 2019 年度非常勤講師の委嘱取消について</p> <p>5 2019 年度実習指導教員の委嘱について</p> <p>報告事項</p> <p>1 2019 年9月以降の学生相談室の体制について</p> <p>意見聴取事項</p> <p>1 学生の懲戒について</p>
<p>臨時 9月25日(水) 17:30</p>	22名	<p>審議事項</p> <p>1 2020 年度看護栄養学研究科看護学専攻保健師コース推薦入学試験の可否判定について</p> <p>2 2019 年度看護学専攻科目担当者の変更について</p> <p>3 研究指導教員の変更について</p> <p>4 教育的配慮を要する学生に対する履修科目の配慮について</p> <p>5 2019 年度非常勤講師の委嘱・変更について</p> <p>報告事項</p> <p>1 その他</p>

		<p>1) 大学院看護学専攻の授業料減額について</p> <p>意見聴取事項 なし</p>
<p>第6回 10月8日(火) 16:30</p>	25名	<p>審議事項</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 2021年度入学者選抜日程について 2 2020年度看護学専攻精神看護CNSコース入学試験の実施について 3 2019年度非常勤講師の委嘱について 4 栄養管理学専攻の学費改定について <p>報告事項</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 学校教育施行規則及び大学院設置基準の一部を改正する省令の施行について <p>意見聴取事項 なし</p>
<p>臨時 10月23日(水) 16:30</p>	18名	<p>審議事項</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 2020年度看護栄養学研究科一般入学試験(前期)の合否判定について 2 2019年度学位論文関連スケジュールについて④2020年度入学試験日程について <p>報告事項 なし</p> <p>意見聴取事項 なし</p>
<p>第7回 11月12日(火) 16:30</p>	22名	<p>審議事項</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 2019年度学位論文提出予定者の主査及び副査について 2 教職課程履修規程の一部改正について <p>報告事項 なし</p> <p>意見聴取事項 なし</p>
<p>第8回 12月10日(火) 16:30</p>	22名	<p>審議事項</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 2019年度学位論文発表会(保健師コース)の開催について 2 2019年度学位論文提出予定者の副査の変更について 3 2020年度からの大学院生の研究費について 4 2020年度学事暦(案)について 5 長期履修学生の履修期間変更について 6 2020年度非常勤講師の委嘱について <p>報告事項 なし</p> <p>意見聴取事項 なし</p>

第9回 1月14日(火) 16:30	27名	<p>審議事項</p> <p>1 2020年度からの栄養管理学専攻大学院生(博士前期課程)の研究費について</p> <p>報告事項</p> <p>大学院看護栄養学研究科授業料等の減額措置について</p> <p>意見聴取事項 なし</p>
臨時 1月28日(火) 16:30	20名	<p>審議事項</p> <p>1 2020年度看護栄養学研究科一般入学試験(後期)の可否判定について</p> <p>2 2019年度学位論文発表会(ホスピス緩和ケア看護学コース、成人看護学コース)の開催について</p> <p>報告事項</p> <p>なし</p> <p>意見聴取事項</p> <p>なし</p>
第10回 2月12日(水) 16:30	25名	<p>審議事項</p> <p>1 2019年度長期履修学生申請の許可について</p> <p>2 2020年度非常勤講師の委嘱・取消について</p> <p>報告事項</p> <p>1 精神看護CNSコースの認定について</p> <p>2 復学の許可についてなし</p> <p>意見聴取事項</p> <p>なし</p>
臨時 2月14日(金) 16:30	23名	<p>審議事項</p> <p>なし</p> <p>報告事項</p> <p>1 個人情報記録されたUSBメモリの紛失について</p> <p>意見聴取事項</p> <p>なし</p>
臨時 2月25日(火) 16:30	22名	<p>審議事項</p> <p>1 2019年度修了判定について</p> <p>2 2020年度長期履修学生申請の許可について</p> <p>3 2019年度自己点検・評価報告書(案)について</p> <p>4 2020年度非常勤講師の委嘱について</p> <p>5 その他</p> <p>1) 看護栄養学研究科に関わる中期計画について</p> <p>報告事項</p> <p>1 2019年度看護栄養学研究科学位論文審査報告書について</p> <p>2 その他</p> <p>1) 新型コロナウイルス感染症への対応について</p> <p>意見聴取事項</p>

		なし
第11回 3月12日(木) 16:30	24名	<p>審議事項</p> <p>1 2020年度非常勤講師の委嘱・変更・取消について</p> <p>報告事項</p> <p>1 2020年度学事暦の修正について</p> <p>2 2020年度看護栄養学研究科開講科目一覧について</p> <p>3 2020年度栄養管理学専攻専任教員の新規担当科目について</p> <p>意見聴取事項</p> <p>1 客員教授の推薦について</p> <p>2 学生の懲戒について</p>

大学院助産研究科教授会

開催日時	出席人数	議 案 名
第1回 4月10日(水) 16:30	8名	<p>審議事項</p> <p>1 助産研究科兼任教員について</p> <p>報告事項</p> <p>1 2019年度助産研究科構成員について</p> <p>2 2019年度校務分掌・委員会一覧について</p> <p>3 日本助産評価機構評価結果について</p> <p>4 2019年度科学研究費助成事業の交付状況について</p> <p>5 休学の許可について</p> <p>6 2019年度学校医（内科医・精神神経科医）について</p> <p>7 2019年度イースターの集い、毎週のミサについて</p> <p>8 2019年度からの教員間の授業参観実施について</p> <p>9 大学院生用下駄箱の取扱いについて</p> <p>10 2019年度事業計画及び予算について</p> <p>11 危機管理基本マニュアル（案）について</p> <p>意見聴取事項</p> <p>なし</p>
第2回 5月15日(水) 16:30	9名	<p>審議事項</p> <p>1 2020年度学生募集要項について</p> <p>報告事項</p> <p>1 2018年度日本学生支援機構大学院第一種奨学金返還免除候補者について</p> <p>2 在籍者数（2019年5月1日現在）について</p> <p>意見聴取事項</p> <p>なし</p>

第3回 6月12日(水) 15:00	6名	審議事項 1 マダガスカル国際助産学実習終了に伴うお礼(寄付)について 報告事項 なし 意見聴取事項 なし
第4回 7月17日(水) 15:05	8名	審議事項 なし 報告事項 1 2019年度国際助産学実習について 2 天使大学研究活動における不正行為の防止及び対応に関する規程の一部改正について 3 2019年度特別研究費の採択について 4 研究費で支出する際の決裁方法について 5 2019年度第1回FD研修会について 意見聴取事項 なし
第5回 9月11日(水) 16:35	6名	審議事項 1 2019年度助産教育分野の修了判定について 2 助産研究科教授会構成員について 報告事項 1 2020年度人事方針について 2 復学の許可について 3 2019年度後期宗務行事予定について 4 2019年9月以降の学生相談室の体制について 意見聴取事項 1 2020年度人事方針等に基づく教員募集大綱について
臨時 9月25日(水) 15:02	8名	審議事項 1 2020年度助産基礎分野推薦入学試験の合否判定について 報告事項 なし 意見聴取事項 なし

<p>第6回 10月9日(水) 16:29</p>	<p>6名</p>	<p>審議事項 1 2021年度入学者選抜日程について</p> <p>報告事項 1 2020年度以降の授業評価アンケート実施要項(案)について 2 学内LAN掲示板における大学行事の表記について 3 教科書の複製・プリント授業等に関するお願いについて 4 天使学園中期計画の策定について 5 アッセンブリー・アワーの見直しについて 6 近藤教授「プリンセス・シーナカリン賞」の受賞及び祝賀会の開催について</p> <p>意見聴取事項 なし</p>
<p>臨時 10月23日(水) 15:00</p>	<p>10名</p>	<p>審議事項 1 2020年度助産研究科前期入学試験の合否判定について 2 2021年度入学者選抜日程について 3 教育課程連携協議会の設置について</p> <p>報告事項 1 認証評価に対する改善報告書の提出について</p> <p>意見聴取事項 1 教員の採用に係る募集大綱について</p>
<p>第7回 11月13日(水) 15:02</p>	<p>10名</p>	<p>審議事項 1 天使大学大学院助産研究科臨床専任教員内規の一部変更について</p> <p>報告事項 1 教員の退職について 2 2019年度教職員修養会について 3 2019年度クリスマス関連行事の予定について 4 天使病院との連携協力について</p> <p>意見聴取事項 1 教員の採用に係る募集大綱について</p>
<p>第8回 12月11日(水) 15:00</p>	<p>11名</p>	<p>審議事項 1 その他 1) 教員の採用に係る書類提出期限の延長について</p> <p>報告事項 1 2019年度自己点検・評価報告書の作成について 2 2019年度教職員修養会をSD研修会に位置付けることについて 3 2019年度教職員説明会をSD研修会に位置付けることについて</p>

		て 4 教員の個人研究費の見直しについて 5 天使大学開学20周年記念事業の概要について 意見聴取事項 なし
第9回 1月29日(水) 15:00	8名	審議事項 1 2020年度助産研究科入学試験(後期)の合否判定について 2 2021年度入学式日程等について 3 2020年度天使大学大学院助産研究科学事暦(案)について 4 2020年度非常勤講師の委嘱について 報告事項 1 2019年度2・3月の宗務行事予定について 2 教員の雇用契約更新について 3 助産研究科専任教員の採用及び昇任の選考に関わる評価方法について 意見聴取事項 なし
第10回 2月19日(水) 17:00	11名	審議事項 1 障害学生支援基本方針、障害学生支援規程等の制定について 報告事項 1 2019年度第2回FD研修会について 2 2019年度卒業証書・学位記授与式実施要領について 3 教育研究費の見直しに関する修正案について 4 中期計画に関する学長アンケート結果及び計画策定の進捗状況について 5 カトリックセンターの司祭の業務について 6 新棟の説明会及び引越し予定について 7 2020年度の研究室の配置について 意見聴取事項 1 臨床専任教員の雇用契約更新について
臨時 2月26日(水) 16:28	8名	審議事項 1 2019年度助産基礎分野の修了判定について 報告事項 1 その他 1) 新型コロナウイルス感染症の対策について 意見聴取事項 1 教員の採用に係る募集大綱について
第11回	10名	審議事項

<p>3月17日(火) 16:33</p>		<p>1 2020年度授業科目開講期の一部変更について</p> <p>報告事項</p> <p>1 2019年度授業参観実施報告について</p> <p>2 2020年度授業科目担当者について</p> <p>3 障害学生支援基本方針、障害学生支援規程等の制定について</p> <p>4 個人情報等の使用に関する同意書の運用について</p> <p>5 学生に関する事件・事故・不祥事等 危機管理個別マニュアルについて</p> <p>6 2020年度合唱コンクールの実施について</p> <p>7 退学の許可について</p> <p>意見聴取事項</p> <p>1 教育課程連携協議会規程の制定について</p> <p>2 客員教授の推薦について</p> <p>3 教員配置について</p>
---------------------------	--	---

12. 委員会構成一覽

2019年度校務分掌 委員会一覽

2019.10.01現在

教育研究評議会	学長、副学長、看護栄養学研究科長、助産研究科長、看護学科長、栄養学科長、教養教育科長、図書館長、宗務部長、教務部長、学生部長、事務局長
---------	---

【看護栄養学部関係】

◎看護学科長：吉田礼維子 ◎栄養学科長：山口敦子 ◎教養教育科長：川口雄一

学部教授会	学長、副学長、看護学科：吉田(礼)・蝦名・小澤(芳)・菅原・中田・山本、栄養学科：山口・菊池・進藤・山部、教養教育科：川口・新井・鹿内・田島・堀井
-------	---

区分	委員会名	委員長	委員	人数	任期	事務局
常設委員会	教務委員会	教務部長	教務部長：川口、看護学科長、栄養学科長、(教養教育科長)、教職課程委員長、看護：木津、栄養：吉田(真)、教養：小原	8	2年	学務課
	学生委員会 (健康管理運営委員会)	学生部長	学生部長：菊池、看護：柴田・船木、栄養：岩淵・長谷川、教養：目時 (健康管理運営委員会構成員) 学生委員会委員+助産研究科教務委員会委員長	6	2年	学務課
	宗務委員会	宗務部長	宗務部長：近藤、司祭：スレイマン、看護：重岡・田中(裕)、 栄養：金澤・高桑、教養：堀井、助産：三浦、事務局：菊池	9	2年	学務課
	図書情報委員会	図書館長	図書館長：高木、看護：小澤(涼)、伊織、栄養：清水・志賀、 教養：目時、助産：三浦、図書情報課長：平野	8	2年	図書情報課
	入試委員会	山本	看護学科長、栄養学科長、教養教育科長、看護：大野、栄養：金澤、 教養：(川口)、入試・広報室長：鈴木(敏)	7	2年	入試・ 広報室
	広報委員会	菅原	看護：菅原・伊藤・若山、栄養：峯岸・松下、教養：田島、 入試・広報室長：鈴木(敏)	7	2年	入試・ 広報室
	自己点検評価委員会	進藤	看護栄養学研究科長、助産研究科長、看護学科長、栄養学科長、 教養教育科長、看護：高木、栄養：山部、教養：(川口)、 助産：本宿、事務局長：岩間、学長指名：菅原	10	2年	総務課
	FD委員会	中田	看護：中田・田中(さ)、栄養：岡部、教養：鹿内、 助産：津田、副学長：高木	6	2年	総務課
	学術振興委員会	堀井	看護：高橋、栄養：西、教養：堀井、助産：本宿	4	2年	図書 情報課
	地域連携等委員会	小澤(芳)	看護：小澤(芳)・小澤(涼)、栄養：長谷川、教養：小原、 助産：今崎	5	2年	学務課
	就職委員会	清水	看護：前田、栄養：清水・岡部、教養：新井	4	2年	学務課
	教職課程委員会	新井	教職科目担当：山部、鹿内、新井、岩淵、松下	5	2年	学務課
	研究倫理委員会	堀井	助産研究科長：本宿、看護栄養学研究科長：進藤 学長指名：鈴木、堀井、岩間、[学外：小野滋男、久々湊晴夫]	8	2年	財務室
	キャンパス・ハラスメント 対策委員会	蝦名	学生部長：菊池、看護：蝦名、栄養：山部、教養：田島、助産：本宿、 事務局長：岩間、職員：平野	7	2年	総務課
	病原体等安全管理委員会	菊池	専門：菊池・岩淵、感染予防：武蔵、学校医：西村	4	2年	財務室
	国際交流委員会	学長	学長、教務部長：川口、学生部長：菊池、 栄養：志賀、看護：臺野、教養：川口、看栄研：鈴木、助産：津田、 事務局長：岩間、学長指名：看護 高木	9	2年	総務課
特設	学生懲戒委員会	その都度	学生部長、看護： 、栄養： 、教養： 、助産：	5	2年	学務課
時限	カリキュラム検討委員会	武蔵	学長、看護学科長：吉田(礼)、栄養学科長：山口、 教養教育科長(教務部長)：川口、学務課：白石、 学長指名：看護 高木・菅原・大野、栄養 吉田(真)、教養 目時	10	2年	学務課

名 称	構 成 員
看護:学生支援教員	1年:○木津、小澤(芳)、高橋、船木、新関、重岡、福田、井口 2年:○伊藤、中田、柴田、秋山、横山、小島 3年:○臺野、前田、伊織、小澤(涼)、中洞、田中(裕) 4年:○佐々木、蝦名、大野、若山、田中(さ)
栄養:学生支援教員	1年:○西、岡部、峯岸、高桑、金 2年:○長谷川、菊池、山部、松下、竹中 3年:○金澤、進藤、鈴木、金野 4年:○吉田(真)、志賀、清水、岩淵、坂野 ※ ○はリーダー(看護・栄養共通)

名 称	リーダー	構 成 員
ヘルスケア実践開発プロジェクト	佐々木	看護:佐々木・小島 栄養:山口・長谷川・高桑 助産:今崎

名 称	構 成 員
後援会講演ワーキング	看護:蝦名・秋山、栄養:山部・岩淵、教養:小原 事務局:総務課

【大学院看護栄養学研究科関係】

◎研究科長:進藤正信 ◎看護学専攻主任:代理 高木廣文 ◎栄養管理学専攻主任:鈴木純子

研究科委員会	研究科長:進藤、看護学専攻主任:代理 高木、栄養管理学専攻主任:鈴木(純) 看護学専攻:蝦名、小澤(芳)、菅原、中田、山本、吉田(礼)、伊藤、大野、柴田、高橋、小澤(涼)、佐々木、前田、若山 栄養管理学専攻:武藏、菊池、鹿内、山口、山部、志賀、清水、西、岩淵、松下
--------	--

【大学院助産研究科関係】

◎研究科長:本宿美砂子

助産研究科教授会	学長、副学長、研究科長、近藤、今崎、津田、臨床専任教員:山本、高室、宮下、兼担:進藤、山口、堀井
----------	--

区分	委員会名	委員長	委 員
委員会等	研究科会議	研究科長	研究科教員
	教務委員会	本宿	(講義基礎)(学生・就職)今崎、(講義教育)本宿、(実習)津田三浦、須貝、勝山
	入試広報委員会	今崎	本宿、今崎、津田

【理事会関係】

区分	委員会名	委員長	委 員	人数	任期	事務局
常設機関	運営連絡会	理事長	理事長、学長、副学長:高木、研究科長:進藤・本宿、学科長:吉田(礼)・山口、教養教育科長:川口、学内理事/評議員:菅原・近藤、監事:土産田、事務局長:岩間	12	1年	総務課
	将来構想委員会	理事長	理事長、学長、財務担当理事、宗務部長、図書館長、研究科長(2名)、看護学科長、栄養学科長、教養教育科長、事務局長、理事・評議員(教職員)、理事長指名:本間理事、白崎理事、梅村次長	14	1年	総務課
	中期計画検討小委員会	学長	学長、図書館長、看護学科長、栄養学科長、教養教育科長、看護:柴田、栄養:清水、教養:日時、事務局長、梅村次長	10	1年	総務課
	苦情処理委員会	互選	理事3名、教職員2名、学外者1名	6		総務課
	懲戒委員会	理事長指名	5名	5		総務課
	ハラスメント防止委員会	互選	理事:松岡、菅原、本間、白崎、 教員:本宿、堀井 職員:白石	7	2年	総務課
	個人情報保護委員会	互選	理事長、学長、理事:本間、前田、事務局長	5	1年	総務課
	衛生委員会	武藏	産業医:辻崎、衛生管理者・保健師:亀田、看護:若山、栄養:山部、教養:田島、助産:今崎、事務局:局長、豊島	9	2年	財務室

名 称	センター長	構 成 員	人数	任期	事務局
カトリックセンター	理事長任命	センター長:近藤、司祭:スレイマン、教学担当理事:高木 宗教教育担当教員:小原	4	2年	学務課

2019年度 教務委員会活動報告

委員会組織	委員長：川口雄一 委員：吉田礼維子、木津由美子、山口敦子、吉田真弓、新井英志、小原琢
委員会開催数	定例12回、臨時3回
審議・報告事項	
<p>[主な審議事項]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・非常勤講師の委嘱等について ・特別講師の委嘱等について ・実習指導教員の委嘱等について ・学事暦（案）について ・新入生オリエンテーション(案)について ・定期試験・評価日程について ・定期試験・追試験・再試験監督要領について ・定期試験問題作成・管理について ・時間割編成のガイドライン・編成条件について ・既修得単位の認定・単位の授与について ・看護学科2・3年生実習科目の履修判定について ・栄養学科3年生実習科目の履修判定について ・教職課程修了判定について ・卒業判定について ・科目等履修生の受け入れについて ・授業料未納に伴う除籍について ・履修規程の一部改正について ・授業概要（シラバス）の作成について ・新カリキュラムの英語表記について ・非常勤講師に係る T-NAVI の利用方法の変更について ・DPと科目の対応について ・「教育の質に係る客観的指標調査」教務委員会担当分について ・科目ナンバリングについて ・新型コロナウイルス感染症拡大による授業開始等の延期と対策について <p>[主な報告事項]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・履修登録者がいない場合の非常勤講師の手当について ・ディプロマポリシー、カリキュラムポリシーについて ・ナンバリング大分類の英語3文字表記について ・新入生（履修）ガイダンス等について 	

2019年度 学生委員会活動報告

委員会組織	委員長：菊池直哉 委員：柴田和恵、船木沙織、岩淵絵里子、長谷川めぐみ、目時光紀
委員会開催数	10回（2020年2月28日現在）
審議・報告事項	
<p>[主な審議事項]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・2019年度 役割分担について ・2019年度 学生部長不在時の代理について ・2019年度 合唱コンクールについて ・2019年度 天使祭について ・2019年度 体育祭について ・2019年度 海外研修について ・2019年度 葦の会役員と学生委員の交流会について ・2019年度 葦の会役員 リーダー研修会について ・2020年度 活動計画書について ・2020年度 予算について ・2019年度 年報（学生委員会）について ・2020年度 アssenブリー・アワー（学生委員会担当プログラム）について ・2020年度 学校医（内科医・精神神経科医）の委嘱について ・学生に関する事件・事故・不祥事等 危機管理個別マニュアルについて ・障害学生支援規程等について ・「若年者への消費者教育の推進に関するアクションプログラム」に基づく取り組みについて ・キャンパス整備にあたっての学生への影響について ・2020年度 学事暦（学校行事部分）について <p>[主な報告事項]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・2019年度 クッキングライブの実施報告について ・2019年度 オフィスアワーについて ・2019年度 学生総会の実施報告について ・2019年度 葦の会役員、部活動、クラス委員について ・アssenブリー・アワー実施報告について ・葦の会役員選挙の進捗状況について ・2019年度 萌芽の進捗状況について ・2020年度 葦の会役員の役職について ・高等教育の修学支援新制度について ・2018年度 学生相談室・保健相談室活動報告書について ・福祉避難場所等への学生等ボランティアの希望者について ・葦の会役員、同窓会役員の交流会について ・保健相談室報告 ・学生相談室報告 	

2019年度 宗務委員会活動報告

委員会組織	委員長：近藤潤子 委員：ケンスレイマン、重岡妙、田中裕子、金澤康子、高桑暁子、堀井泰明、三浦恵津子、菊池史恵
委員会開催数	5回
審議・報告事項	
<p>[主な審議事項]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・委員長不在時の委員長代理について ・イースターの集いについて ・シスター和田とお話する会の実施について ・献金の取り扱い方法について ・イースターの集いの反省について ・後期毎週のミサの日程について ・前期修了感謝ミサについて ・第35回カトリック医療関連学生セミナー2019in長崎について ・死者追悼ミサについて ・クリスマス点灯式、クリスマスキャロルの実施について ・クリスマスの集いについて ・2020年度活動計画案及び予算案について ・教職員修養会について ・新年のミサについて ・2月以降の宗務行事予定について ・卒業・修了感謝のミサについて ・2020年度アッセンブリー・アワー実施方法について ・退職される教職員への感謝ミサについて ・卒業・修了感謝のミサについて ・2019年度自己点検評価について ・2020年度アッセンブリー・アワーについて ・2020年度前期週日のミサについて ・2020年度イースターの集い ・学校法人天使学園中期計画案について <p>[主な報告事項]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・2019年度宗務委員会活動計画及び予算について ・2019年度カトリックセンター活動計画及び予算について ・教授会報告について ・2019年度イースターの集い、毎週のミサについて 	

- ・2019年度アッセンブリー・アワーの実施について
- ・修養会について
- ・前期開始チャペルアワーについて
- ・アッセンブリー・アワー予定表について
- ・前期修了感謝ミサについて
- ・シスター和田とお話する会の実施について
- ・アッセンブリー・アワーの見直しについて
- ・2019年度後期宗務行事予定について
- ・2019年度教職員修養会について
- ・カトリック関連団体への寄付について
- ・2019年度後期アッセンブリー・アワーについて
- ・クリスマスイルミネーション撤去日について
- ・春休み前チャペルアワーの実施について
- ・学生修養会について
- ・クリスマスの集いの実施報告について
- ・教職員修養会の実施報告について
- ・2019年度週日ミサの実施報告について
- ・学生修養会について

2019年度 図書情報委員会活動報告

委員会組織	委員長：高木廣文 委員：小澤涼子、伊織光恵、清水真理、志賀一希、目時光紀、 三浦恵津子、平野敦子
委員会開催数	10回
審議・報告事項	
<p>[主な審議事項]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・後援会助成図書第1回～第9回選定について ・2019年度図書資料費予算配分について ・共有フォルダの構築について ・夏季期間中の開館日及び開館時間の延長について ・学生希望による夏季休暇中の開館日及び開館時間の延長について ・進藤研究科長からの教員論文被引用件数調査依頼と公表について ・「メディカルオンライン」からの大量ダウンロードに対する警告について ・学生利用の充電場所について ・情報に関する危機管理マニュアル作成の進め方について ・夏季休暇に伴う長期貸出について ・後期開館予定(案)について ・白書・統計資料の継続購読中止(案)について ・2020年度雑誌の継続購読について ・新図書館への移設について ・「情報セキュリティ危機管理マニュアル」について ・看護学科の新領域予算について ・データベースの継続利用について ・別置資料の取り扱い及び看護学科事例研究、助産研究科課題研究の保管場所及び閲覧場所について ・看護学科事例研究の閲覧及び保管場所と電子化について ・2020年度図書館及び情報処理室活動計画(案) ・図書館予算内訳書(案) ・情報処理室予算内訳書(案)について ・2019年度後期閉館日の追加について ・冬期休暇に伴う長期貸出について ・図書館移転作業に伴う3月閉館と長期貸出について ・2019年度委員会報告 ・2019年度図書館及び情報処理室の自己点検・評価報告について ・2019年度後期閉館日の追加について ・2020年度図書館前期開館予定(案)について：各学科・科・研究科の確認結果を受けて 	

[主な報告事項]

- ・ 2018年度蔵書点検結果報告
- ・ 2019年度図書館及び情報処理室の活動計画及び予算内訳書について
- ・ 加除式資料の継続購読分について
- ・ 共有フォルダの使用方法について
- ・ 図書資料費執行状況報告
- ・ 図書館業務用及び閲覧用端末の更新作業について

2019年度 入試委員会活動報告

委員会組織	委員長：山本勝則 委員：吉田礼維子、山口敦子、川口雄一、大野和美、金澤康子、鈴木敏郎
委員会開催数	9回
審議・報告事項	
<p>[主な審議事項]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 委員長代理について ・ 学生募集要項（学部・指定校推薦）について ・ 2020年度入試における面接・小論文試験の評価票について ・ 入学試験出題者について ・ 広報資料「天使大学入学試験に関する情報開示」について ・ 2021年度入学者選抜「活動報告書」について ・ 合否判定書類について（合否判定基準、小論文評価基準） ・ 2020年度入試制度改正について ・ 活動報告書について ・ 2021年度天使大学・大学院入学選抜について ・ 2019年度 公募制推薦入学試験、社会人入学試験の小論文試験問題について ・ 2021年度入試に向けた検討項目について ・ 2020 公募制推薦・社会人入学試験について ・ 2020年度 天使大学看護栄養学部入学手続要項について ・ 2021年度入試に向けた検討項目について ・ 栄養学科入学定員増加に伴う広報活動及び入学試験の対応について ・ 令和元年台風第19号により被災した学生への配慮等について ・ 大学入学共通テスト2科目方式（英語外部試験利用）の見送りについて ・ 国語の記述式問題の活用について ・ 募集人員について ・ 2021年度入学者選抜概要の全体再確認について ・ 2020年度 推薦・社会人入試における悪天候時の対応について ・ 2020年度推薦入学試験、社会人入学試験点検評価について ・ 2020年度入試委員会活動計画について ・ 2020年度入試委員会予算について ・ 2020年度入学 一般・センター試験利用入学試験について ・ 追加合格者決定までのプロセスについて ・ 2021年度入学者選抜について ・ 2020年度一般入学試験学科試験 得点調整について 	

[主な報告事項]

- ・ 入学試験とGPAとの相関について
- ・ 2019 年度入試委員会活動計画について
- ・ 2019 年度入試委員会予算について
- ・ 2019 年度入試問題の著作権処理について
- ・ 2020 年度入学試験日程について
- ・ 監督者人選に伴う事前確認等について
- ・ 入試・広報室員の異動について
- ・ 2020 年度入学試験出題者について（一般、推薦・社会人）について
- ・ 「2020 年度入学試験における感染症（インフルエンザ等）への対応」のwebを通した告知について
- ・ 2020 年度一般入学試験問題 事前・事後チェックの業務委託契約書について
- ・ 2019 年度高校訪問報告事項について
- ・ 令和 2 年度大学入学者選抜大学入試センター試験出張について
- ・ 北海道胆振東部地震、平成 30 年度 7 月豪雨および熊本地震で被災した 2020 年度入学試験志願者の検定料免除について
- ・ 2019 年度活動計画について
- ・ 2020 年度大学入試センター試験に係る入試手当の変更について
- ・ 入学定員の変更について
- ・ 個人情報の取扱いについて
- ・ 2020 年度入学者学納金の延納について
- ・ 2020 年度一般入学・大学入試センター試験利用入学試験全体説明会について
- ・ 令和 2 年度大学入学者選抜大学入試センター試験入試担当者連絡協議会について
- ・ WEB 出願について

2019年度 入試広報委員会活動報告

委員会組織	委員長：今崎裕子 委員：津田万寿美、本宿美砂子
委員会開催数	9回
審議・報告事項	
<p>[主な審議事項]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・2020年度助産研究科学生募集要項について ・2020年度助産研究科入学試験 試験問題出題者について ・広報資料「天使大学入学試験に関する情報開示」について ・2019年度 助産研究科オープンキャンパスについて ・2019年度 広報活動に向けた学内勉強会および本学学生への大学院説明会の人選について ・2020年度 助産研究科パンフレットについて ・新入生アンケートについて ・助産研究科推薦入試・一般入試の推薦書等の取り扱いについて ・2019年度 第1回助産研究科オープンキャンパスについて ・2020年度 助産研究科入学試験 試験問題出題者等について ・2020年度 助産研究科入学試験 合否判定基準について ・日本助産評価機構認証評価結果について ・2020年度 助産研究科推薦入学試験について ・2020年度 助産研究科推薦入学試験 合否判定について ・合格者への送付物について ・2021年度 助産研究科入学試験日程（案）について ・2020年度 助産研究科前期試験 合否判定について ・2020年度 入試広報委員会活動計画について ・2020年度 入試広報委員会予算について ・2020年度 助産研究科一般後期入学試験について ・2021年度 助産研究科パンフレットについて ・2020年度 オープンキャンパスについて ・2020年度入学 助産研究科一般入学試験（後期）合否判定について <p>[主な報告事項]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・助産研究科 ポスター・フライヤーについて ・2019年度 助産研究科 雑誌等広告について ・2019年度 助産研究科広報活動計画および助産研究科 入試・広報委員会予算について ・2020年度入学試験日程について ・2020年度 助産研究科パンフレットについて 	

- ・看護系大学等へのオープンキャンパス広報について
- ・入学手続要項（助産教育分野）について
- ・委員長が不在の場合の代理について

2019年度 広報委員会活動報告

委員会組織	委員長：菅原邦子 委員：伊藤治幸、若山好美、峯岸夕紀子、松下真美、田島忠篤、鈴木敏郎
委員会開催数	7回
審議・報告事項	
<p>[主な審議事項]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 2019年度高校訪問について ・ 2019年度出張講義（大学訪問も含む）について ・ 2019年度広報活動のための学内勉強会について ・ 教職員への広報活動協力要請について ・ 2019年度オープンキャンパスについて ・ 2019年度前期学報の進捗について ・ 2019年度大学院看護栄養学研究科の広報計画について ・ 第2回オープンキャンパス（8月）について ・ 北海道札幌啓成高等学校からの連続講義提案について（看護学科） ・ 天使大学リーフレットについて ・ 第1回オープンキャンパスの振り返り ・ 第3回オープンキャンパス（9月）について ・ 2022年度大学案内について ・ 第2回及び第3回オープンキャンパスの振り返り ・ 栄養学科の志望者が減っていることについて ・ 2020年度オープンキャンパス日程及びコンテンツの検討 ・ 2021年大学案内の制作について ・ 学報「天使」vol.28号について ・ 2020年度予算について ・ 2019年度年報について <p>[主な報告事項]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 申請に係わる広報活動について ・ 北星学園女子高等学校 高大連携プログラムについて ・ 新入生アンケートについて ・ 2020年度大学案内（2019年6月発行）進捗について ・ 広報活動協力不可学生について ・ 撮影可能な講義、演習について ・ 看護3，4年次生向け本学大学院説明会実施報告 ・ 2019年度広報活動のための学内勉強会実施報告 	

- ・大学案内校了報告
- ・2019年度在学生による高校訪問事業を行います（継続事業）
- ・学報 27号情報提供希望（7月12日発行予定）
- ・進学相談会担当者
- ・広報担当者研修会について
- ・2022年度大学案内について
- ・栄養3，4年向け本学大学院説明会実施報告
- ・看護1，2年次生向け本学大学院説明会実施報告
- ・栄養学科入学定員増加にかかる広報活動及び入学試験の対応について
- ・2021年度入試制度について
- ・学報「天使」vol.27号完成報告
- ・学報28号「天使」進捗状況
- ・大学案内進捗状況

2019年度 自己点検評価委員会活動報告

委員会組織	委員長：進藤正信 委員：本宿美砂子、吉田礼維子、山口敦子、川口雄一、高木廣文、菅原邦子、山部秀子、岩間久哉
委員会開催数	4回
審議・報告事項	
<p>[主な審議事項]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・年報作成について ・大学基準協会認証評価改善報告書の作成について ・大学基準協会認証評価結果を踏まえた大学の対応について ロードマップ 内部質保証システム体系図・PDCA サイクル図 ・改善の取り組み状況について ・内部質保証の方針等の検討について ・2019年度年報の作成の考え方 (大学基準協会の評価の視点をもとに作成する) ・2018年度年報について ・天使大学内部質保証に関する基本方針(案)について ・自己点検評価委員会規程(案)について ・2019年度年報作成要領(案)について ・天使大学の内部質保証体制について <p>[主な報告事項]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・2019年度予算について ・日本助産評価機構による評価報告書について ・2019年度活動報告会について ・2018年度年報について ・中期計画の進行管理と自己点検評価活動の一体化の検討について ・令和元年度教育の質に係る客観的指標調査について ・道内大学及び短大の定員充足状況(看護学科・栄養学科)について ・助産評価機構改善報告書について ・『大学基準』及びその解説等の改定案に対する意見の募集について ・2019年度活動報告会について 	

2019年度 FD委員会活動報告

委員会組織	委員長：中田かおり 委員：高木廣文、田中さおり、岡部哲子、鹿内信善、津田万寿美
委員会開催数	9回
審議・報告事項	
<p>[主な審議事項]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・2019年度のFD研修会について ・2020年度以降の授業評価アンケートの見直しについて ・シラバス点検項目について ・前期授業評価アンケートの今後の予定について ・2020年度以降の授業評価アンケート質問項目について ・2019年度第1回FD研修会について ・2020年度以降の授業評価アンケートについて ・2019年度第2回FD研修会について ・2020年度のFD研修会について ・教育の質に係る客観的指標調査への対応について ・ファカルティ・ディベロップメント及び・スタッフ・ディベロップメントに関する規程（案）について ・FDSD活動実施要項（案）について ・授業評価アンケート実施要項（案）について ・2020年度活動計画及び予算について ・後期授業評価アンケートの今後の予定について ・2020年度以降の授業評価アンケート実施に係る科目責任者への配付文書について ・2019年度第2回FD研修会について ・2020年度の研修会について ・2019年度授業評価アンケート報告書の作成について ・2019年度授業参観実施報告書の作成について ・2019年度年報用資料について <p>[主な報告事項]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・2019年度活動計画および予算について ・学生による授業評価アンケートの実施について ・授業参観について ・北海道FDSDフォーラム2019について ・北海道FD・SD協議会総会について ・北海道FDSDフォーラムについて ・前期授業参観実施状況について 	

- ・北海道FD・SD協議会ロゴマークの選考に係る投票について
- ・北海道FD・SD協議会ロゴマークの決定について

2019年度 学術振興委員会活動報告

委員会組織	委員長：堀井泰明 委員：高橋順子、西隆司、本宿美砂子
委員会開催数	4回
審議・報告事項	
<p>[主な審議事項]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・2018年度年報：自己点検・評価報告書『IV. 研究活動・研究環境』について ・2019年度学術振興委員会活動計画及び予算書について ・紀要第20巻第1号投稿原稿の執筆者及び査読委員について ・科研費獲得のための講習会企画用参考情報について ・2018年度特別研究費による研究報告会：アンケート結果 ・科研費獲得のための講習会：アドバイザー依頼候補について ・2020年度学術振興委員会活動計画書(案)について ・2020年度学術振興委員会予算(案)について ・2019年度特別研究費による研究報告会について ・2019年度自己点検・評価報告について ・2019年度委員会報告について ・天使大学紀要第20巻第2号投稿者及び査読委員について <p>[主な報告事項]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・紀要第20巻第2号の原稿募集ポスターの掲示について ・新井教授投稿原稿について：原著論文で紀要掲載決定 ・2019年9月3日開催『科研費獲得に向けて』講習会アンケート結果 ・天使大学紀要第20巻第2号の査読状況について 	

2019年度 地域連携等委員会活動報告

委員会組織	委員長：小澤芳子 委員：小澤涼子、長谷川めぐみ、小原琢、今崎裕子
委員会開催数	8回
審議・報告事項	
<p>[主な審議事項]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・2019年度地域連携等委員会役割分担について ・委員長不在時の委員長代理について ・2019年度地域連携事業活動書について ・2018、2019年度連携事業の確認について ・東区民ホームページでの大学紹介（タッピーフレンズ）について ・2019年度天使大学・北海道科学大学連携公開講座について ・ひがしく健康・スポーツまつり2019について ・東区健康づくりフェスティバルについて ・夕張地域医療体験について ・2019年度天使大学・北海道科学大学連携公開講座点検評価について ・ひがしく健康・スポーツまつり2020会場について ・2020年度活動計画書および予算見積内訳書について ・2020年度天使大学・北海道科学大学連携公開講座について ・学校法人天使学園中期計画（地域連携関係）について ・「ヘルスケア実践開発プロジェクト」の地域連携等委員会への業務移管について ・2019年度年報 自己点検・評価報告書について <p>[主な報告事項]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・2018年度夕張地域医療体験報告書について ・2019年度地域連携等委員会役割分担について ・ひがしく健康・スポーツまつり2019実施委員会について ・2019年度地域連携事業活動報告書について ・札幌市東区役所との意見交換（1/10）について 	

2019年度 就職委員会活動報告

委員会組織	委員長：清水真理 委員：前田朝子、岡部哲子、新井英志
委員会開催数	10回
審議・報告事項	
<p>[主な審議事項]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・委員長不在時の委員長代理について ・役割分担について ・併願受験希望者の対応について ・2019・2020年度就職活動支援（就職ガイダンス・セミナー等）の実施について ・インターンシップの取扱いについて ・就職相談室ニュース第1～3号の発行について ・求人開拓パンフレット「採用ご担当者の皆様へ」の発行について ・「就職活動と就職支援に関する調査」について ・2018年度卒業・修了生の就職状況調査について ・就職活動ガイドブック2020年度版の発行について ・自己点検評価について ・2020年度活動計画・予算について <p>[主な報告事項]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・活動計画及び予算内訳見積書について ・就職内定状況・就職活動支援状況等の報告について ・就職ガイダンス・セミナー報告について ・学内企業説明会報告について ・求人訪問対応報告について ・出張関係について ・教員採用検査のための1次直前ゼミ・2次対策ゼミ、第2次選考のための特別ゼミの実施状況について ・教員採用試験対策春期ゼミの開催及び出席状況について ・学校インターンシップの実施状況について ・2018年度「就職活動と就職支援に関する調査」の結果について ・2018年度就職先への礼状発送について ・2018年度卒業・修了生の就職状況調査送付及び調査結果について ・就職相談室資料整理のためのアルバイトの雇用について ・病院・施設等への求人依頼の発送について ・就職活動ガイドブック2020年度版の校正について 	

2019年度 教職課程委員会活動報告

委員会組織	委員長：新井英志 委員：鹿内信善、山部秀子、岩淵絵里子、松下真美
委員会開催数	8回
審議・報告事項	
<p>[主な審議事項]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 規程の改正について(学則、履修規程、教職課程履修規程) ・ 教職課程における質保証に係る対応について ・ 教職課程科目のナンバリングについて ・ 2020年度以降の教職課程科目担当者および教職課程委員会体制について ・ 第1次中期計画(案)に関する教職課程委員会の意見について ・ 科目等履修生(教職課程)の受入れについて ・ サッポロさとらんどでの体験学習について ・ 非常勤講師および特別講師の委嘱について ・ 教員免許状更新講習について ・ 2019年度教職課程修了判定 ・ 2020年度栄養教育実習履修判定 ・ 2020年度授業科目の担当者について ・ 2020年度活動計画書および予算について ・ 2020年度新入生オリエンテーションについて ・ 2020年度教職課程履修の手引について <p>[主な報告事項]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 2019年度活動計画および予算について ・ 教職課程履修者数および教職課程履修取消者について ・ インターンシップの実施について ・ 教員採用試験結果について ・ 教員採用選考検査のための対策ゼミについて ・ 教職課程夏期・春期ゼミナールについて ・ 北大農場演習および北大生のためのお米料理クッキングについて ・ 栄養学科3年生の面接の実施予定について 	

2019年度 研究倫理委員会活動報告

委員会組織	委員長：堀井泰明 委員：本宿美砂子、進藤正信、新谷恵子、鈴木純子、岩間久哉、 小野滋男（学外委員）、久々湊晴夫（学外委員）
委員会開催数	10回
審議・報告事項	
<p>[主な審議事項]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・書類提出締切日、審査の段取り、委員会開催日について ・研究計画の倫理審査（審査件数 32 件） ・2020 年度予算について ・2020 年度活動計画について <p>[主な報告事項]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本学における研究計画の倫理審査手続きに関する説明会開催について ・倫理審査終了後の研究計画等の変更届について ・次年度から助産基礎分野も本学の研究倫理委員会の研究倫理審査を受けることについて 	

2019年度 キャンパス・ハラスメント対策委員会活動報告

委員会組織	委員長：蝦名美智子 委員：菊池直哉、山部秀子、田島忠篤、本宿美砂子、岩間久哉、平野敦子
委員会開催数	5回
審議・報告事項	
<p>[主な審議事項]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・委員長代理の選任について ・講演会の開催について ・2020年度活動計画書及び予算について ・2020年度アッセンブリアワーの日程について ・学校法人天使学園中期計画素案及び一覧表について ・年報原稿について ・学生間ハラスメントについて ・調査委員会報告書 資料2の要望書について ・調査委員会報告書 資料6、7について ・ハラスメントの申立てに関する審議結果についての不服申し立てについて ・調査委員会の調査報告書について <p>[主な報告事項]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・2019年度予算及び活動計画について ・2019年度相談窓口の周知について ・2019年度開催講演会の参加者等について ・2020年度アッセンブリーアワー予定表について ・学長への報告について 	

2019年度 病原体等安全管理委員会活動報告

委員会組織	委員長：菊池直哉 委員：武藏学、岩淵絵里子、西村光弘（天使病院）
委員会開催数	1回（書面審議）
審議・報告事項	
<p>[主な審議事項]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・2019年度自己点検評価報告書の年報原稿について <p>[主な報告事項]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・文部科学省研究振興局「病原性微生物の保管・管理の徹底および保管状況調査」の報告書提出について 	

2019年度 国際交流委員会活動報告

委員会組織	委員長：武蔵学 委員：高木廣文、川口雄一、菊池直哉、志賀一希、墓野美奈子、 鈴木純子、津田万寿美、岩間久哉
委員会開催数	3回、他メール審議2回
審議・報告事項	
<p>[主な審議事項]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ ASEACCU 国際会議への出席者について ・ ASEACCU へのインフォメーションシートの提出について ・ 2020年度の ASEACCU 国際会議への出席等について ・ 韓国釜山カトリック大学との連携可能性について ・ 2020年度活動計画について ・ 2020年度予算見積内訳書について ・ 中期計画素案について ・ 2019年度年報用資料について <p>[主な報告事項]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 2019年度活動計画及び予算について ・ 委員長補佐の指名について ・ 第9回 日・韓カトリック看護系大学による交流協議会について ・ ASEACCU 国際会議出席及び韓国カトリック大学の訪問について 	

2019年度 カリキュラム検討委員会活動報告

委員会組織	委員長：武蔵学 委員：高木廣文、菅原邦子、吉田礼維子、山口敦子、川口雄一、大野和美、目時光紀、吉田真弓
委員会開催数	10回
審議・報告事項	
<p>[主な審議事項]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ダイプロマポリシーについて ・カリキュラムポリシーについて ・卒業要件、進級要件について ・科目ナンバリングについて ・ナンバリング大分類について ・アセスメントポリシーについて ・アセスメントチェックリストについて ・シラバス作成に伴うカリキュラムマップ（DP対比表）について ・看護・栄養合同科目について ・カリキュラムマップとカリキュラムツリーの示し方について ・「教育の質に係る客観的指標調査」関係事項の検討について ・キリスト教を基盤とした人間教育科目群の担当部署について ・国際保健学演習のプログラムについて 	

14. 図書館利用状況

2019年度入館者統計

学科・学年	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
合計	5,781	5,149	7,006	7,238	2,959	5,489	6,421	5,026	4,499	5,238	1,668	0	56,474

2019年度図書・視聴覚資料貸出統計

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
看護学科	1,157	1,528	1,784	1,148	774	1,283	1,743	1,132	737	176	194	0	11,656
栄養学科	315	496	925	577	94	389	408	196	246	45	61	0	3,752
助産研究科	393	252	234	92	89	89	289	104	42	49	106	0	1,739
看護栄養学 研究科	206	197	155	190	112	114	122	67	98	37	45	0	1,343
科目等履修生・ 研究生	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
教職員	229	184	176	142	168	254	154	172	167	85	197	0	1,928
学外者	29	46	15	3	10	23	9	1	11	7	11	0	165
合計	2,329	2,703	3,289	2,152	1,247	2,152	2,725	1,672	1,301	399	614	0	20,583

15. 情報処理室の利用状況

年間利用状況

学科・学年 室	看護学科				看護 小計	栄養学科				栄養 小計	各室 計
	1年	2年	3年	4年		1年	2年	3年	4年		
4301室(日中)	929	2,085	3,346	3,386	9,746	691	2,134	3,998	2,670	9,493	19,239
4301室(夜間)	215	560	833	1,490	3,098	198	229	585	311	1,323	4,421
4302室(日中)	3,594	1,083	2,329	1,246	8,252	3,682	1,861	5,285	1,804	12,632	20,884
4302室(夜間)	1,144	362	726	296	2,528	154	325	987	405	1,871	4,399
総計	5,882	4,090	7,234	6,418	23,624	4,725	4,549	10,855	5,190	25,319	48,943

月別学科学年利用状況

学科・学年 月	看護学科				看護 小計	栄養学科				栄養 小計	各室 計
	1年	2年	3年	4年		1年	2年	3年	4年		
4	484	315	473	957	2,229	472	207	857	650	2,186	4,415
5	542	361	624	833	2,360	475	146	1,440	724	2,785	5,145
6	756	347	1,406	897	3,406	618	85	1,103	766	2,572	5,978
7	988	281	690	819	2,778	868	292	930	740	2,830	5,608
8	2	309	418	260	989	0	23	211	189	423	1,412
9	717	272	909	496	2,394	453	219	1,793	432	2,897	5,291
10	899	455	1,019	751	3,124	549	486	1,702	492	3,229	6,353
11	828	841	417	934	3,020	720	1,518	513	612	3,363	6,383
12	438	526	450	376	1,790	504	735	1,527	398	3,164	4,954
1	213	378	770	50	1,411	59	809	568	123	1,559	2,970
2	15	5	58	45	123	7	29	211	64	311	434
3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
総計	5,882	4,090	7,234	6,418	23,624	4,725	4,549	10,855	5,190	25,319	48,943

16. 施設・設備の状況

大学設置基準との対比

(単位：㎡)

	本学の現有面積	大学設置基準面積	大学設置基準との差(基準外を除く)
校地面積	30,390	6,910	23,550
校舎面積	14,124	6,402	7,722

校舎内訳

	建設年	経過年数	面積(㎡)	備考
1号館	1976 (S51)	40	937.76	2階建
2号館				2020年2月完成予定
3号館	1963 (S38)	53	1,977.01	3階建(耐震補強済)
4号館	1971 (S46)	45	2,429.06	3階建(耐震補強済)
5号館	1980 (S55)	36	396.27	2階建
6号館	2000 (H12)	16	2,674.91	6階建(耐震構造)
7号館	2002 (H14)	14	2,330.13	4階建(耐震構造)
8号館	2004 (H 7)	12	1,855.69	4階建(耐震構造)
体育館	1976 (S51)	40	736.52	
中沼グラウンド更衣室	1992 (H 4)	24	79.38	平屋建
計	—	—	13,416.73	

学部・大学院研究科ごとの講義室、演習室等の面積・規模

学部・研究科	講義室・演習室・学生学習室等	室数	総面積(㎡)	専用・共用の別	収容人員(総数)	学生総数	在学生1人当り面積(㎡)	備考
看護栄養学部	講義室	12	1,387	共用	1,184	770	1.80	看護栄養学研究科と共用
	演習室	11	329	共用	209	806	0.41	大学院と共用
	学生学習室	3	367	共用	244	806	0.46	大学院と共用
看護栄養学研究科	講義室	/	/	/	/	/	/	
	学生学習室	2	344	共用	162	806	0.43	看護栄養学部、助産研究科と共用
助産研究科	講義室	2	227	専用	135	36	6.31	
	学生学習室	2	344	共用	162	806	0.43	看護栄養学部、看護栄養学研究科と共用
体育館				/	/	/	/	
講堂				/	/	/	/	

学部の学生用実験・実習室の面積・規模

分類	室名	収容人数	面積(m ²)	1人当り面積(m ²)
実験・実習室 (看護学科)	第1看護実習室	100	346	3.46
	第2看護実習室	10	41	4.10
	第3看護実習室	20	46	2.30
	第4看護実習室	10	23	2.30
	第5看護実習室	10	27	2.70
実験・実習室 (栄養学科)	理化学実験室	60	223	3.72
	生理学実験室・微生物学実験室	65	205	3.15
	動物実験室	5	6	1.20
	給食経営管理自習室・実習食堂	130	350	2.69
	第2臨床栄養実習室	60	386	6.43
	官能検査室	10	30	3.00
	食品・調理実験実習室(準備室含む)	60	250	4.28
	第1カウンセリング室	3	8	2.67
	第2カウンセリング室	3	9	3.00
	栄養教育実習室	60	155	2.58
	第1臨床栄養実習室	15	45	3.00
実験・実習室(共通)	和室	10	69	6.90
情報処理室	第1情報処理室	60	113	1.88
	第2情報処理室	56	138	2.46
計		747	2,470	3.32

大学院の学生用実験・実習室の面積・規模

分類	室数	総面積 (m ²)	収容人数 (総数)	収容人員1人 当りの面積(m ²)	使用研究科等	備考
実習室	17	2,227	624	3.57	看護栄養学研究科	看護栄養学部と共用
実習室	1	174	40	4.35	助産研究科	
計	18	2,401	664	3.62	—	—

17. 財務状況

貸借対照表関係の財務比率表

(%)

	分類	比率	評価	算式	本学園	他法人
1	自己資金は充実されているか	純資産構成比率	△	$\frac{\text{純資産}}{\text{総負債} + \text{純資産}}$	73.7	82.5
2		繰越収支差額構成比率	△	$\frac{\text{繰越収支差額}}{\text{総負債} + \text{純資産}}$	△9.1	△12.2
3		基本金比率	△	$\frac{\text{基本金}}{\text{基本金要組入額}}$	88.1	96.3
4		積立率	△	$\frac{\text{運用資産}}{\text{基本金要組入額}}$	104.6	84.3
5	長期資金で固定資産は賅われているか	固定比率	▼	$\frac{\text{固定資産}}{\text{純資産}}$	97.0	99.5
6		固定長期適合率	▼	$\frac{\text{固定資産}}{\text{純資産} + \text{固定負債}}$	80.3	89.8
7	資産構成はどうか	固定資産構成比率	▼	$\frac{\text{固定資産}}{\text{総資産}}$	71.5	82.1
8		有形固定資産構成比率	▼	$\frac{\text{有形固定資産}}{\text{総資産}}$	62.5	65.8
9		特定資産構成比率	△	$\frac{\text{特定資産}}{\text{総資産}}$	8.2	14.2
10		流動資産構成比率	△	$\frac{\text{流動資産}}{\text{総資産}}$	28.4	17.8
11		減価償却比率（図書を除く）	～	$\frac{\text{減価償却累計額}}{\text{減価償却資産取得額}}$	36.1	45.9
12	負債に備える資産が蓄積されているか	内部留保資産比率	△	$\frac{\text{運用資産} - \text{総負債}}{\text{総資産}}$	9.2	11.6
13		運用資産余裕比率（単位：年）	△	$\frac{\text{運用資産} - \text{外部負債}}{\text{経常支出}}$	1.0	0.2
14		流動比率	△	$\frac{\text{流動資産}}{\text{流動負債}}$	260.4	208.0
15		前受金保有率	△	$\frac{\text{現金預金}}{\text{前受金}}$	283.1	334.9
16		退職給与引当特定資産保有率	△	$\frac{\text{退職給与引当特定資産}}{\text{退職給与引当金}}$	91.3	25.7
17	負債の割合はどうか	固定負債構成比率	▼	$\frac{\text{固定負債}}{\text{総負債} + \text{純資産}}$	15.2	8.8
18		流動負債構成比率	▼	$\frac{\text{流動負債}}{\text{総負債} + \text{純資産}}$	10.9	8.5
19		総負債比率	▼	$\frac{\text{総負債}}{\text{総資産}}$	26.2	17.4
20		負債比率	▼	$\frac{\text{総負債}}{\text{純資産}}$	35.5	21.1

(注1) 「評価」は△：高い値が良い ▼：低い値が良い ～：どちらともいえない を示す。

(注2) 「他法人」は収容定員500～1000名の保健系学部を有する全国12法人の2018年度決算額の平均。

事業活動収支計算書関係の財務比率表

(%)

	分類	比率	評価	算式	本学園	他法人
1	経営状況はどうか	事業活動収支差額比率	△	$\frac{\text{基本金組入前当年度収支差額}}{\text{事業活動収入}}$	△7.5	5.3
2		経常収支差額比率	△	$\frac{\text{経常収支差額}}{\text{経常収入}}$	3.4	2.0
3		教育活動収支差額比率	△	$\frac{\text{教育活動収支差額}}{\text{教育活動収入計}}$	3.5	2.0
4	収入構成はどうか なっているか	学生生徒等納付金比率	～	$\frac{\text{学生生徒等納付金}}{\text{経常収入}}$	76.8	35.6
5		寄付金比率	△	$\frac{\text{寄付金}}{\text{事業活動収入}}$	2.9	2.9
6		補助金比率	△	$\frac{\text{補助金}}{\text{事業活動収入}}$	14.1	5.5
7	支出構成は適切であるか	人件費比率	▼	$\frac{\text{人件費}}{\text{経常収入}}$	65.3	50.7
8		教育研究経費比率	△	$\frac{\text{教育研究経費}}{\text{経常収入}}$	25.8	38.6
9		管理経費比率	▼	$\frac{\text{管理経費}}{\text{経常収入}}$	5.3	8.4
10		借入金等利息比率	▼	$\frac{\text{借入金等利息}}{\text{経常収入}}$	0.2	0.2
11		基本金組入率	△	$\frac{\text{基本金組入額}}{\text{事業活動収入}}$	0.0	10.4
12		減価償却費比率	～	$\frac{\text{減価償却額}}{\text{経常支出}}$	5.5	5.9
13	収入と支出のバランスは取れているか	人件費依存率	▼	$\frac{\text{人件費}}{\text{学生生徒等納付金}}$	85.1	142.2
14		基本金組入後収支比率	▼	$\frac{\text{事業活動支出}}{\text{事業活動収入 - 基本金組入額}}$	107.5	105.7

活動区分資金収支計算書関係の財務比率表

(%)

	分類	比率	評価	算式	本学園	他法人
1	経営状況はどうか	事業活動収支差額比率	△	$\frac{\text{教育活動資金収支差額}}{\text{教育活動資金収入計}}$	6.0	11.7

2019年度 自己点検評価委員会

委員長：進藤 正信（看護栄養学研究科長）

委員：本宿 美砂子（助産研究科長）

吉田 礼維子（看護学科長）

山口 敦子（栄養学科長）

川口 雄一（教養教育科長）

高木 廣文（看護学科）

菅原 邦子（看護学科）

山部 秀子（栄養学科）

岩間 久哉（事務局長）

総務課：上村 俊哉

2019年度

天使大学 看護栄養学部
天使大学大学院 看護栄養学研究科

年 報
—自己点検・評価報告書—

2020年10完成
自己点検評価委員会

天使大学

〒065-0013 北海道札幌市東区北13条東3丁目1番30号

TEL 011-741-1051 FAX 011-741-1077

<https://www.tenshi.ac.jp>
